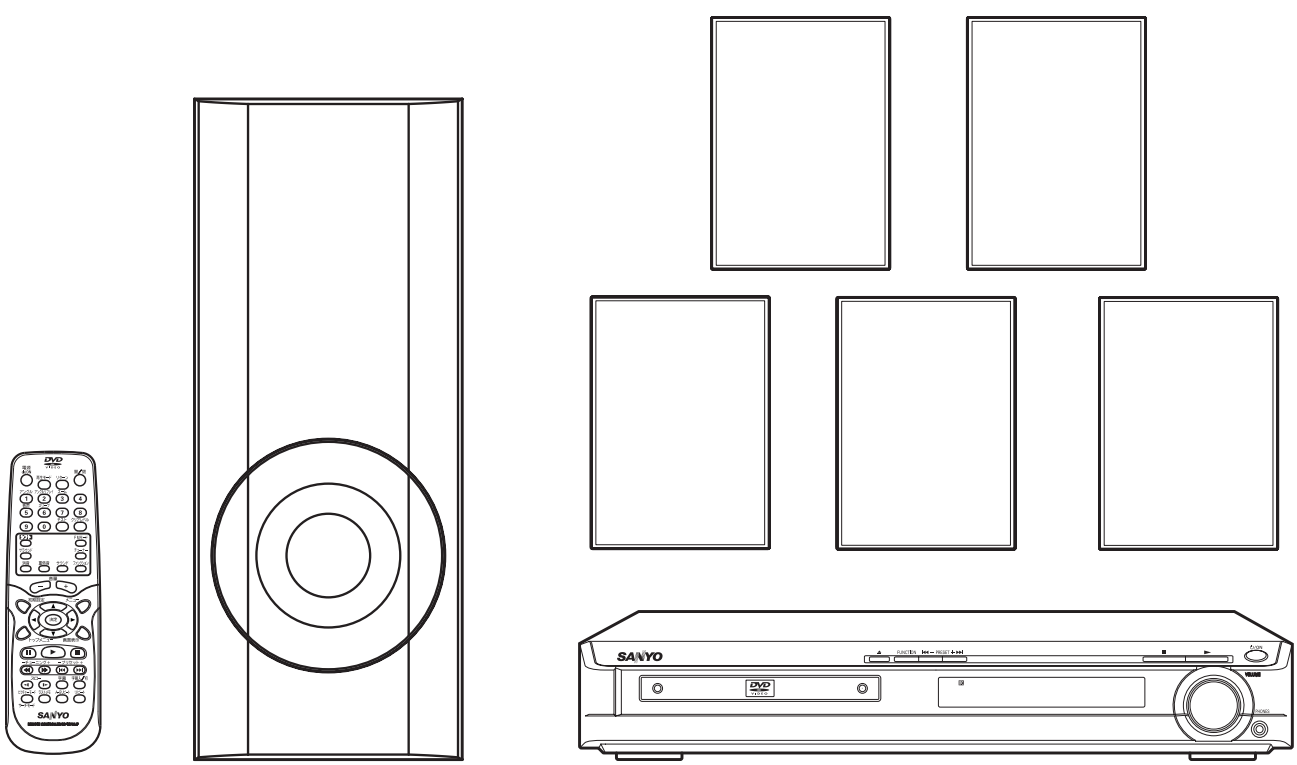
取扱説明書

SANYO

DVDホームシアターシステム
品番 DC-PS511

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに「保証書」とともに大切に保管してください。



取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

本機を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

もくじ

はじめに ..... 2〜12
安全上のご注意 ..... 3〜6
使用上のお願い ..... 7〜8
お使いになる前に ..... 9〜10
各部のなまえ ..... 11〜12

接続と準備 ..... 13〜23
スピーカーを接続する 13
アンテナを接続する 14
テレビや他の機器と接続する ..... 15〜17
スピーカーの設置と設定 ..... 18〜19
電源と共通の操作 ..... 20〜23

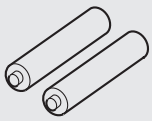
再生 ..... 24〜44
ディスクを再生する ..... 24〜25
メニューを使う 26
見たい、聞きたいところを探す ..... 27〜28
ディスクの情報を見る 29
速さを変えて再生する 30
繰り返し再生する 31
好きな順に再生(プログラム)する ..... 32〜33
順不同に再生する 34
前に止めた位置から再生する 35
映像を拡大する(ズーム) 36
映像のアングルを切り換える 37
画質・音声を切り換える 38
字幕を切り換える 39
MP3/WMAファイルを再生する ..... 40〜41
JPEGファイルを再生する ..... 42〜44

初期設定 ..... 45〜53
言語設定を変更する ..... 45〜47
画面設定を変更する 48
音声設定を変更する ..... 49〜51
視聴年齢制限を変更する ..... 52〜53

その他の操作 ..... 54〜60
ラジオを聞く前に 54
ラジオを聞く ..... 55〜59
おやすみタイマーを使う 60
他の機器と組み合わせて使う 60

参考 ..... 61〜71
故障？　その前にちょっとこれを! ..... 61〜64
用語解説 65
お客さまご相談窓口 ..... 66〜68
アフターサービスについて 69
仕　様 70
さくいん 71

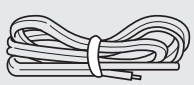
付属品をお確かめください。



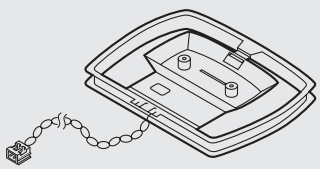
リモコン用
単3形乾電池……2

映像接続コード……1

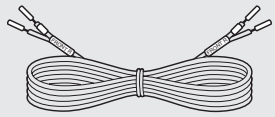
リモコン……1
(RB-TS760JP)



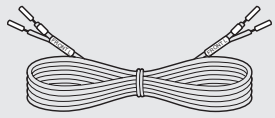
FM室内アンテナ……1



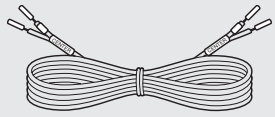
AMループアンテナ……1



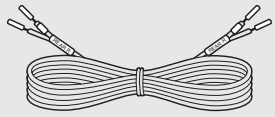
フロント右スピーカー
コード(5m)……1



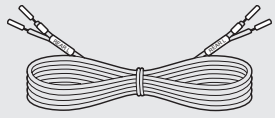
フロント左スピーカー
コード(5m)……1



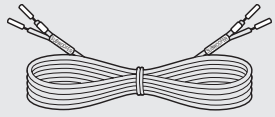
センタースピーカー
コード(5m)……1



サラウンド右スピーカー
コード(7m)……1



サラウンド左スピーカー
コード(7m)……1



サブウーファースピーカー
コード(5m)……1

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。
● の記号は「しなければならない行為」を示します。

お願い

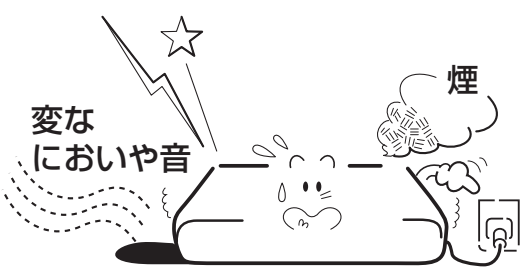
「**安全上のご注意**」のイラストと本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。

⚠ 警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体の ⏻/**ON**ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- **煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）**
  煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。
- **本機の内部に水などが入った**
- **異物が本機の内部に入った**
- **映像や音が出ないなど（故障状態）**
- **落としたり、キャビネットを破損した**

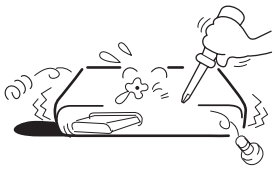


⚠ 警告

■ 分解しない

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

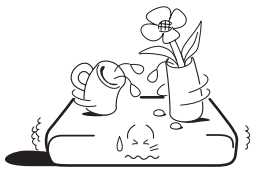
分解禁止



■ 本機やサブウーファーの上に水などの入った容器を置かない

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。

禁　止



■ ぬらさない

- 本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
- 風呂場、水辺、雨天の中などでは使用しないでください。

水ぬれ禁止

■ 異物を入れない

通風孔やディスクトレイなどから、金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。（特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。）火災、感電の原因となります。
また、サブウーファーの開口部に手を入れないでください。けがや感電の原因となります。

禁　止

■ 電源コード接続時の注意

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- 電源プラグはコンセントへ確実に接続する。
- 電源コードは束ねたまま使用しない。
- たこ足配線はしない。

■ 電源コードを傷つけない

無理な使いかたをすると電源コードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

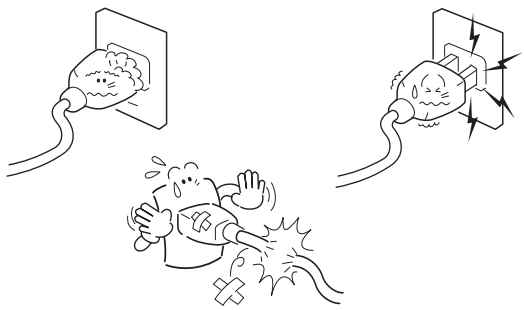
- 電源コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

禁　止

電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

■ 定期的に点検を

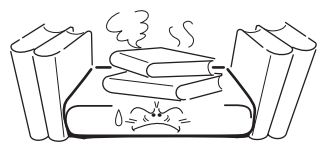
設置時から1年に1度は電源コンセントと電源プラグの間にホコリが付着していないか、電源コードに傷みがないか、電源プラグが抜けかけていないかなどを点検してください。



■ 壁にぴったりつけない

本機の設置は、壁から10 cm以上の間隔をあけてください。また、他の機器との間は少し離してください。
ラックなどに入れるときは、本機の天面および背面からそれぞれ10 cm以上のすきまをあけてください。すきまがないと、内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁　止



⚠ 警告

■ 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機の後部などに通風孔があり、次のような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に置く。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置く。

禁　止

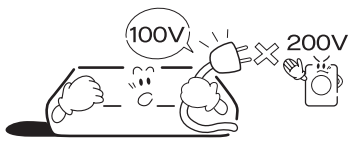
■ 電源電圧100V以外や国外では使用しない

表示された電源電圧(AC 100 V)以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

また、本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

禁　止



■ 雷が鳴り出したら

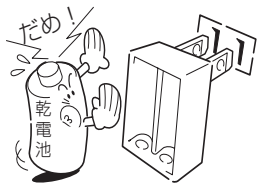
電源プラグには絶対に触れないでください。感電の原因となります。

接触禁止

■ 乾電池は充電しない(リモコン用)

電池の破損、液もれにより、火災、けがの原因となります。

禁　止



⚠ 注意

■ 電源プラグを抜くときの注意

ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 設置場所に注意

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所や温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

■ スピーカーケーブルは固定する

スピーカーのケーブルに足や手を引っかけると、スピーカーが落下し、けがや故障の原因となります。

■ 本機やスピーカーを不安定な場所に置かない

禁　止

平らで水平な場所に設置してください。不安定な場所に置きますと、落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

■ 本機やサブウーファーの上に重いものを置かない

禁　止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本機やサブウーファーの上に乗らないでください。

■ 持ち運びの注意

電源プラグを
コンセントから抜く

ディスクを取り出して電源を切り、外部接続をすべて外してからおこなってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ 他のスピーカーは接続しない

禁　止

付属のスピーカー以外を接続すると、極端に音量が大きくなったり、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 持ち運ぶときにサブウーファーの開口部に手をかけない

禁　止

開口部が外れることがあります。
また、滑りやすいため、落として壊したり、けがの原因となります。

⚠ 注意

■ サブウーファーの開口部の前に割れやすいものなどを置かない

禁 止

開口部からの空気圧により倒れたり落ちたりして、故障やけがの原因となることがあります。

■ ディスクトレイに手を入れない

指をはさまれないよう注意

けがの原因となることがあります。(特に小さなお子さまのおられるご家庭はご注意ください。)

■ 変形やひび割れしたディスクは使用しない

禁 止

変形、ひび割れ、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。
また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるディスクも使用しないでください。

■ ヘッドホンの音量に注意

音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ 音量に注意

- 電源を切るときは音量を小さくしておいてください。電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

禁 止

- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

■ 他機器との接続について

テレビ、ビデオ、オーディオ機器などを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。電源を入れたまま接続すると、感電、けがの原因となることがあります。

■ 電磁波の発生する機器に近づけない

禁 止

携帯電話、充電器や電磁波の発生する電気製品に近づけない。電磁波のためにノイズの影響が生じることがあります。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

禁 止

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは、スピーカーのそばに置かないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。

■ 長期間使用しない場合やお手入れの際の注意

電源プラグをコンセントから抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げの販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

■ 乾電池(リモコン用)使用上の注意

乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。次のことをお守りください。

- 単3形乾電池以外は使用しない。
- 極性(⊕と⊖)に注意し、表示通りに入れる。

禁 止

- 種類の異なるものや、新旧の電池を混ぜて使わない。
- 電池を充電、加熱、分解したり、火や水の中に投入しない。ショートさせない。

- 長期間(1ヵ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておく。

もし、液もれが起こったときは、電池ケースについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

■ レーザー光を見ない

禁 止

レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

使用上のお願い

つづく

■ 取り扱いについて

- 移動させるとき
  引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
  変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると天板や後部が多少熱くなることがありますが、故障ではありません。
- ふだん使用しないとき
  ディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。

■ 設置場所について

本機を再生中、近くに設置したオーディオ機器の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はオーディオ機器から離してください。

■ お手入れについて

キャビネットや操作パネルのよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

- よごれがひどいときは、布を水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
  ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

■ 美しい画面を見るための点検のおすすめ

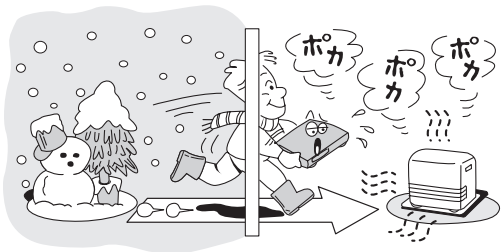
本機は高精度な技術によって構成された精密な機器です。ピックアップレンズやディスクの駆動部分がよごれたり、摩耗したりすると画質が損なわれます。美しい画面でご覧いただくためには、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ1000時間をめどに点検（清掃、一部部品交換）されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 結露（露付き）について

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。この現象と同じように、本機内部のピックアップレンズに水滴がつくことがあります。これを**結露（露付き）**といいます。

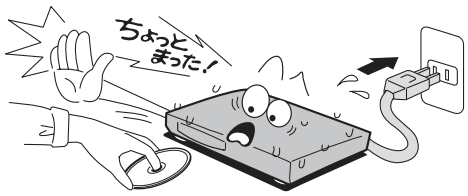
結露はこんなときおきます。

- 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき
- 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき
- 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき



結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

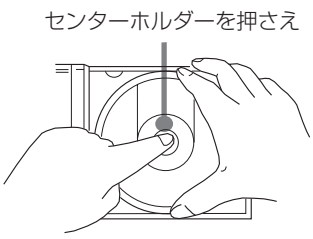
結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2～3時間で水滴がなくなります。なお、コンセントに接続しておくと**結露（露付き）**が生じにくくなります。



使用上のお願い

ディスクの取扱いと保管

ケースからの出し入れは

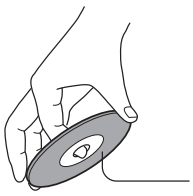


再生面に触れないように
持って出す。

上から押さえて入れる。

ディスクの取扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。



ディスクの保管のしかた

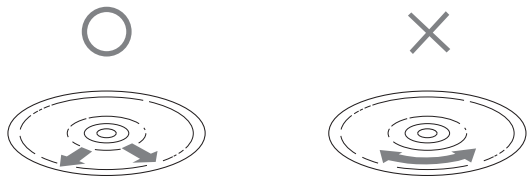
- 直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ずケースに入れて保管してください。

本機を持ち運びするときは

- ディスクを必ず取り出してください。
  入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像のみだれや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。



必ず内側から外側へ

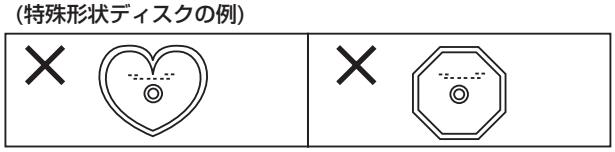
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

- 本機の近くでヘアースプレーや加湿器を使用しないでください。ピックアップ（レンズ）がくもったりすることがあります。

ディスクについてのご注意

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。
  また、セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がしたあとがあるディスクは使用しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

（特殊形状ディスクの例）



- **COMPACT disc DIGITAL AUDIO または COMPACT disc Recordable マークの入ったCD、CD-Rディスクをご使用ください。**
- ディスクが正しい位置に置かれていないと、ディスクに傷をつけたり故障の原因になることがあります。
- ディスクに傷、指紋、ほこりなどがついていると再生できないことがあります。
- 市販のCDスタビライザは使用できません。
- こんなときに音とびを起こしますので、ご注意ください。
  - ◆本機に強い衝撃を与えたとき。
  - ◆薄い板の上など、振動しやすい場所に置いたとき。
  - ◆ディスクの内容によって音とびを起こすことがあります。その場合は音量を下げてお聞きください。
- **コピーガード付きCD再生について**
  CD規格に準拠しない「コピーガード付きCD」などのディスクについては、当社としましては、CD再生機器における再生の保証は致しかねます。CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージの注意文をよくお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。なお、CD規格に準拠しないディスク再生時にのみ支障がある場合、詳細についてはディスクの発売元にお問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

お使いになる前に

つづく

再生できるディスク

本機では下記のディスクを再生することができます。

	マーク(ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ	最長再生時間
DVD ビデオ	DVD VIDEO	音声＋映像	12cm	片面ディスク 約4時間
				両面ディスク 約8時間
			8cm	片面ディスク 約80分
				両面ディスク 約160分
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	12cm	74分
			8cm (CDシングル)	20分
画像CD	FUJICOLOR CD COMPATIBLE	画像(写真)	12cm	−

ちょっとこれを!

- 本機はNTSCテレビ(日本のテレビ)方式に適合しています。PAL、SECAM方式のディスクは再生できません。
- CD-Rでは音楽CDフォーマット、MP3形式、WMA形式の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたものに限り再生が可能です。
- DVD-RではDVDレコーダーなどでDVDビデオフォーマットで記録されたもので、かつファイナライズ処理されたものに限り再生が可能です。ただし、記録状態によっては再生できないディスクがあります。
- 本機はフジカラーCDに記録されているJPEGデータを再生することが可能です。

DVD再生時の機能や操作について

DVDディスクによっては、制作者の意図により再生状態が決められています。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生するため、本機で設定した機能が働かない場合や、本機の操作が制約される場合があります。
DVDディスクの機能や操作について、詳しくはディスクに付属の取扱説明書をお読みください。

ディスクやパッケージのマークについて

DVDのディスクやパッケージには下の表のようなマークが表示されています。それぞれのマークはディスクに記録されている映像・音声の数や、使える機能を表しています。
(DVDによっては機能が使えても、それらのマークが表示されていないものもあります。)

マーク	意味
3	音声が記録されている数を表します。例えば数字が「3」の場合、3種類の音声(英語/スペイン語/日本語など)が記録されています。
2	字幕の数を表します。例えば数字が「2」の場合、2種類の字幕(英語/日本語など)が記録されています。
3	アングル数を表します。DVDでは、角度(アングル)の異なる複数のカメラで撮影したシーンを、好みのアングルを選んで再生できるソフトがあります。
16:9 LB ビスタサイズ シネマスコープサイズ	選択可能な画像アスペクト比を表します。DVDソフトには、映すテレビがワイドテレビか普通のテレビかによって、画像を切り換えられるものがあります。
2	再生可能なリージョン番号を表します。(下記を参照ください。)

認定されていないディスクについて

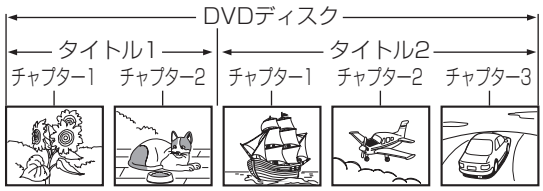
正式な販売地域以外のDVDディスクや業務用ディスクなどの中には、本機での再生が禁止されているものがあります。
正式な販売地域以外のDVDディスクを再生しようとすると、「再生できません」というメッセージが画面に表示されます。

本機のリージョン番号は「2」です。
リージョン番号が「2」を含む、または「ALL」のDVDディスクは本機で再生することができます。

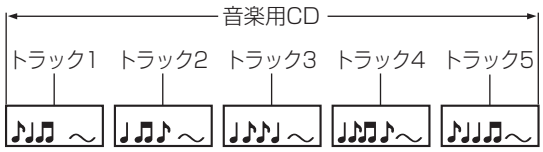
- リージョン番号が合っていてもPAL、SECAM方式のディスクは再生できません。

タイトル、チャプター、トラックについて

DVDは、**タイトル**という大きい区切りと、**チャプター**という小さい区切りに分かれています。
音楽用CDは、**トラック**で区切られています。
例：DVD



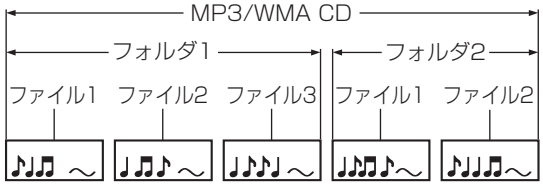
例：音楽用CD



それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順に番号がふられています。これらの番号を**タイトル番号**、**チャプター番号**、**トラック番号**といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

MP3/WMAについて

MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データで、WMAとは、Windows Media Audioというファイル形式で圧縮された音楽データです。MP3ファイルは「.mp3」、WMAファイルは「.wma」という拡張子が付いた音楽データファイルのことを言います。



登録商標について

Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

JPEGについて

JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルの保存形式（フォーマット）の一種です。JPEGファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。

この取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。
DVDの特長として、ディスクによっては、いろいろな機能や操作ができるものがあります。そのため、取扱説明書の内容と操作手順が一部異なったり、違う操作手順が画面に表示されることがあります。このような場合は、画面に表示される操作手順にしたがって操作してください。
操作中に「 ⃠ 」と画面表示されることがあります。これは、本書で説明されている操作方法であっても操作ができないことを表わしています。

DVD CD DATA について
本書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表わしています。

DVD ： DVDでお楽しみいただけます。
CD ： 音楽用CDでお楽しみいただけます。
DATA ： MP3、WMAまたはJPEG形式のデータCDでお楽しみいただけます。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。

本機は、アメリカ合衆国特許権と知的所有権上保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの許可が必要です。許可がない場合は家庭用及びその他の一部の観賞用に制限されます。分解したり、改造することも禁止されています。

再生中、再生後の音量にご注意ください

DVDや音楽CDに記録されている音声のレベルはディスクによって異なります。DVDの場合は音声出力モード（5.1chか2chかなど）によっても音声レベルが変わることがあります。音声レベルが低いディスクを再生したときは、音量を上げないと通常のように聞こえない場合がありますが本機の故障ではありません。また、音量を上げてDVDを再生している途中や後に、音量を上げたままファンクションをビデオやチューナーなどに切り換えると、大きな音が出ることがありますのでご注意ください。このようなことを防ぐため、ディスクを再生するとき、ファンクションを切り換えるときは、事前に音量を下げるよう心がけてください。

各部のなまえ

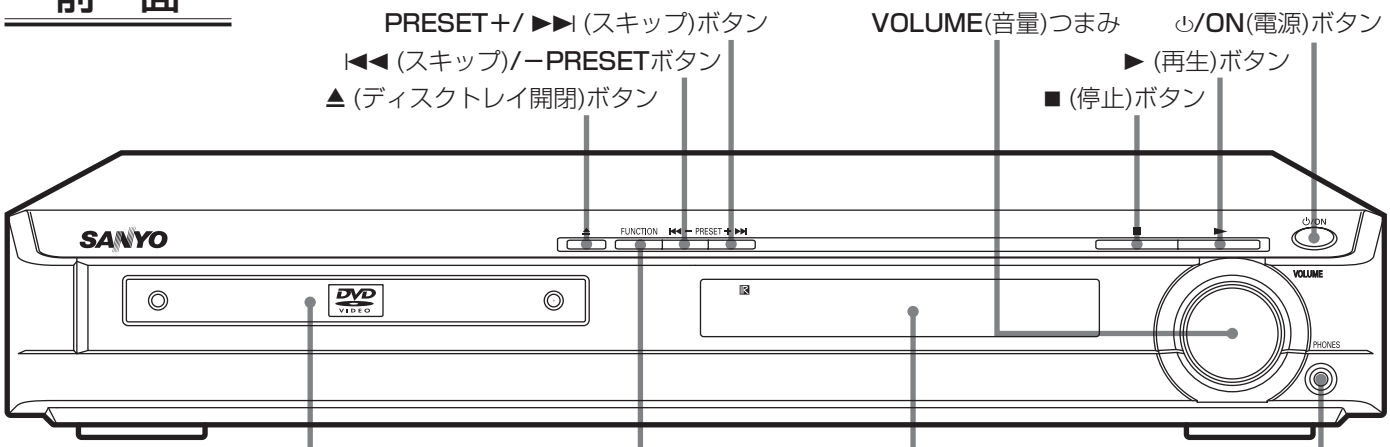
つづく

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

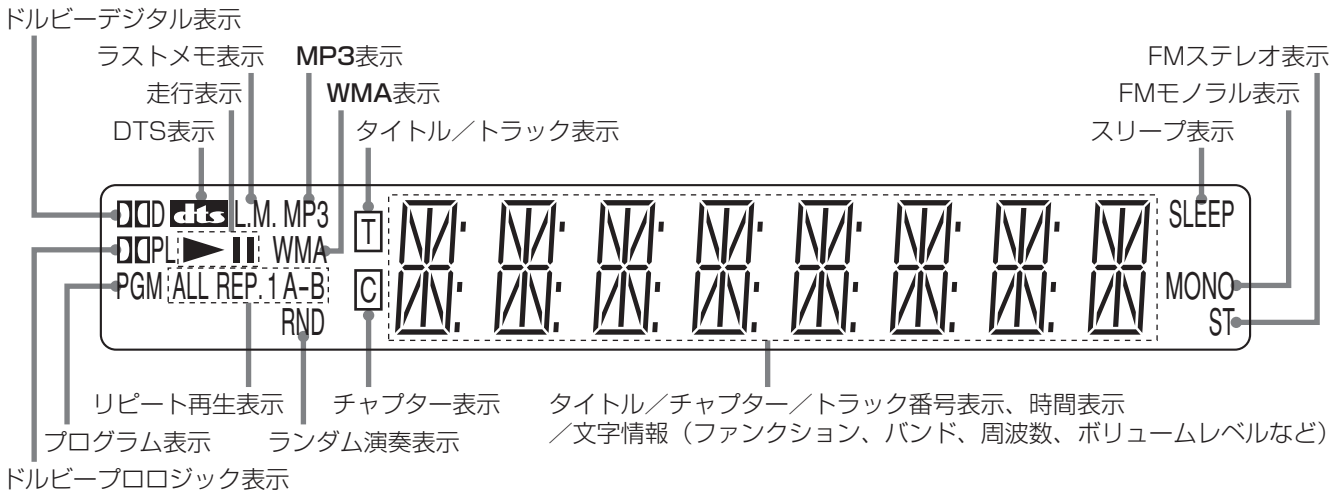
本体の同様の名前のボタンでも操作のしかたは同じです。

● 表示例として使用しております表示画面については、実際の画面と異なる場合があります。

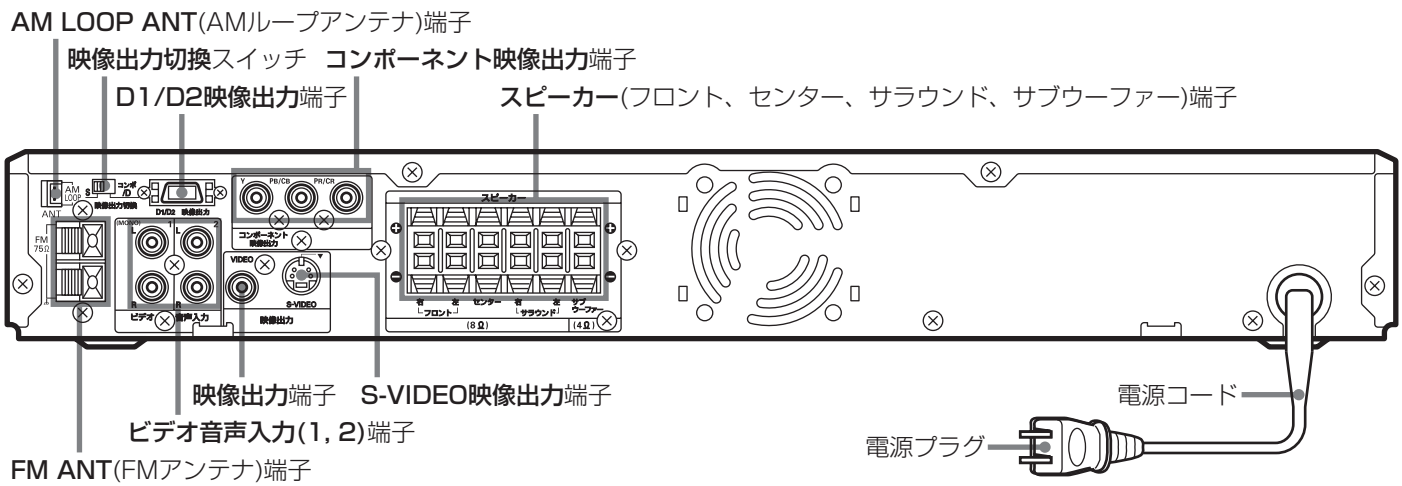
前　面



表示窓



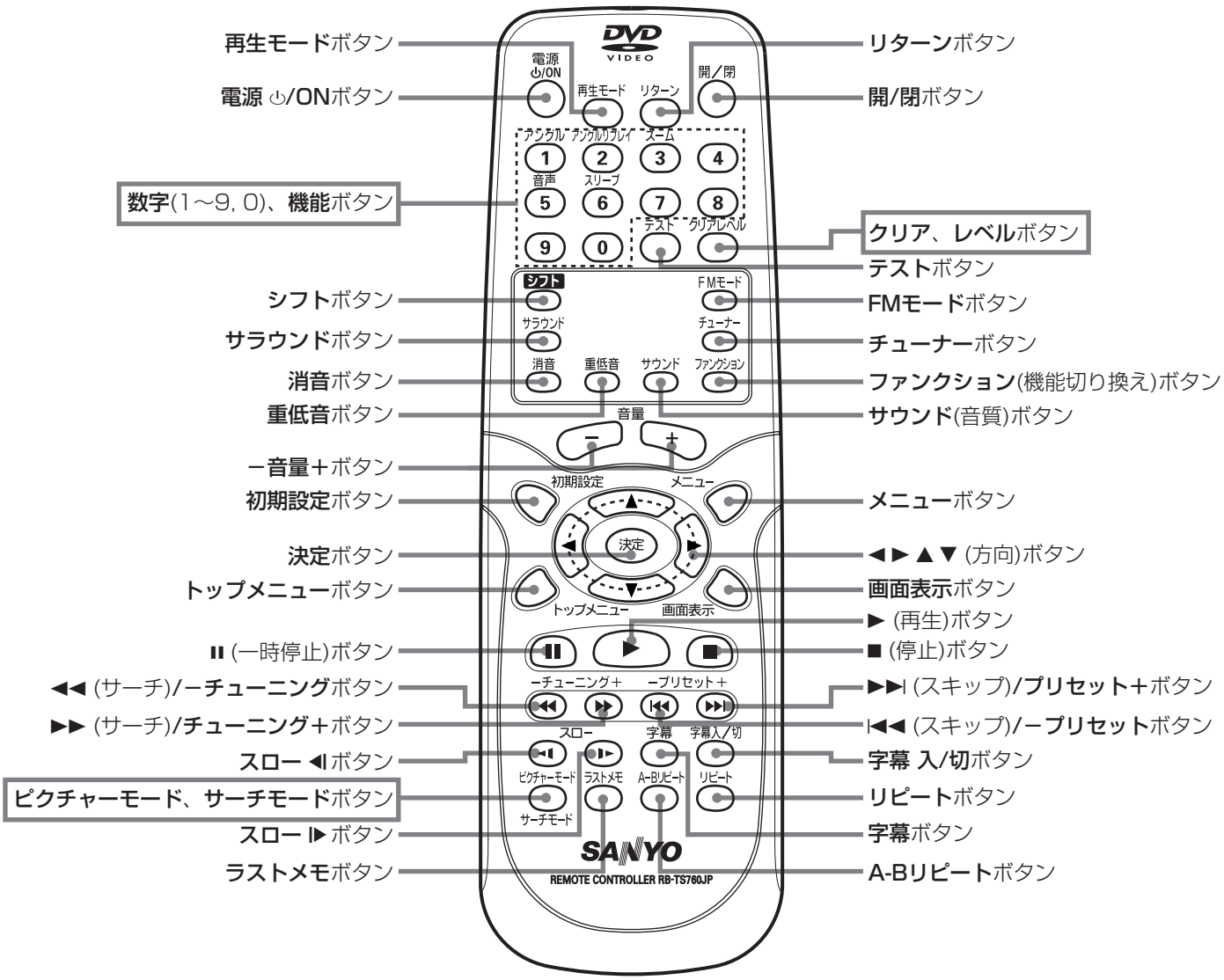
背　面



各部のなまえ

本書では基本的にリモコンでの操作を中心に説明しています。

リモコン



数字(1～9, 0)、**機能**ボタン、**ピクチャーモード**、**サーチモード**ボタン、**クリア**、**レベル**ボタン

- **数字**ボタン、**ピクチャーモード**ボタン、**クリア**ボタンとして使うときは、そのままボタンを押します。
- 以下の**機能**ボタン、**サーチモード**ボタン、**レベル**ボタンとして使うときは、**シフト**ボタンを押しながら、各ボタンを押します。
  - **アングル**ボタン
  - **アングルリプレイ**ボタン
  - **ズーム**ボタン
  - **音声**ボタン
  - **スリープ**ボタン

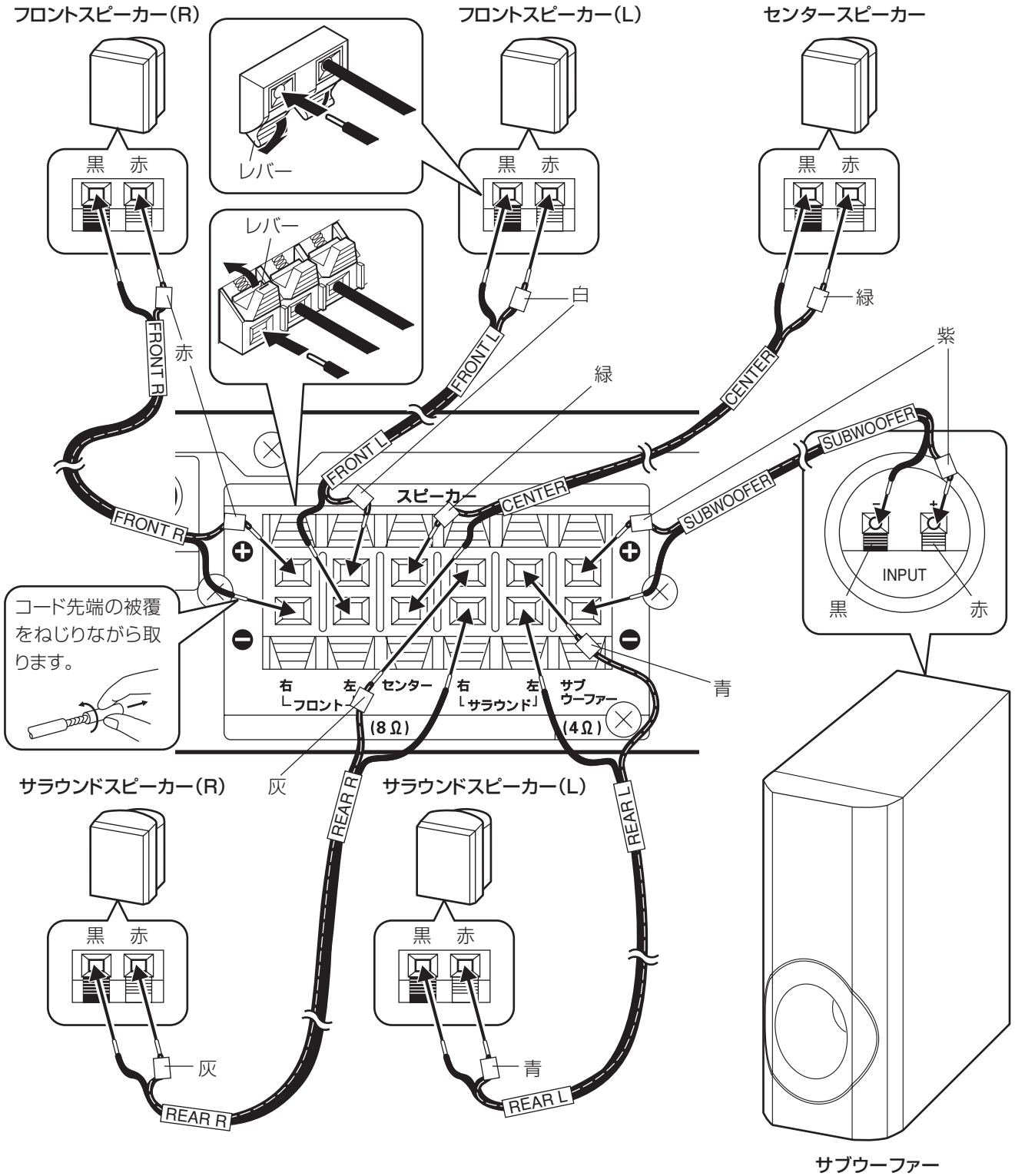
- ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
- DTSは、米国DTS社が開発した映画用音声記録方式「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットのことです。DTSは、米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。

スピーカーを接続する

付属のスピーカーを接続します。本体のスピーカー端子（＋側）と付属のスピーカーコードのカラーチューブ（＋側）はそれぞれ色分けされていますので、同じ色どうしを接続してください。
フロントスピーカー（L、R）、センタースピーカー、サラウンドスピーカー（L、R）は、全て同じものです。

接続時の注意

- 接続するときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
- 本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、テレビや接続している機器の電源スイッチを切ってください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。
- 本機のスピーカーネットは取り外しできません。



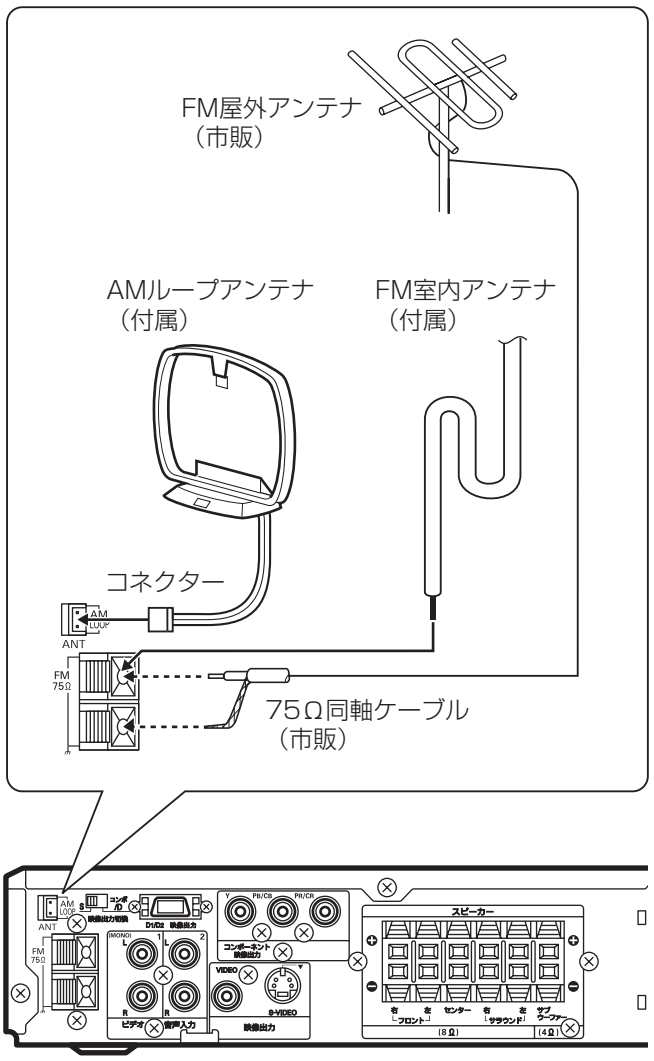
アンテナを接続する

付属のAMループアンテナとFM室内アンテナを接続します。

接続時の注意

- 接続するときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
- 本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、テレビや接続している機器の電源スイッチを切ってください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。

アンテナを接続する

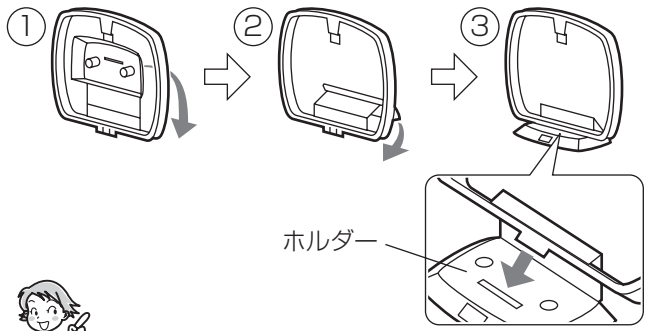


ご注意

- 接続コードはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音や誤動作の原因になります。
- AMループアンテナやFM室内アンテナのコードは電源コード、スピーカーコードやテレビ、パソコンなどから、できるだけ離してください。
- 本機とテレビを近づけて設置すると、設置のしかたによっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを離してご使用ください。また、近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

AMループアンテナの組み立て

図のように組み立てます。



ちょっとこれを！

- AMループアンテナは、アンテナホルダーを組み立て、AM放送が良く受信できるところに置くか、またはアンテナホルダーを壁などに取り付けてご使用ください。取り付けには市販の木ネジをご用意ください。
- AMループアンテナを本機やテレビなどの機器に近づけると、雑音が入りますので、できるだけ離してご使用ください。
- 鉄筋コンクリート造りの建物では、良好な受信ができない場合があります。

FMアンテナについて

付属の室内アンテナ

雑音が少なく最も受信状態の良い位置に固定してください。

市販の屋外アンテナ

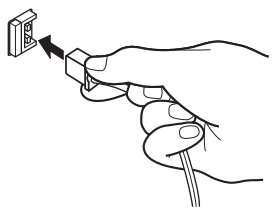
付属の室内アンテナでは雑音が入り聞きづらいときには、室内アンテナをはずし屋外アンテナを接続してください。

屋外アンテナの選びかたや設置、接続については、お買い上げの販売店にご相談ください。

端子への接続のしかた

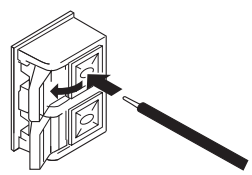
AMループアンテナ

端子の形状に合わせて接続する。



FM室内アンテナ

レバーを押しながら、コードを差し込みます。



テレビや他の機器と接続する

つづく

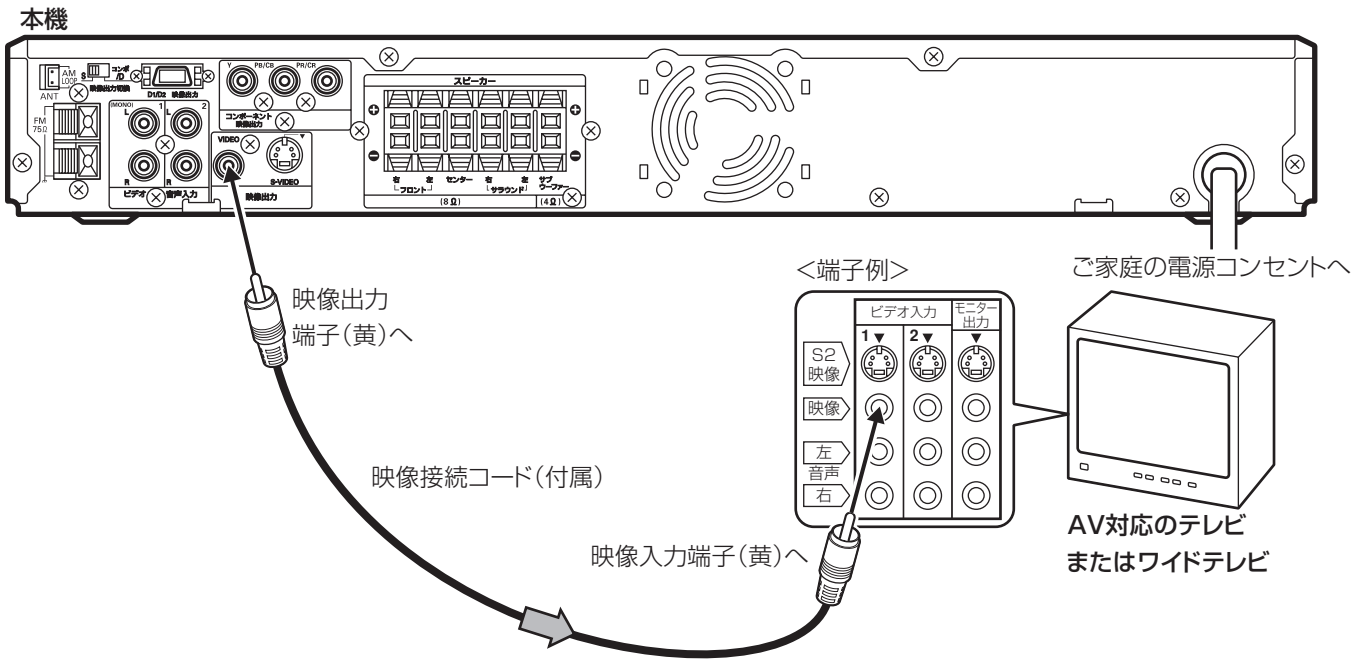
本機の映像をテレビで楽しむことや、本機で他の機器の音声を迫力のある音響効果で楽しむことができます。

- すべての接続が完了したら、テレビの画面形状設定(「4:3LB」、「4:3PS」、「16:9」)をあわせてください。P48
- プログレッシブ方式に対応したテレビと接続するときは、D1/D2映像出力端子またはコンポーネント映像出力端子に接続してください。P16

接続時の注意

- 他の機器を接続するときや**映像出力切換**スイッチを切り換えるときは、本機および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
- 本機とテレビは直接接続してください。たとえば、本機からの映像をビデオデッキを通してテレビでご覧になると、コピー防止の働きにより画像が乱れることがあります。
- 接続する機器の説明書もよくお読みください。
- 本機の電源コードをコンセントにつないだり、コンセントから抜くときは、テレビや接続している機器の電源スイッチを切っておいてください。電源を入れたままにしておくと、スピーカーを傷める恐れがあります。

テレビと接続する

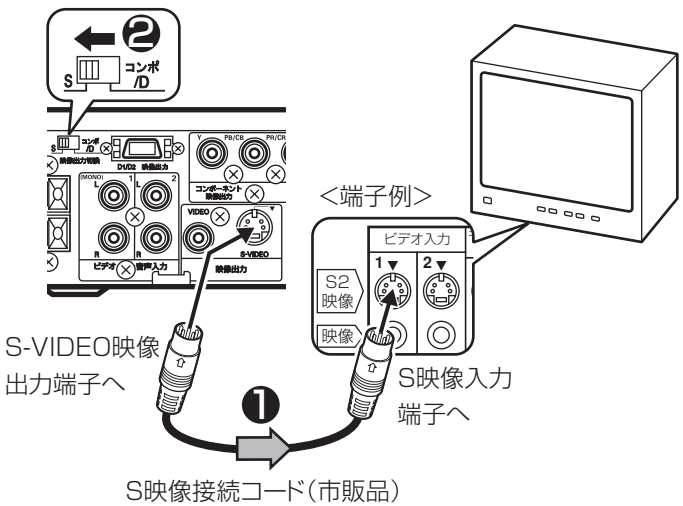


■ 映像ケーブルの接続方法を選ぶ

例1:S映像入力端子のあるテレビと接続する場合

黄色の映像接続コードで接続する代わりに、S映像接続コードで接続するとよりきれいな映像が楽しめます。このとき、映像出力端子の接続は外しておいてください。

1. **市販のS映像接続コードで本機のS-VIDEO映像出力端子とテレビのS映像入力端子を接続する。**
2. **本機の映像出力切換スイッチを「S」側に切り換える。**

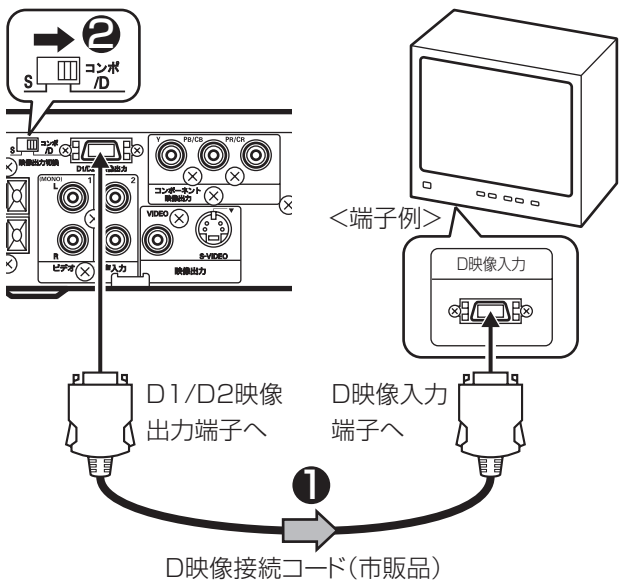


テレビや他の機器と接続する

例2:D端子のあるテレビと接続する場合

本機のD1/D2映像出力端子の信号に対応した入力端子を持つテレビやプロジェクターに接続することにより高画質の映像を楽しむことができます。本機のD1/D2映像出力端子は、接続する機器のD1、D2、D3、D4のいずれの端子にも接続することができます。また、本機はインターレース方式またはプログレッシブ方式、両方の映像出力方式に対応しています。

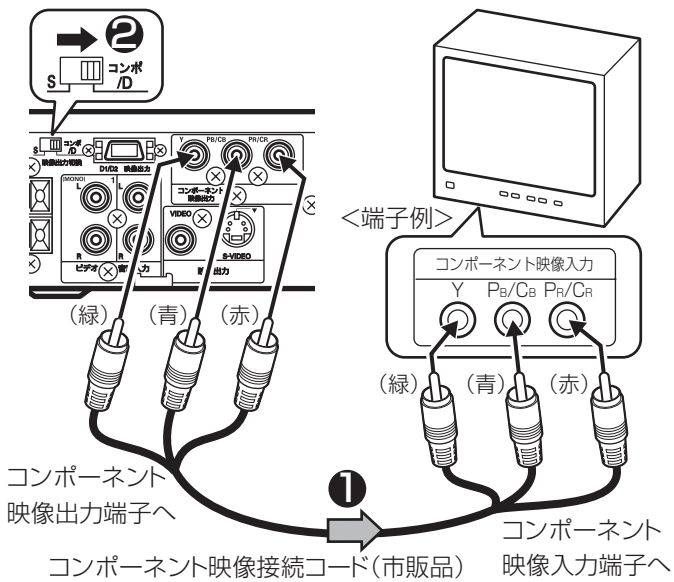
1. **市販のD端子映像接続コードで本機のD1/D2映像出力端子とテレビのD映像入力端子を接続する。**
2. **本機の映像出力切換スイッチを「コンポ/D」側に切り換える。**
3. **本機の映像出力方式を接続したテレビに合わせて、インターレース方式またはプログレッシブ方式に設定する。**



例3:コンポーネント映像入力端子のあるテレビと接続する場合

本機のコンポーネント映像出力端子の信号に対応した入力端子を持つテレビやプロジェクターに接続することができます。輝度、コンポーネント信号が独立して出力されるので、映像の本来の色を忠実に再現することができます。また、本機はインターレース方式またはプログレッシブ方式、両方の映像出力方式に対応しています。

1. **市販のコンポーネント映像接続コードで本機のコンポーネント映像出力端子とテレビのコンポーネント映像入力端子を接続する。**
2. **本機の映像出力切換スイッチを「コンポ/D」側に切り換える。**
3. **本機の映像出力方式を接続したテレビに合わせて、インターレース方式またはプログレッシブ方式に設定する。**



注意 D1/D2映像出力端子とコンポーネント映像出力端子は両方同時に接続しないでください。両方接続するとテレビ画面が乱れることがあります。

映像信号の出力方式(インターレースまたはプログレッシブ)を選択する

D1/D2または、コンポーネント映像出力端子に接続したテレビなどに合わせて映像信号の出力方式を選択します。

注意 本機をプログレッシブ方式に対応するテレビ等に接続してプログレッシブ出力した場合に、画像の乱れなどの問題が生じた場合は、インターレース方式でご覧になることをお勧めします。

準備

- テレビの電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選びます。
- 本機の映像出力切換スイッチが「コンポ/D」側に切り換わっていることを確認する。
- この設定は本体で操作してください。

1 ⏻/ONボタンを押して電源を入れる

- ディスクが入っているときは、▲(ディスクトレイ開閉)ボタンを押してディスクを取り出したあとトレイを閉め、表示窓に「NO DISC」と表示されてから操作2をおこなってください。

2 PRESET+/ ►►I(スキップ)ボタンを押し続けて出力方式を選ぶ

テレビ画面に「I(インターレース)」または「P(プログレッシブ)」が表示されます。

I(インターレース):通常のテレビなど(インターレース方式)に接続しているときに選択します。

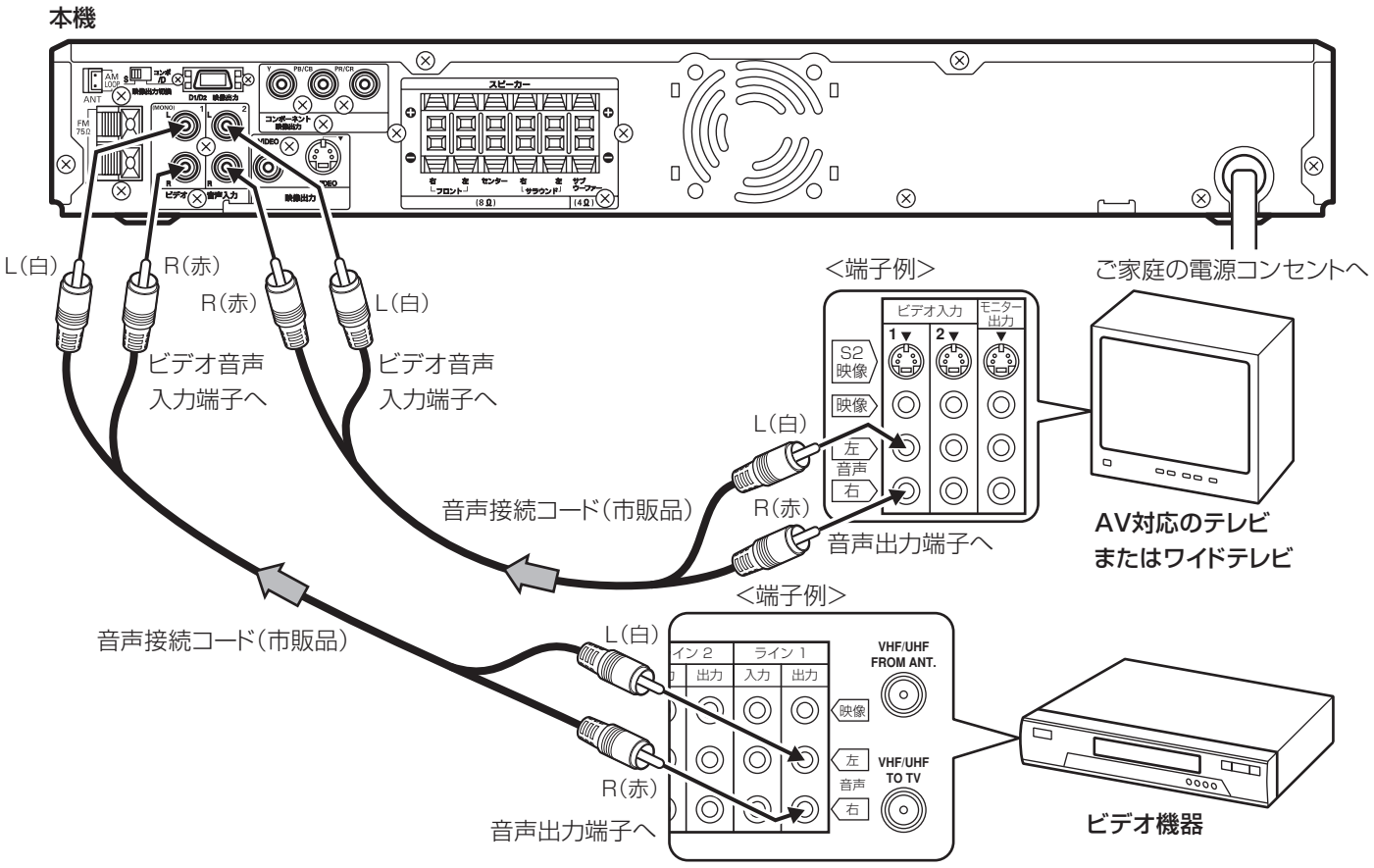
P(プログレッシブ):プログレッシブ方式に対応したテレビなどに接続しているときに選択します。

ちょっとこれを!

- テレビがプログレッシブ対応していなければテレビ画面は正常に映りません。出力方式をインターレース方式に設定しなおしてください。

他の機器と接続する

ビデオやテレビの音声出力を本機に接続すると、本機のスピーカーで迫力ある音声を楽しむことができます。



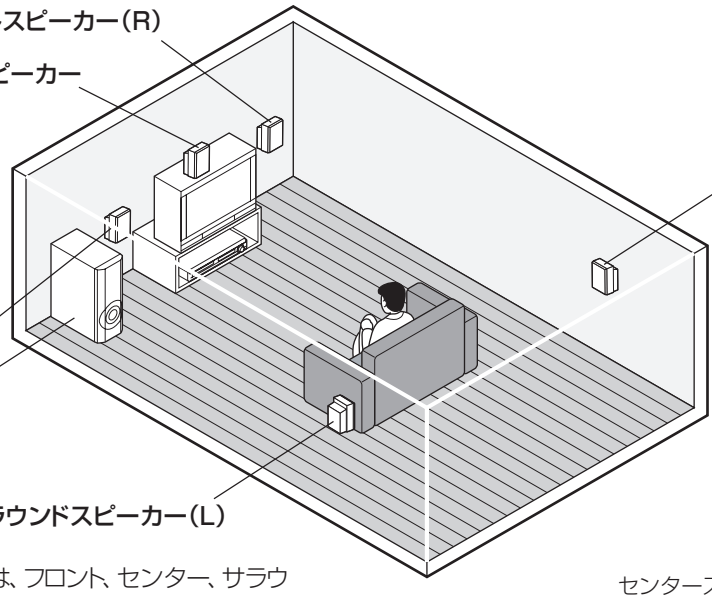
ちょっとこれを!

- ビデオ音声入力端子を使う場合は、**FUNCTION**ボタンで「VIDEO 1」または「VIDEO 2」に切り換えてご使用ください。

スピーカーの設置と設定

スピーカーを設置する

付属の5つのスピーカーは同じものですので、フロント(L、R)、センター、サラウンド(L、R)いずれにも使用することができます。



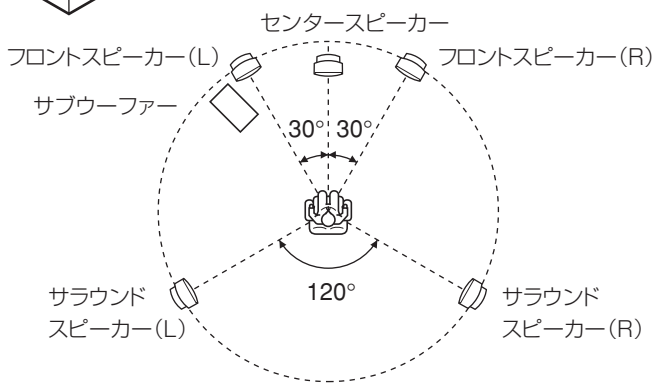
※センタースピーカーをテレビの上に設置する場合は、必ず上面が水平なテレビにしてください。上面が傾いたテレビの上には設置しないでください。なお、この時落下防止の為にスピーカー底面に固定用テープを貼られることをお勧めいたします。

● スピーカーケーブルを足や手に引っかけてスピーカーを落下させることの無いように、ケーブルは必ず固定してください。

サラウンド効果を十分楽しむためには、フロント、センター、サラウンドスピーカーをリスニングポジションから可能な限り等間隔になるように設置してください。
右図のような角度になるように設置すると、より効果的にサラウンド効果を楽しむことができます。テレビ内蔵のスピーカーの音量は、可能な限り小さくすることをおすすめします。

- フロント(L、R)スピーカーは、テレビの左右の側面に設置してください。
- センタースピーカーは、テレビの上側または下側で出来るだけテレビに近い所に設置してください。
- サラウンド(L、R)スピーカーは、リスニングポジションの横または後方に設置してください。
- サブウーファーは、フロントスピーカーの近くでテレビにあまり近づかない位置へ設置してください。

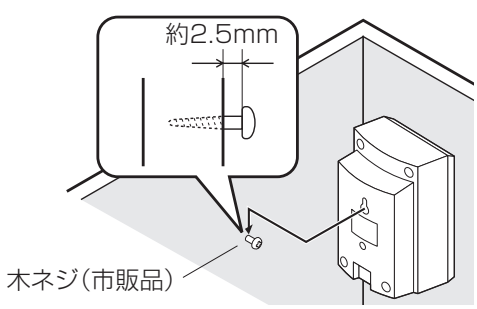
設置後、サラウンド効果を十分楽しむために、設置したスピーカーの距離や角度に合わせて音声設定をおこなってください。 P49



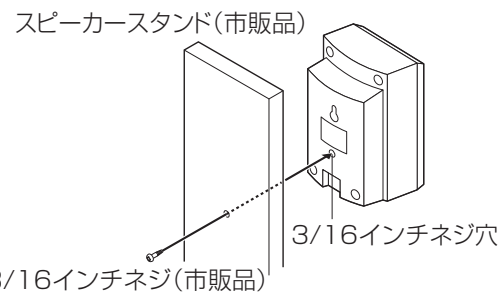
本機のスピーカーは、テレビの近くでも使用できるように設計されていますが、設置のしかたによっては、テレビに色ムラが生じることがあります。その場合は、本機をテレビから離して(影響がなくなるまで)設置してください。

スピーカーを取り付ける

例1:壁に取り付ける場合



例2:スピーカースタンド(市販品)に取り付ける場合



注意
- スピーカーが落下しないようにしっかりと取り付けてください。
- 木ネジがスピーカー背面の穴に確実に入っていることを確認してください。
- モルタルや化粧ベニヤ板など、はがれやすい材質の壁には取り付けないでください。ネジが抜けてスピーカーが落下すると、けがの原因になります。
- 取付後は必ず安全性を確認してください。取り付け個所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、弊社では一切負いかねますのでご了承ください。

スピーカーの音量とバランスを設定する

本機は工場出荷時にスピーカーの音量とバランスを標準状態(レベル 0)に設定してありますが、より効果的にサラウンド効果を楽しむために設置する部屋の大きさや設置方法に合わせて各スピーカーの音量とバランスをテストトーンを使って設定します。

準備

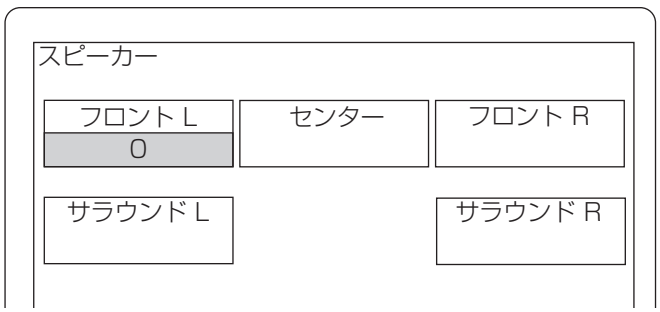
- 本機とテレビの電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選びます。
- 再生しているときは、■(停止)ボタンを2度押して完全に停止させてから操作してください。

■ フロント(L、R)、センター、サラウンド(L、R)スピーカーの音量とバランスを設定する

1 ファンクションボタンを押して「DVD/CD」を選ぶ

2 リモコンのテストボタンを押す

テレビ画面にスピーカーの設定画面が表示されます。



表示窓には「FNT-L 0」が表示されます。
以下の順に各スピーカーからテストトーンが聞こえ、表示が切り換わります。

画面	表示窓	スピーカー
フロント L	FNT-L 0	フロント左スピーカー
センター	CENT 0	センタースピーカー
フロント R	FNT-R 0	フロント右スピーカー
サラウンド R	SUR-R 0	サラウンド右スピーカー
サラウンド L	SUR-L 0	サラウンド左スピーカー

3 リモコンの音量+または−ボタンでテストトーン全体の音量を調節する

4 設定したいスピーカーからテストトーンが聞こえているときにリモコンの▲/▼ ボタンを押す

リスニングポジションで、すべてのスピーカーから聞こえるテストトーンの音量が同じになるように調整します。
設定値がテレビ画面と表示窓に表示されます。
調整範囲：フロント L　0 ～ −10
センター　+10 ～ −10
フロント R　0 ～ −10
サラウンド R　+10 ～ −10
サラウンド L　+10 ～ −10
必要に応じて設定を繰り返します。

5 リモコンのテストボタンを押す

スピーカーの設定画面が消えます。

ちょっとこれを！

- 各スピーカーから5回テストトーンが聞こえると、自動的にスピーカー設定が終了します。

■ サブウーファーの音量を設定する

1 リモコンのシフトボタンを押しながらクリア レベルボタンを押す

表示窓に「FNT-L 0」が表示されます。

2 リモコンの決定ボタンを押して「SUB.W 0」を選ぶ

押すたびに、選択されているスピーカーとレベルが以下のように切り換わります。

(例)
「FNT-L 0」→「CENT 0」→「FNT-R 0」→「SUR-R 0」→「SUR-L 0」→「SUB.W 0」→「FNT-L 0」･･･

3 リモコンの ▲/▼ ボタンを押す

好みの音量に調整します。
設定値が表示窓に表示されます。
調整範囲：+10 ～ −10

4 リモコンのシフトボタンを押しながらクリア レベルボタンを押す

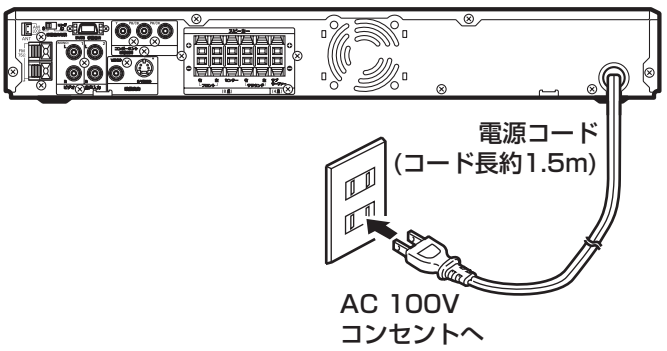
設定表示が消えます。

ちょっとこれを！

- サブウーファーの設定時には、テストトーンは鳴りません。実際に音楽などを再生しながら設定されることをおすすめします。
- サブウーファー以外のスピーカーを選択中に ▲/▼ ボタンを押してレベルを設定することもできます。
- 設定中、約10秒間何も操作しないと、自動的にスピーカー設定が終了します。
- サブウーファーは重低音が「BOOST」または「NORMAL」でないと音は出ません。P21

電源と共通の操作

電源コードの接続



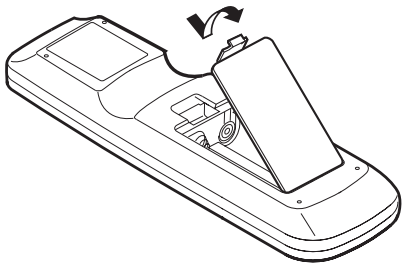
● 電源コードを抜き差しするときは、本体の ⏻ /ONボタンで電源を切ってからおこなってください。先に電源を切らないと、ディスクに傷がついたり故障の原因となります。

スクリーンセーバーについて

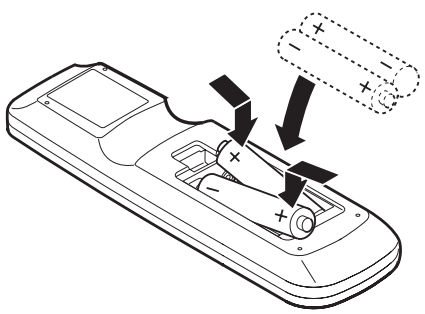
● ディスクを再生していない状態または一時停止状態で、約15分間本体またはリモコンを操作しない場合は、自動的にスクリーンセーバー画面に切り替わります。本体もしくはリモコンの操作ボタンを押すとスクリーンセーバーは解除されます。
● スクリーンセーバー中にボタンを押しても、**電源**ボタンと**ファンクション**ボタン以外は動作しません。

リモコン用乾電池の入れかた

1 電池ぶたのつまみを押し、ふたを開けます。



2 単3形乾電池2本を、極性⊕⊖を正しく入れて、ふたを閉めます。



付属の電池について

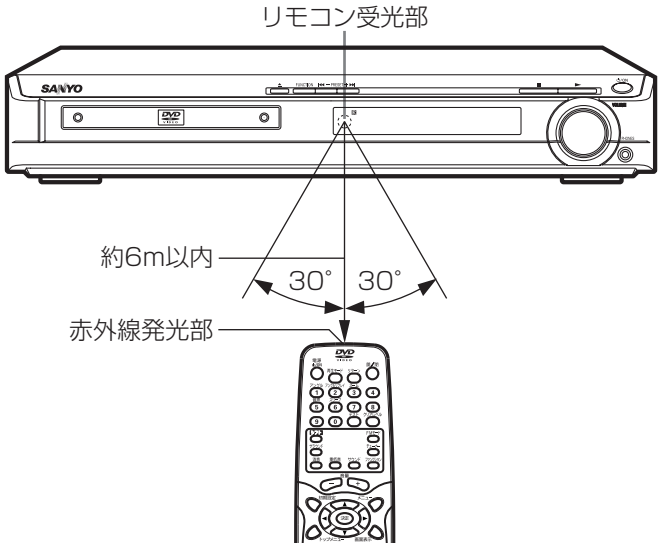
● 付属の乾電池はモニター用です。寿命が短いことがありますがご了承ください。

乾電池の交換について

● 乾電池の寿命は、使い方にもよりますが、約1年をめやすに2本同時に同種類の乾電池と交換してください。

リモコンの使える範囲

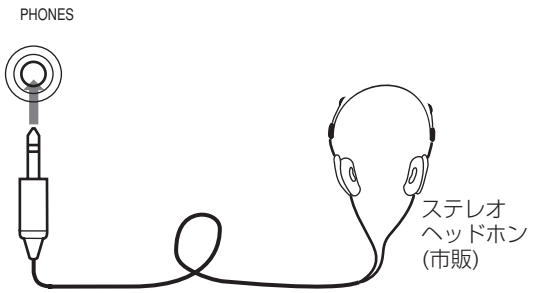
水平(垂直)方向で左右(上下)30度ずつ、直線距離で約6mまでの範囲です。



● リモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると、操作できないことがあります。
● リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンを操作しても動作しなくなりますので、2本とも新しい乾電池に交換してください。
● 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くでは、強い光が当たると正常に動作しないことがあります。

ヘッドホンで聞く

前面のPHONES端子に接続する



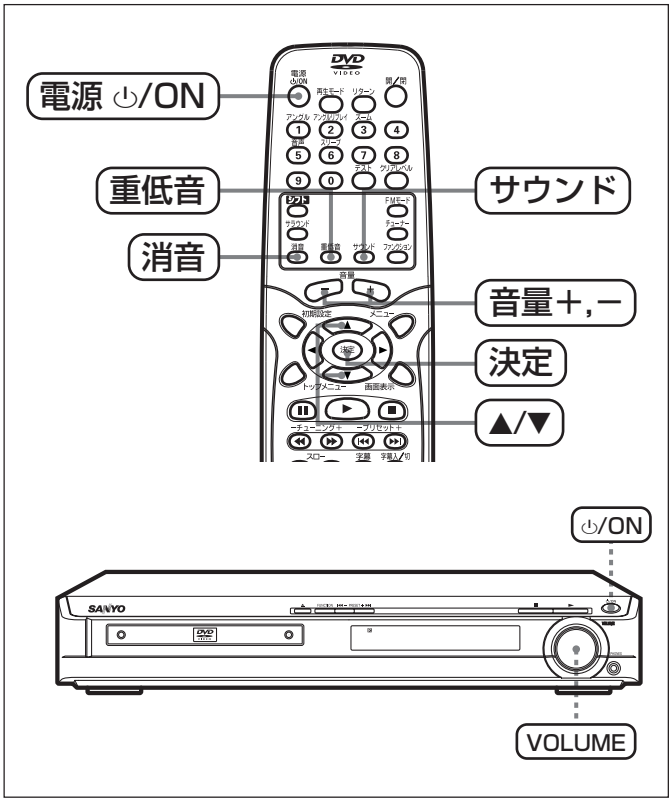
● ミニプラグ付のステレオヘッドホンをご用意ください。
● ヘッドホンを接続するとスピーカーから音が出なくなります。

ご注意

● ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大きな音量で長時間お聞きにならないようにしてください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



電源を入/切する

電源 ⏻/ONボタンを押す

電源が入り、表示窓が点灯します。

- 本体で操作するときは、⏻/ONボタンを押します。
- 表示窓に「HELLO」が表示されます。
- ファンクションは電源を切る前のファンクションになります。

もう一度押すと電源が切れる

- 表示窓に「GOOD-BYE」が表示されます。

音量を調節する

音量＋または－ボタンで調節する

押すたびに、表示窓に音量レベル(VOL 0 ～ VOL MAX)が表示されます。

- 本体で操作するときは、VOLUMEつまみを回します。
- 電源を切ったときは、切る前の音量が保持されます。
- 電源コードを接続し、最初に電源を入れたとき、音量は自動的に「VOL 15」にセットされます。

一時的に音を消すには

消音ボタンを押す

表示窓に「MUTE」が点滅表示されます。

もう一度押すともとの音量に戻る

お好みの音質に設定する

再生する内容に合わせて、お好みの音質で聞くことができます。

1 サウンドボタンを押して設定したいモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

「BASS」→「TREBLE」→「CINE(Cinema)」→「QS(Q-Surround)」→もとの表示→「BASS」･･･

2 ▲/▼ または決定ボタンを押す

以下のボタンを押して設定します。

モード	ボタン	設定値
BASS	▲/▼	－5 ～ ＋5
TREBLE	▲/▼	－5 ～ ＋5
CINE	決定	「ON」または「OFF」
QS	決定	「LOW」または「HI」

3 操作1～2を繰り返して音質を設定する

4 サウンドボタンを押す

繰り返し押して、もとの表示に戻します。

ちょっとこれを！

- CINE(Cinema)モードとは、夜間など音量を小さく設定しているときに「ON」に設定すると小さな音量の音声でも聞き取りやすくなります。
- 設定中、約10秒間何も操作しないと、自動的に音質設定が終了します。
- 電源を切ったときは、切る前の音質(BASS/TREBLEの設定値)とQSの設定は保持されますが、CINEモードの設定は保存されません。

重低音を強調する

重低音ボタンを押して希望の設定を選ぶ

表示窓に現在の設定が表示されます。
押すたびに、以下のように切り換わります。

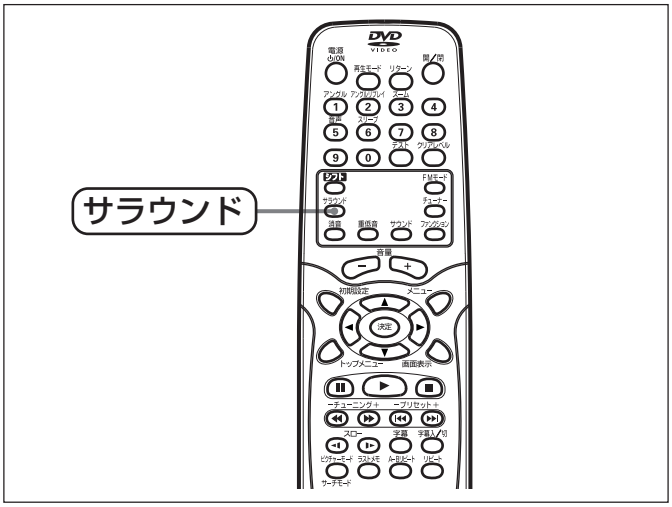
「BOOST」→「BASS OFF」→「NORMAL」

- ヘッドホンを接続しているときは重低音ボタンを押しても設定は切り換わりません。表示窓に「-BASS-」と表示されます。

ちょっとこれを！

- 電源を切ったときは、切る前の設定が保持されます。

電源と共通の操作



サラウンドモードを設定する

再生するディスクや状況に合わせて設定を選ぶだけで、簡単にサラウンド効果を楽しむことができます。サラウンド効果の詳しい内容については、下表をご覧ください。

サラウンドボタンを押して希望の設定を選ぶ

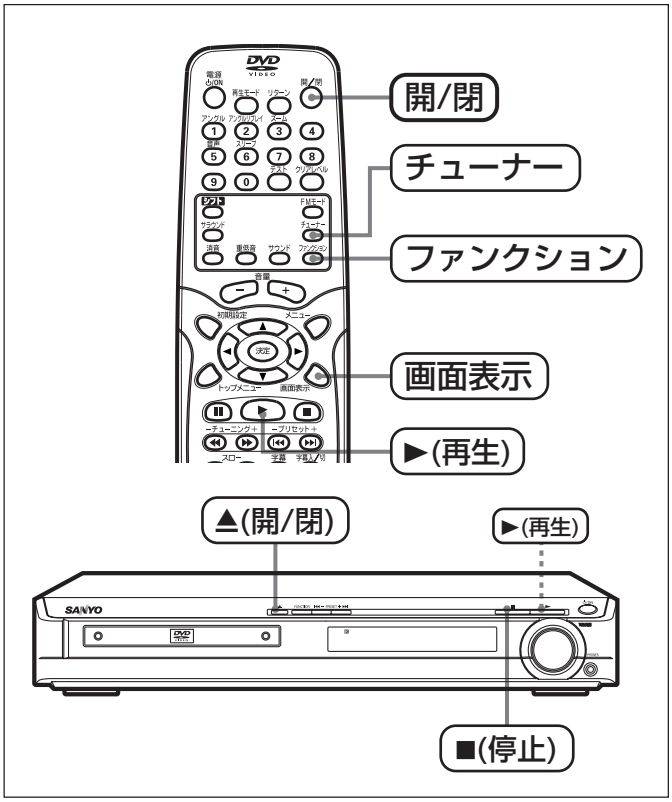
表示窓に現在のサラウンドモードが表示されます。
押すたびに、以下のように切り換わります。

→「AUTO」→「QS 5.1 ST」→「QS 5.1 MN」→「2.1ch」

ヘッドホンを接続しているときは、以下のように切り換わります。

→「AUTO HP」→「QS HP ST」→「QS HP MN」→「2ch HP」

ファンクション	モード	サラウンド効果
DVD/CD	AUTO	自動的にディスクに収録されている音声信号フォーマットを検出して、適切なサラウンドの処理方式に切り換えて再生します。 ● DVDのディスクのうち音声信号がドルビーデジタル(5.1ch)にて収録されているものに関しては、表示窓に「DD D」が表示され、サラウンドモードはドルビーデジタル(5.1ch)で再生されます。ただし、ディスクによっては5.1chで録音されていないものもあります。 ● DVDのディスクのうち音声信号がドルビーデジタル2chおよびモノラルにて収録されているものに関しては、表示窓に「DD D」と「DD PL」が同時に表示され、サラウンドモードはドルビープロロジックで再生されます。 ● DVDのディスクのうち音声信号が2chリニアPCM(ステレオ)にて収録されているものに関しては、表示窓に「DD PL」が表示され、サラウンドモードはドルビープロロジックで再生されます。 ● その他のディスク(音楽CDやMP3、WMA)のサラウンドモードは、Q-Surround 5.1chで再生されます。
	QS 5.1 ST	Q-Surround 5.1chのサラウンドモードで再生されます。2chで収録された音声信号のディスクでも、擬似的に5.1chのサラウンド効果(広がり感)が得られます。
	QS 5.1 MN	モノラルで収録された音声信号のディスクでも5.1chのサラウンド効果で聞きたいときは、この設定にすればモノラルソースでも擬似的に5.1chのサラウンド効果(広がり感)が得られます。
	2.1ch	サラウンドモードは2.1chに設定され、フロントのLch、Rchとサブウーファーのみで再生されます。
VIDEO1 VIDEO2 FM TUNER AM TUNER	AUTO	Q-Surround 5.1chのサラウンドモードで再生されます。
	QS 5.1 ST	Q-Surround 5.1chのサラウンドモードで再生されます。2chの音声信号でも、擬似的に5.1chのサラウンド効果(広がり感)が得られます。
	QS 5.1 MN	この設定にすればモノラルソースでも擬似的に5.1chのサラウンド効果(広がり感)が得られます。
	2.1ch	サラウンドモードは2.1chに設定され、フロントのLch、Rchとサブウーファーのみで再生されます。
DVD/CD VIDEO1 VIDEO2 FM TUNER AM TUNER	AUTO HP QS HP ST	Q-Surroundのサラウンドモードで再生されます。
	QS HP MN	モノラルソースを擬似的なサラウンド効果(広がり感)で再生されます。
	2ch HP	通常の2chモード(ステレオ)で再生されます。



ワンタッチで再生を始める

電源が切れている状態でも、ボタンを一つ押すだけで自動的に電源が入り、再生や放送が始まります。

再生(ディスクが入っているとき)

▶(再生)ボタンを押すと、再生が始まります。

ラジオ放送の受信

チューナーボタンを押すと、放送を聞くことができます。

- ラジオのバンドや周波数などは、電源を切る前のモードでスタートします。

ディスクの取り出しもワンタッチで

開/閉(または本体の ▲)ボタンを押すと、ディスクトレイが開きます。

ファンクション(音源)を切り換える

ファンクションボタンを押して希望のファンクションを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

「DVD/CD」→「VIDEO 1」→「VIDEO 2」
「AM TUNER」←「FM TUNER」

ちょっとこれを!

- **開/閉**ボタンや ▶(再生)ボタン、**チューナー**ボタンを押したときは、自動的にファンクションが切り換わります。
- ファンクションが切り換わると、ディスクの再生は自動的に停止します。
- **開/閉**ボタンを押すと、ファンクションが「DVD/CD」に切り換わりディスクトレイが開きます。

ディスクトレイをロックするときは

小さなお子さまが誤って使用されるのを防ぐために、ディスクトレイをロックすることができます。

開/閉(または本体の ▲)ボタンを押してディスクトレイが開いた状態で、本体の ▲ ボタンを表示窓に「LOCKED」またはテレビ画面に「トレイロック On」が表示されるまで押し続ける

開/閉(または本体の ▲)ボタンを押してもディスクトレイは開かなくなります。

- ディスクトレイのロックを解除するには、トレイロック中に本体の ▲ ボタンを表示窓に「UNLOCKED」またはテレビ画面に「トレイロック Off」が表示されるまで押し続けます。
- トレイロック中に**開/閉**(または本体の ▲)ボタンを押すと、テレビ画面に「トレイロック On」、表示窓に「LOCKED」と表示されます。

表示窓の明るさを変える

表示窓の明るさが気になるときは、通常よりも暗くすることができます。

本体の ■ (停止)ボタンを押しながらリモコンの画面表示ボタンを押して、ディマーモード(明るさ)を選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

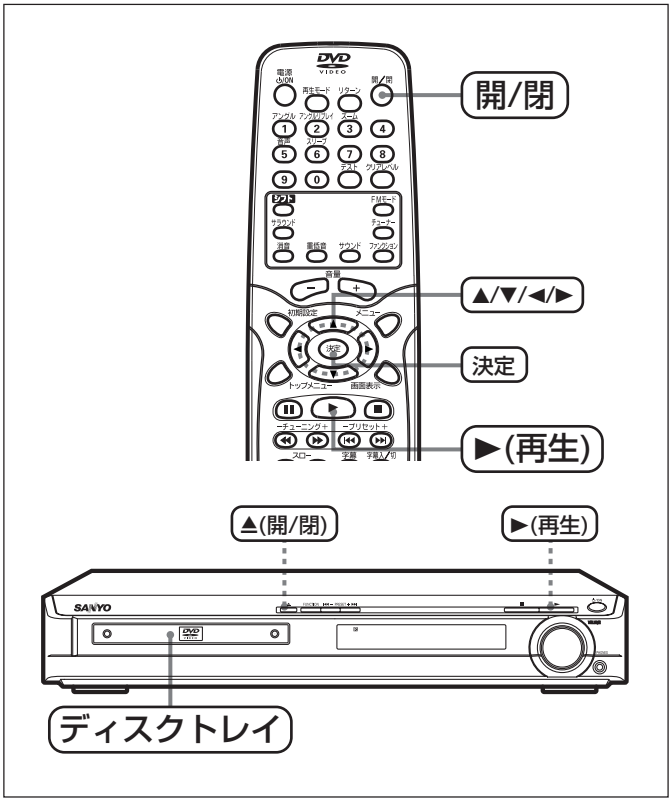
「DIMMER 0」→「DIMMER 1」→「DIMMER 2」

DIMMER 0: 通常の明るさです
DIMMER 1: 表示窓が暗くなります
DIMMER 2: 表示窓がさらに暗くなります

ディスクを再生する

DVD CD

<各種設定はディスク情報が優先されます>



準備

- DVDを楽しむときは、本機とテレビの電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選びます。
- 接続しているテレビに合わせて、映像信号の出力方式（インターレースまたはプログレッシブ）や画面設定を変更してください。P16, 48

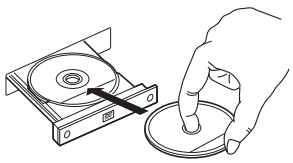
1 開/閉ボタンを押す

ファンクションが「DVD/CD」に切り換わり、ディスクトレイが開きます。また、表示窓に「OPEN」が表示され、テレビ画面に「SANYO」が表示されます。

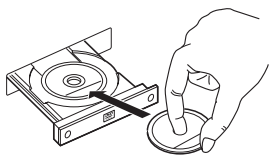
- 電源が切れているときでも、**開/閉**ボタンを押すと自動的に電源が入り、ファンクションが「DVD/CD」に切り換わり、ディスクトレイが開きます。

2 ディスクをディスクトレイに置く

再生面を下にして溝にそって正しく置きます。



12cmディスクの場合



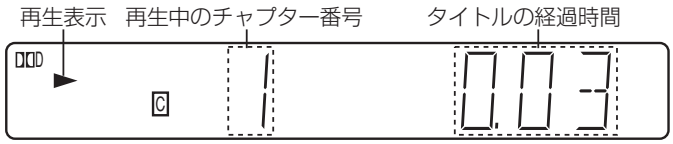
8cmディスクの場合

3 ▶（再生）ボタンを押す

ディスクトレイが自動的に閉まります。テレビ画面に「▲」、「リーディング」、「DVD」または「CD」と表示され、再生が始まります。

- 電源が切れているときでも、▶（再生）ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクが入っていれば再生が始まります。
- ディスクの再生面を逆にしてトレイに置いたり、傷ついたディスクを再生しようとすると、テレビ画面に「再生できません」表示窓に「NO PLAY」と表示されます。
  この場合は、ディスクを正しく置きなおすか、新しいディスクに交換してください。

（表示窓の表示例）

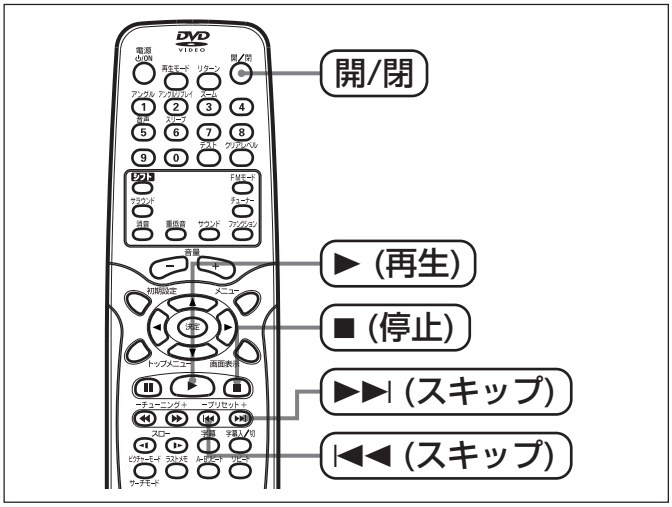


ディスクのメニューが表示されたとき

DVDによってはメニューが表示される場合があります。そのときは、▲/▼/◀/▶ ボタンと**決定**ボタンで項目を選びます。詳しくは、P26 をご覧ください。

ご注意

- 再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまうことがあります。
- ディスクトレイの出し入れは、本機またはリモコンのボタン操作でおこなってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- 再生するディスクによってディスクの大きさが違いますので、それぞれ溝にそって正確に置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因となります。
- ディスクトレイの前に物を置かないでください。ディスクトレイが開くときに、物が倒れて破損やけがの原因となります。また、ディスクトレイの故障の原因となります。
- DVDはリーディングに時間がかかります。
- ディスクによってはオートプレイをしないディスクがあります。



再生を途中で止める DVD

■(停止)ボタンを押す

停止した位置から再生するとき(レジューム機能)

再生中に ■(停止)ボタンを1回押すと、「レジューム ■」と表示されます。

►(再生)ボタンを押すと、停止したところから再生が始まります。

完全に停止させるとき(レジューム機能の解除)

開/閉ボタンを押してディスクを取り出すか、上記の状態からもう一度 ■(停止)ボタンを押します。

完全に停止状態になり、次に再生するときはディスクの最初から始まります。

ちょっとこれを!

- 「レジューム ■」と表示されないときは、レジューム再生できません。
- ディスクによってはレジューム再生できない場合があります。
- レジューム再生は、停止した場所によっては、停止位置からずれて始まる場合があります。
- 本機の電源を切ったときやディスクトレイを開閉したときは、レジューム再生の記録が消えます。

再生を途中で止める CD

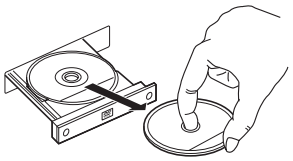
■(停止)ボタンを押す

「■」が表示され、再生が停止します。

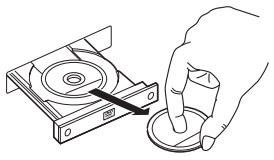
ディスクを取り出す

開/閉ボタンを押す

ディスクトレイが完全に開いてから、ディスクを取り出します。



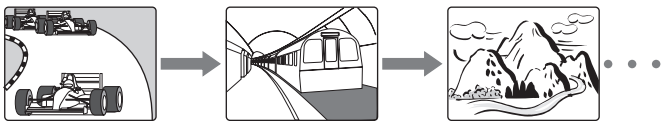
12cmディスクの場合



8cmディスクの場合

もう一度、**開/閉**ボタンを押して、ディスクトレイを閉めます。

再生したい項目にスキップする



次のチャプター/トラックへ進む

再生中に、►►I(スキップ)ボタンを押す

テレビ画面に「 ►►I 」が表示され、次のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

►►I

前のチャプター/トラックへ戻る

再生中に、I◄◄(スキップ)ボタンを押す

テレビ画面に「 I◄◄ 」が表示され、再生中のチャプターまたはトラックの頭から再生されます。続けてもう一度押すと、1つ前のチャプターまたはトラックの頭から再生します。

I◄◄

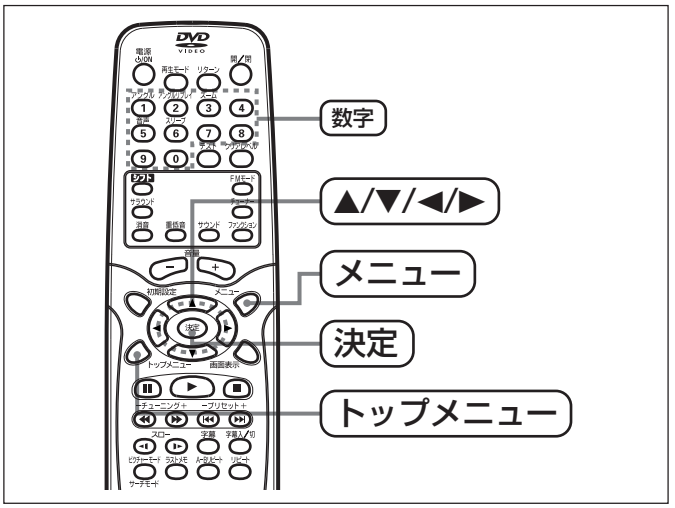
ちょっとこれを!

- ディスクによってはスキップが禁止されている場合があります。

メニューを使う

DVD

<各種設定はディスク情報が優先されます>



DVDには、ディスク内にメニューが記録されているものがあります。このようなディスクを再生するときは希望の項目をメニューで選ぶことができます。

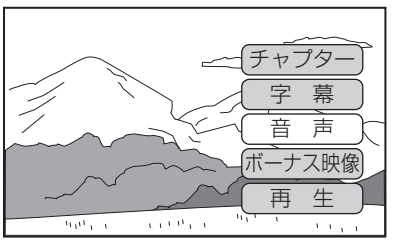
準備　本機の電源を入れた後、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。P24

DVDメニューで選ぶ

1 メニューボタンを押す

DVDメニューが表示されます。記録されている映像を選んだり、字幕や音声の言語を選べます。

（表示例）



2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して希望の項目を選ぶ

ディスクによっては、**数字**ボタンで選べるものもあります。

3 決定ボタンを押す

選んだ項目が実行されたり、次のメニューに移ったりします。
操作2～3を繰り返して希望のメニューを操作します。

ちょっとこれを！

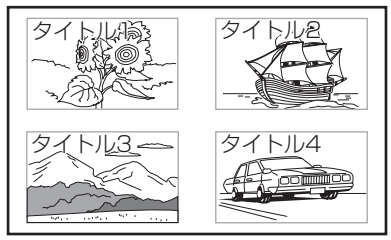
- 複数の言語でDVDメニューが記録されている場合は、初期設定の「音声・字幕・DVDメニューの言語設定」で言語を選ぶことができます。P45

トップメニューで選ぶ

1 トップメニューボタンを押す

トップメニューが表示されます。

（表示例）



2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して希望のタイトルを選ぶ

ディスクによっては、**数字**ボタンで選べるものもあります。

3 決定ボタンを押す

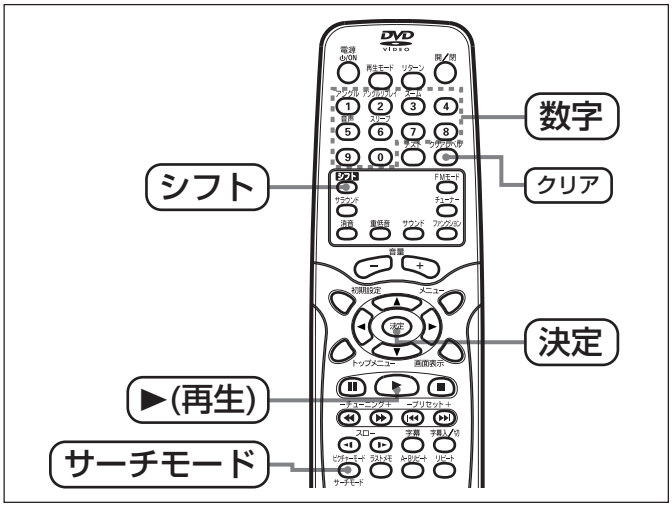
選んだタイトルの再生が始まります。

ちょっとこれを！

- メニューが記録されていないディスクもあります。
- メニューを操作してから実際に動作するまで、数秒かかる場合があります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」や「トップメニュー」のことを別の呼びかたで表示しているものもあります。また「**決定**ボタンを押す」といった案内の表示を「**選択**ボタンを押す」などと表示しているものがあります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」や「トップメニュー」を選ぶことが禁止されている場合があります。
- ディスクによっては「DVDメニュー」や「トップメニュー」が同じ内容で表示されることがあります。表示される内容はディスク情報に依存します。
- ディスクによってはリーディング後、メニューを表示する場合と本編を再生する場合があります。

見たい、聞きたいところを探す

DVD つづく



準備　本機の電源を入れた後、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。P24

タイトルサーチ

再生したいタイトル番号を入力すると、そこから再生することができます。

1 シフトボタンを押しながらサーチモードボタンを1度押す

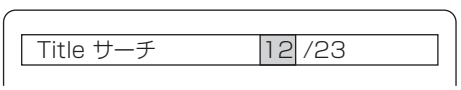
テレビ画面にタイトルサーチの入力画面が表示されます。

例:

2 数字ボタンで、希望のタイトル番号を入力する

例:タイトル番号12を選ぶには

1 → 2



3 決定または ► (再生)ボタンを押す

選んだタイトルから再生が始まります。

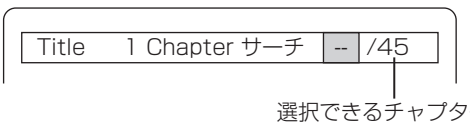
チャプターサーチ

再生したいチャプター番号を入力すると、そこから再生することができます。

1 再生中に、シフトボタンを押しながらサーチモードボタンを2度押す

テレビ画面にチャプターサーチの入力画面が表示されます。

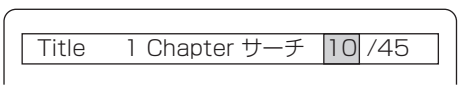
例:



2 数字ボタンで、希望のチャプター番号を入力する

例:チャプター番号10を選ぶには

1 → 0



3 決定または ► (再生)ボタンを押す

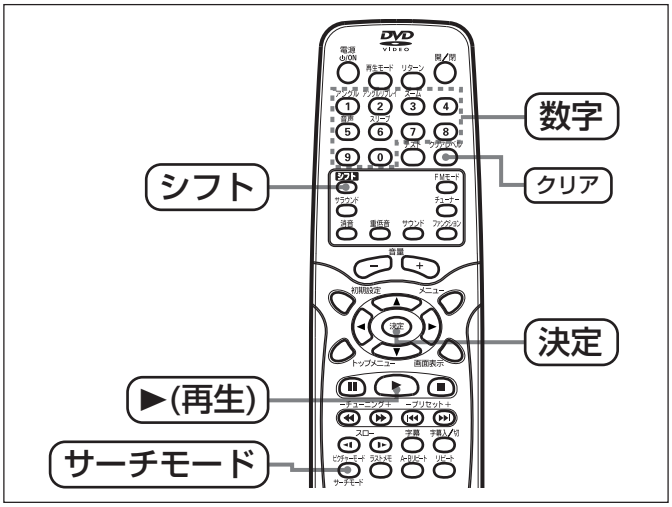
選んだチャプターから再生が始まります。

ちょっとこれを!

- 設定途中で訂正するときは**クリア**ボタンを押すと、入力番号表示が消えます。
- 設定途中で中止するときは、**シフト**ボタンを押しながら**サーチモード**ボタンを1～3度押して、表示を消します。
- **決定**または ► (再生)ボタンを押したときに誤った番号が入力されていると、入力画面に戻ります。正しい番号を再入力してください。
- ディスクによってはサーチを禁止しているものもあります。
- ディスクによっては**シフト**ボタンを押しながら**サーチモード**ボタンを押す回数が異なるものがあります。この場合は、画面の表示でサーチモードを確認してください。

見たい、聞きたいところを探す

DVD CD



準備　本機の電源を入れた後、ディスクを入れて、再生できるようにしておきます。P24

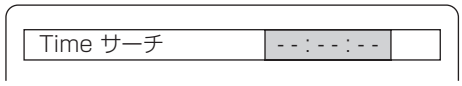
タイムサーチ

時間(時/分/秒)を入力すると、そこから再生することができます。

1 DVDを再生中にシフトボタンを押しながらサーチモードボタンを3度押す、またはCDを再生中にシフトボタンを押しながらサーチモードボタンを1度押す

テレビ画面にタイムサーチの入力画面が表示されます。

例:



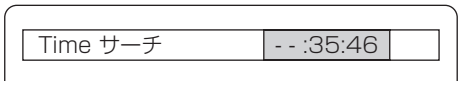
2 数字ボタンで、再生したい時間を入力する

例:1時間4分8秒から始める場合

1→0→4→0→8

例:35分46秒から始める場合

3→5→4→6



3 決定または ► (再生)ボタンを押す

DVD:指定した時間から再生を始めます。

CD:　曲のトラック再生時間内でタイムサーチ時間を入力すれば、指定した時間から再生を始めます。

トラックサーチ

CD

再生したいトラック番号を入力すると、そこから再生することができます。

1 数字ボタンで、希望のトラック番号を入力する

例:トラック番号15を選ぶには

1 → 5

2 決定または ► (再生)ボタンを押す

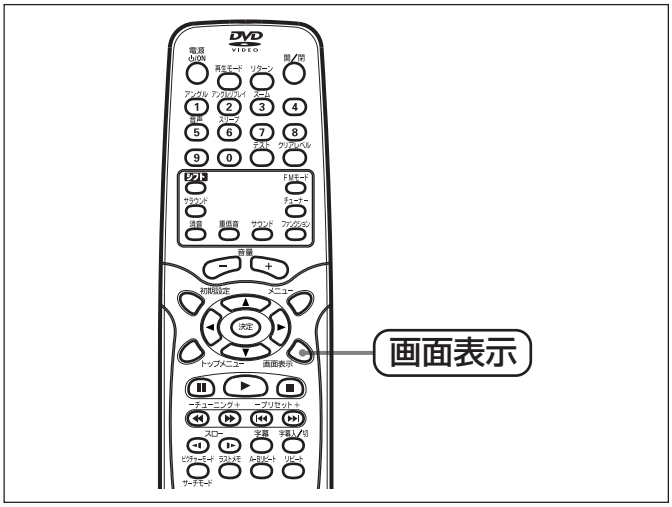
選んだトラックから再生が始まります。

ちょっとこれを!

- 設定途中で訂正するときは**クリア**ボタンを押してから、もう一度**数字**ボタンを押します。
- 設定途中で中止するときは、**シフト**ボタンを押しながら**サーチモード**ボタンを1～3度押して、表示を消します。
- **決定**または ► (再生)ボタンを押したときに誤った番号が入力されていると、タイムサーチ中のときは入力画面に戻り、トラックサーチ中(CD)のときは「⃠」が表示されます。正しい番号を再入力してください。
- ディスクによってはサーチを禁止しているものもあります。
- ディスクによっては**シフト**ボタンを押しながら**サーチモード**ボタンを押す回数が異なるものがあります。この場合は、画面の表示でサーチモードを確認してください。

ディスクの情報を見る

DVD CD

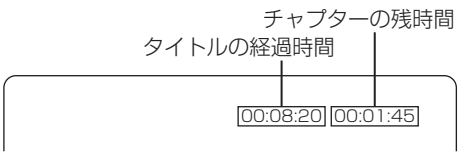


テレビ画面に、経過時間や残り時間、音声、字幕やアングルなどの設定を表示できます。

1 再生中に、画面表示ボタンを押す

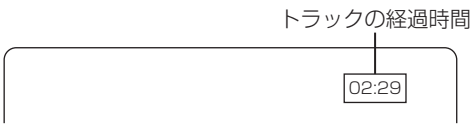
テレビ画面

例：DVD



表示窓には通常チャプター番号とタイトルの経過時間が表示されます。

例：CD

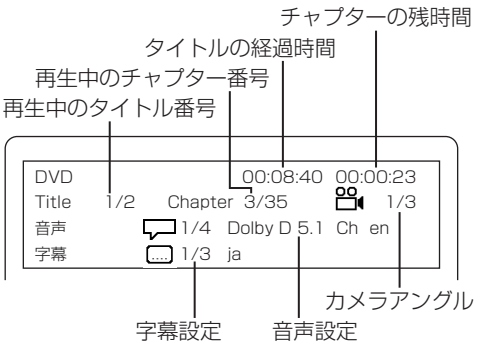


表示窓には通常再生中のトラック番号とトラックの経過時間が表示されます。

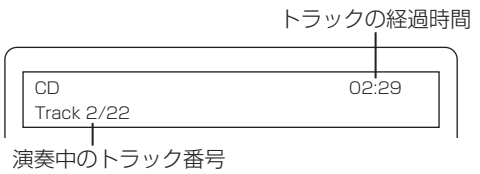
2 再生中に、もう一度画面表示ボタンを押す

テレビ画面

例：DVD



例：CD



画面表示を消すときは、もう一度画面表示ボタンを押す

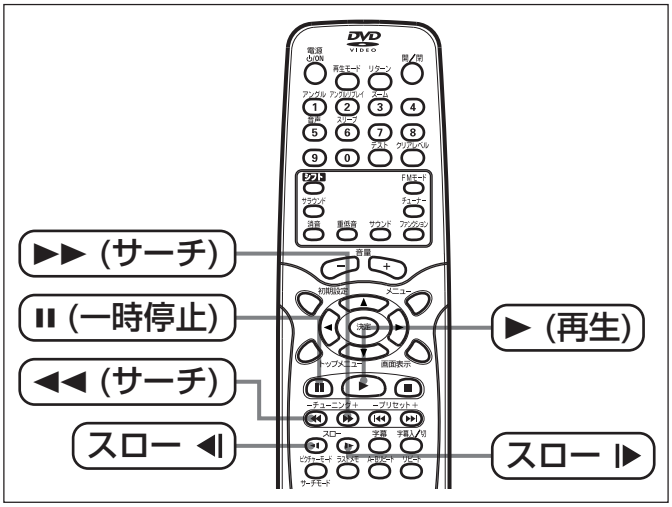
ちょっとこれを！

- 早送り、早戻し再生中やスロー、スロー戻し再生中、静止（一時停止）中にディスク情報を表示させることもできます。
- CDは停止中表示窓に、全トラック数と全演奏時間をCD情報として表示します。

速さを変えて再生する

DVD CD

<各種設定はディスク情報が優先されます>



静止(一時停止)する

再生中に、II (一時停止)ボタンを押す

テレビ画面と表示窓に「II」が表示されます。

DVD:静止
CD:一時停止

通常の再生に戻すときは、▶ (再生)ボタンを押す

- CDの一時停止中は、II (一時停止)ボタンを押して通常の再生に戻すこともできます。

コマ送りする DVD

静止中に、II (一時停止)ボタンを押す

押すたびにテレビ画面に「II▶」が表示され、1コマずつコマ送りします。

通常の再生に戻すときは、▶ (再生)ボタンを押す

早送り、早戻しする

再生または一時停止中に、▶▶ (サーチ)または◀◀ (サーチ)ボタンを押す

押すたびに、早さが切り換わります。
テレビ画面には以下のように表示されます。

早送り: ▶▶ (サーチ)ボタン

DVD
▶▶ 1 → ▶▶ 2 → ▶▶ 3 → ▶▶ 4 → ▶▶ 1 ···
CD
▶▶ 1 → ▶▶ 2 → ▶▶ 1 ···

早戻し: ◀◀ (サーチ)ボタン

DVD
◀◀ 1 → ◀◀ 2 → ◀◀ 3 → ◀◀ 4 → ◀◀ 1 ···
CD
◀◀ 1 → ◀◀ 2 → ◀◀ 1 ···

通常の再生に戻すときは、▶ (再生)ボタンを押す

スローモーションで見る DVD

再生または一時停止中に、スロー I▶ またはスロー ◀I ボタンを押す

押すたびに、早さが切り換わります。
テレビ画面には以下のように表示されます。

スロー再生:スロー I▶ ボタン

I▶ 1 → I▶ 2 → I▶ 3 → I▶ 4 → I▶ 1 ···

スロー戻し再生:スロー ◀I ボタン

◀I 1 → ◀I 2 → ◀I 3 → ◀I 4 → ◀I 1 ···

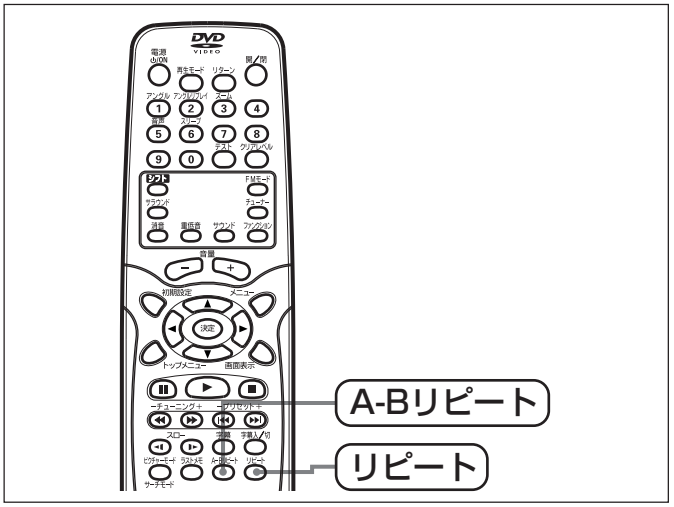
通常の再生に戻すときは、▶ (再生)ボタンを押す

ちょっとこれを!

- 静止(一時停止)やコマ送り・スロー再生・スロー戻し再生中は、音声がでません。
- DVDでは、早送り、早戻し中は音声が出ません。
- ディスクによっては、早送り、早戻しを自動で解除して再生に切り換わるものがあります。
- ディスクによっては、静止(一時停止)やコマ送り・早送り・早戻し・スロー再生・スロー戻し再生を禁止しているものもあります。

繰り返し再生する

DVD CD



繰り返し再生する

ディスク全体または、タイトル・チャプター/トラックを繰り返し再生できます。

再生中にリピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

DVD

→ Chapter(チャプターリピート) →
Off(オフ) ← Title(タイトルリピート) ←

例：

Chapter

現在選択しているリピートモード

テレビ画面	表示窓	動作
Chapter	REP.1	再生中のチャプターを繰り返す
Title	ALL REP.	再生中のタイトルを繰り返す
Off		リピート再生取り消し

CD

→ 1(リピート1) → All(ディスクリピート) →
Off(オフ) ←

例：

1

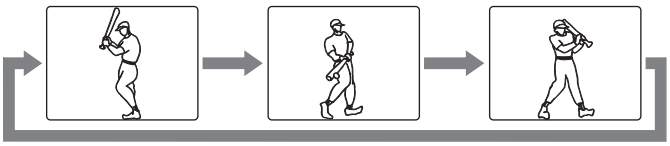
現在選択しているリピートモード

テレビ画面	表示窓	動作
1	REP.1	再生中のトラックを繰り返す
All	ALL REP.	ディスク全体を繰り返す
Off		リピート再生取り消し

通常の再生に戻すには、リピートボタンを押して「Off」を選ぶ

Off

再生したい部分だけを繰り返し再生する



1 再生中に繰り返し再生したい部分の始点(A)で、A-Bリピートボタンを押す

A-

2 繰り返し再生したい部分の終点(B)で、A-Bリピートボタンを押す

B

自動的にA点に戻り、指定した部分(A-B間)の繰り返し再生が始まります。

通常の再生に戻すには、A-Bリピートボタンを押して「Off」を選ぶ

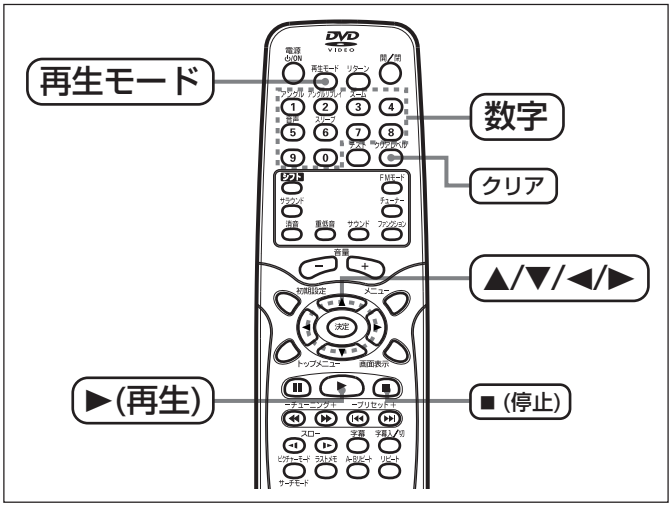
ちょっとこれを！

- 本機の電源を切/入したり、ディスクトレイを開閉すると、リピート再生やA-Bリピート再生は取り消されます。
- DVDによってはリピート再生やA-Bリピート再生ができない場合があります。
- A-Bリピートは1か所のみ設定できます。
- CDをプログラム再生中 P32 に**リピート**ボタンを押して、プログラム再生中の1曲または全曲を繰り返し再生することができます。
- CDをランダム再生中 P34 に**リピート**ボタンを押して、ランダム再生中の1曲または全曲を繰り返し再生することができます。
- DVDによってはChapter(チャプターリピート)またはTitle(タイトルリピート)を選ぶことができない場合があります。
- 繰り返し再生を設定すると表示窓にリピート再生表示「REP.1」や「REP.A-B」、「ALL REP.」が表示されます。

操作中に「⃠」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

再生

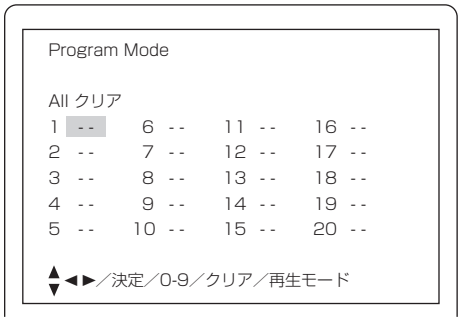
好きな順に再生(プログラム)する CD



トラックを選んで好きな順に再生できます。最大20個まで設定できます。

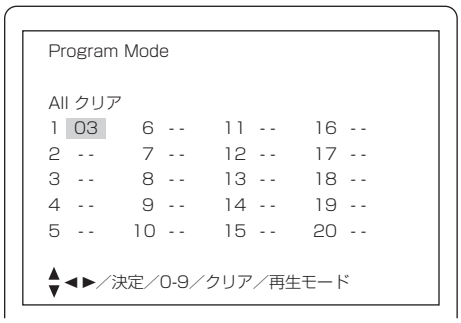
1 停止状態で、再生モードボタンを2度押す

プログラム画面が表示されます。
表示窓に「PGM」が点滅表示されます。



2 数字ボタンで、希望のトラック番号を入力する

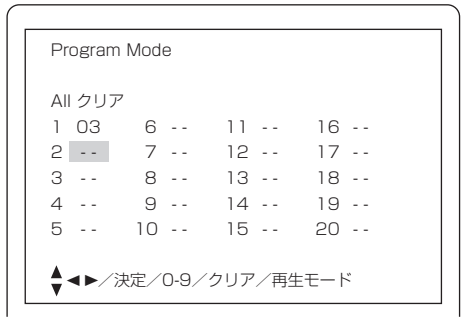
(例)トラック番号21を選ぶには
2 → 1
(例)トラック番号3を選ぶには
3



- 入力の途中で訂正するときは、**クリア**ボタンを押して表示を消した後、もう一度入力し直します。

3▼ ボタンを押す

次のプログラムNo.が選択されます。



4 操作2〜3を繰り返して、再生したい順にプログラムする

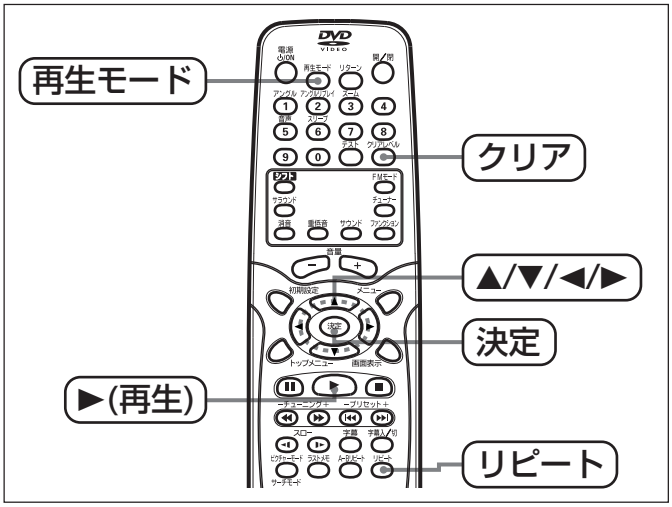
プログラム設定を途中で中止するには、再生モードボタンを1度押す

5 プログラム画面の表示中に、►(再生)ボタンを押す

表示窓の「PGM」が点灯表示され、プログラム順に再生が始まります。

ちょっとこれを!

- 設定したプログラムがすべて再生されると停止します。途中で ■ (停止)ボタンを押して停止することもできます。
- 設定したプログラムは、ディスクトレイを開閉しない限り記録していますので、中断したあともプログラム再生ができます。プログラムを消去するには、次のページをご覧ください。



通常再生とプログラム再生を使い分ける

プログラムした内容を記録させたまま、通常再生とプログラム再生を使い分けることができます。

通常の再生

▶（再生）ボタンを押す

プログラム再生

再生モードボタンを2度押してプログラム画面を表示させた後、▶（再生）ボタンを押す

プログラムを消去する

設定したプログラムをすべて消すには

1. **停止状態で、再生モードボタンを2度押す**
   プログラム画面が表示されます。
2. **▲ ボタンを押して「All クリア」を選ぶ**
3. **決定ボタンを押す**
   すべてのプログラムが消去されます。
4. **再生モードボタンを1度押す**
   プログラム画面が消えます。

プログラムを個別に消すには

1. **停止状態で、再生モードボタンを2度押す**
   プログラム画面が表示されます。
2. **▲/▼/◀/▶ ボタンで消去したいプログラムNo.を選ぶ**
3. **クリアボタンを押す**
   プログラムが1個消去され、次のプログラムが繰り上がります。
4. **操作2〜3を繰り返す**
5. **再生モードボタンを1度押す**

プログラムを変更する

1. **停止状態で、再生モードボタンを2度押す**
   プログラム画面が表示されます。
2. **▲/▼/◀/▶ ボタンで変更したいプログラムNo.を選ぶ**
3. **P32 の操作2〜3をやり直す**

プログラムをリピート再生する

プログラム再生中にリピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

→ Program 1 → Program All → Off →

例：

Program All

現在選択しているリピートモード

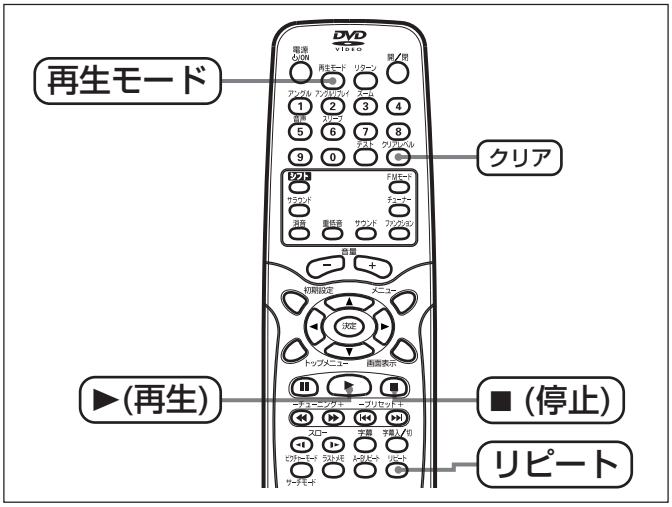
テレビ画面	表示窓	動作
Program 1	REP.1	再生中の1曲を繰り返す
Program All	ALL REP.	プログラム順に全曲繰り返す
Off		リピート再生取り消し

ちょっとこれを！

- プログラム再生中に**クリア**ボタンを押すとプログラム再生が取り消され、通常再生に戻ります。プログラムした内容は消えません。
- ディスクトレイを開閉するとプログラムは取り消されます。

順不同に再生する

CD



順不同に再生する(ランダム再生)

自動的に曲順が選択されて、順不同(ランダム)に再生することができます。

1 停止状態で、再生モードボタンを1度押す

テレビ画面に「Random 再生」と表示され、表示窓に「RND」が点滅表示します。

2► (再生)ボタンを押す

表示窓の「RND」が点灯表示され、順不同に再生が始まります。

ランダム再生を中止するには ■ (停止)ボタンを押す

ちょっとこれを!

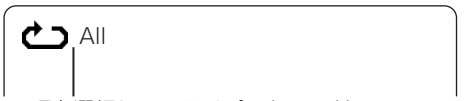
- 順不同にすべての曲が再生されると停止します。途中で ■ (停止)ボタンを押して停止することもできます。
- ランダム再生中に**クリア**ボタンを押すとランダム再生が取り消され、通常再生に戻ります。

順不同にリピート再生する

ランダム再生中にリピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

例:

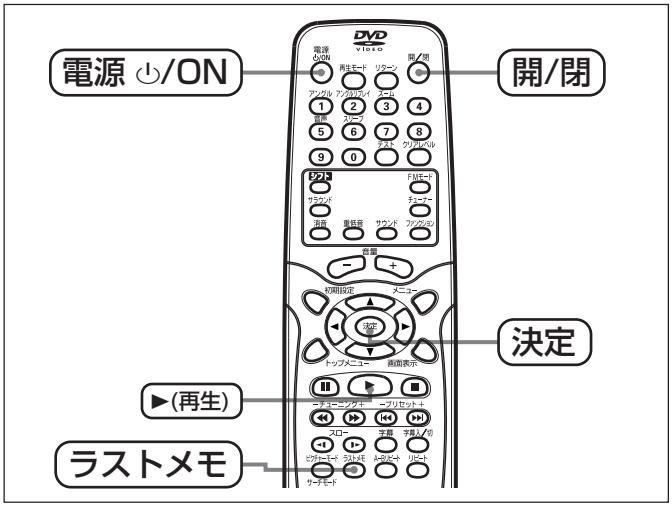


現在選択しているリピートモード

テレビ画面	表示窓	動作
1	REP.1	再生中の1曲を繰り返す
All	ALL REP.	すべての曲を順不同に繰り返す
Off		リピート再生取り消し

前に止めた位置から再生する

DVD



最後に停止した位置を記録させておくと、電源を切ったりディスクトレイを開閉したあとでも、そのディスクを再生するときに同じ位置から再生を始めることができます。(ラストメモ再生)

1 再生中に、ラストメモボタンを押す

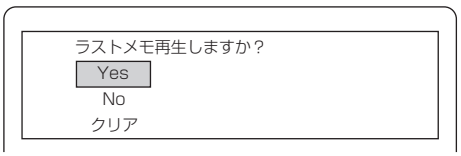
テレビ画面に「ラストメモ ■ 」と表示され、再生が停止します。
表示窓には「L.M.」と「STOP」が点灯表示します。

2 開/閉ボタンを押してディスクを取り出すか、電源 ⏻/ONボタンを押して電源を切る

3 ディスクトレイに最後に停止した位置を記録させたディスクを入れるか、電源 ⏻/ONボタンを押して電源を入れる

ラストメモ再生の選択画面が表示されます。

- ディスクによっては、▶ (再生)ボタンを押してください。



Yes: 前に止めた位置から再生する
No: 最初から再生する
クリア: 停止位置の記録を消去して最初から再生する

4 決定ボタンを押す

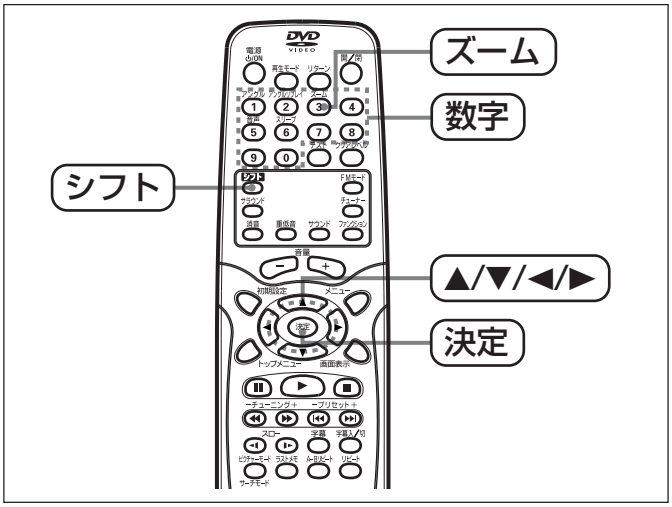
前回の続きから再生が始まります。
ラストメモ再生をすると、その記録は消えます。

ちょっとこれを！

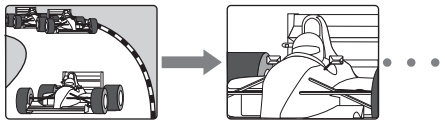
- ラストメモ再生は3枚のディスクまで記録できます。
- ディスクによっては、設定できないものもあります。
- レジューム再生機能と異なり、一度記録するとディスクを取り出しても記録は消去されません。ただし、ラストメモ再生の記録が3枚を越えると、古い順に記録が消去されます。
- ラストメモ再生は音声と字幕の設定も記録されます。ただし、ディスクによっては、記録されないこともあります。

映像を拡大する(ズーム)

DVD

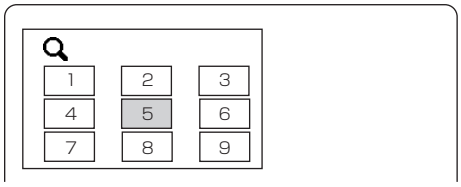


映像を拡大表示することができます。



1 再生または静止中に、シフトボタンを押しながらズームボタンを押す

拡大部分の選択画面が表示されます。



- ズームを取り消すには、もう一度**シフト**ボタンを押しながら**ズーム**ボタンを押します。

2 ▲/▼/◀/► ボタンを押した後、決定ボタンを押すか、数字ボタンを押して拡大部分の中心を選択する

「🔍1」が表示され、選択した部分を中心に映像が拡大されます。

- 拡大表示中に ▲/▼/◀/► ボタンを押して拡大部分を移動させることができます。画面の端までくると移動が止まります。

3 もう一度シフトボタンを押しながらズームボタンを押す

「🔍2」が表示され、表示部分がさらに拡大されます。

- 拡大表示中に ▲/▼/◀/► ボタンを押して拡大部分を移動させることができます。画面の端までくると移動が止まります。

元の映像に戻すには、もう一度シフトボタンを押しながらズームボタンを押す

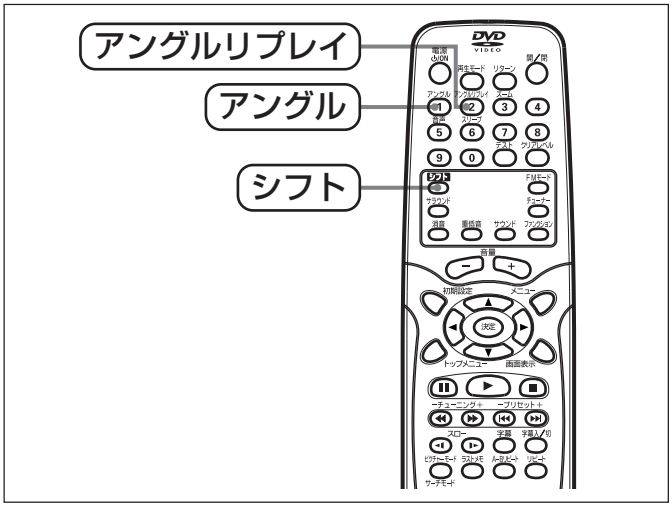
「🔍Off」が表示され、元の大きさに戻ります。

ちょっとこれを！

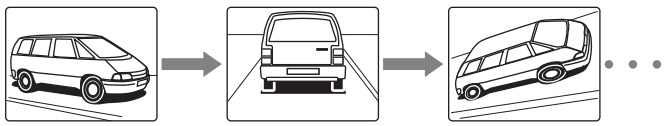
- スローモーションや早送り、早戻しのときも、ズーム機能が使用できます。
- ディスクに記録されている画面によってはズーム機能が働かないものもあります。

映像のアングルを切り換える

DVD



複数のアングルで記録された(マルチアングル)DVDでは、好きなアングルに切り換えることができます。

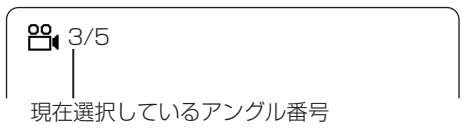


アングルを切り換える

再生中に、シフトボタンを押しながらアングルボタンを押す

押すたびに、アングルが切り換わります。

例:



ちょっとこれを!

- マルチアングルで記録された画像を再生しているときだけ、アングルを切り換えることができます。
- ディスクによってはアングルの切り換えを禁止しているものもあります。

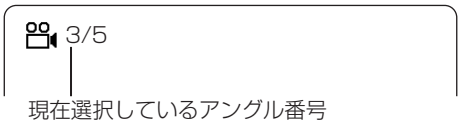
操作中に「⃠」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

別のアングルで繰り返し再生する

マルチアングルで再生中に、シフトボタンを押しながらアングルリプレイボタンを押す

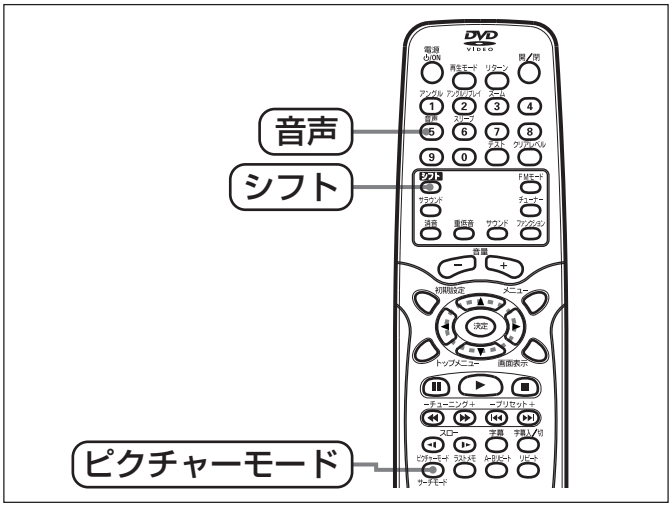
約10秒前の場面に戻って、次のアングルで再生が始まります。押すたびに、アングルが切り換わります。

例:



画質・音声を切り換える

DVD



画質を切り換える

ディスクや接続したテレビに合わせて画質を切り換えることができます。

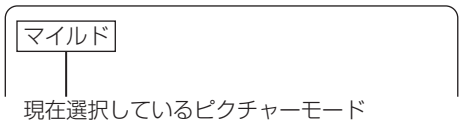
準備　本機の電源を入れ、接続した機器で本機の映像が見えるようにしておきます。P24

ピクチャーモードボタンを押して画質を選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

→ スタンダード → マイルド → 白黒 ┐

例：



スタンダード：標準の画質。
マイルド：　映像の輪郭をソフトにします。ノイズが目立つときに設定します。
白黒：　映像を白黒にします。

DVDの音声言語を切り換える

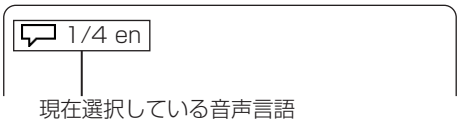
<各種設定はディスク情報が優先されます>

DVDには複数の言語で音声が記録されているものがあり、希望の言語を選んで再生することができます。

再生中に、シフトボタンを押しながら音声ボタンを押す

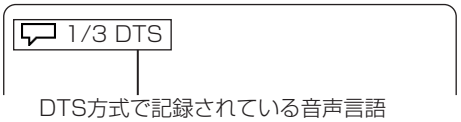
押すたびに、ディスクで選べる言語が切り換わります。

例：



- DTS方式で記録されている音声を選択したいときは、「DTS」を表示させます。

例：



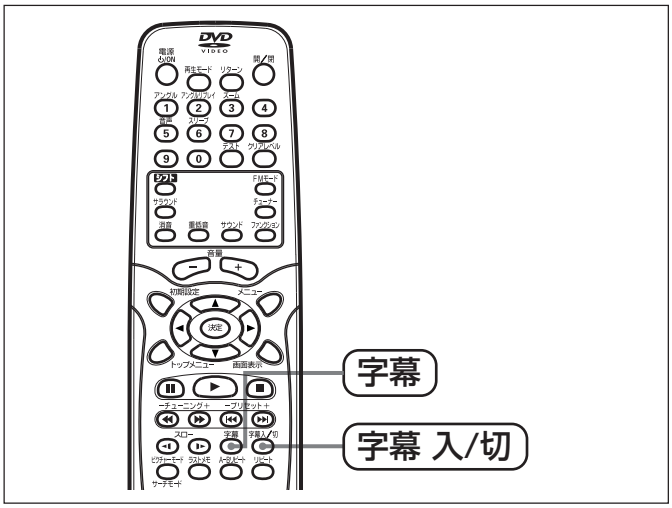
ちょっとこれを！

- 複数の音声言語が記録されていないディスクでは、音声言語を切り換えることはできません。
- ディスクによっては複数の言語が記録されていても、切り換えを禁止しているものもあります。
- 電源を切ったり、ディスクを交換すると、元の音声言語に戻ります。

字幕を切り換える

DVD

＜各種設定はディスク情報が優先されます＞



DVDには字幕が記録されているものがあり、再生中に画面に表示できます。複数の字幕が記録されている場合は、希望の字幕を選ぶことができます。また、字幕表示を入/切することもできます。

字幕表示を入/切する

再生または静止(一時停止)中に、字幕 入/切ボタンを押す

押すたびに、表示が入/切されます。
テレビ画面には以下のように表示されます。

例: → 2/3 ja → Off →

字幕を切り換える

準備　**字幕 入/切**ボタンを押して字幕を表示させてから操作してください。

1 再生または静止(一時停止)中に、字幕ボタンを押す

現在の字幕の内容が表示されます。

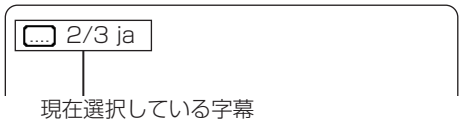
例:

現在選択している字幕

2 字幕ボタンを押して、希望の言語を選ぶ

押すたびに、ディスクで選べる字幕が切り換わります。

例:

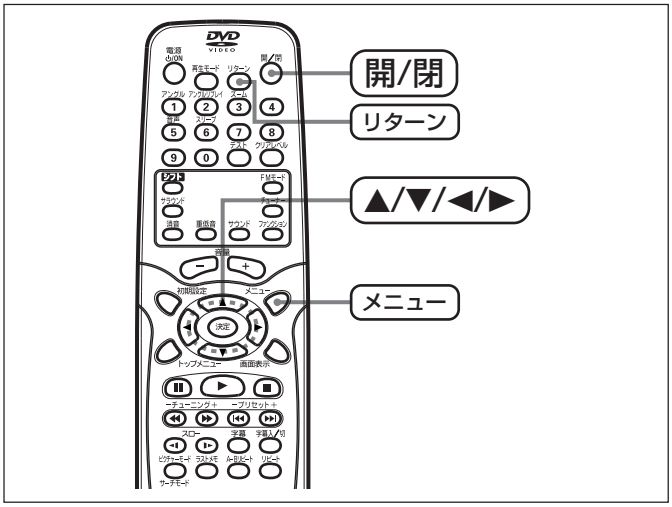


現在選択している字幕

ちょっとこれを!

- ディスクによっては、字幕が記録されていても、字幕表示を禁止している場合があります。
- 字幕が記録されていないディスクでは、字幕を表示することはできません。
- ディスクによっては、複数の字幕が記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- ディスクによっては、字幕を消すことを禁止している場合があります。
- ディスクによっては、DVDメニューから字幕を設定できるものもあります。P26
- 記録されている字幕言語の種類や数はディスクによって異なります。
- 本機の電源を切/入したりディスクトレイを開閉すると、設定した字幕が取り消されて、元の状態に戻ります。

MP3/WMAファイルを再生する



データCD（CD-R、CD-RWなど）に記録されているMP3形式またはWMA形式（Windows Media Audio）の音楽ファイルを再生することができます。

MP3/WMAファイルの再生について

- ISO9660(レベル1、レベル2)フォーマットに準拠したディスクを再生できます。
- オーディオCDトラックとMP3/WMAファイルが混在したCDはオーディオCDトラックのみ再生します。
- ファイル構成にもよりますが、MP3/WMAファイルを読み取るのに1分以上かかることがあります。
- 高品質の音質を得るには44.1kHzのサンプリング周波数、128kbps以上のビットレートでの記録をお勧めします。
- ファイル名、フォルダ名は半角英数字で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は"-"（ハイフン）で表示されます。
- ファイル/フォルダ数は最大256まで対応しています。257以降のファイルは再生できません。
- MP3/WMA CDは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- IDタグVer.1に対応していますが、32文字までの表示となります。表示可能文字は、半角英数字の限定となり、エンコードソフトにより正常に表示しない場合があります。
- MP3作成のエンコードソフトによって、曲の前後や曲にノイズが入ることや再生できないことがあります。なお、エンコードソフトやエンコード操作などのパソコン操作に関しては、対応いたしかねます。
- マルチセッションディスク、パケットライトソフト、Jolie形式、Romeo形式、HFS形式には対応していません。

<MP3>

- MP3形式のファイルで拡張子「.mp3」が付加されているファイルを再生できます。
- MP3形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート
  - 32kHz、44.1kHz、48kHz、32kbps～320kbps（固定または可変のビットレート）

<WMA>

- WMA形式のファイルで拡張子「.wma」が付加されているファイルを再生できます。
- WMA形式ファイルのサンプリング周波数とビットレート
  対応するWMAバージョンは7と8です。
  - 32kHz、48kbps～64kbps
  - 44.1kHz、48kbps～192kbps
  - 48kHz、128kbps～192kbps
- WMA形式のDRMファイルは、再生できません。WMA形式のディスクを作る時には著作権保護機能を外して作成してください。

MP3/WMAファイルを再生する

準備　本機の電源を入れ、接続した機器で本機の映像が見えるようにしておきます。P24

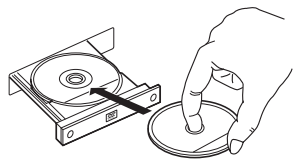
1 開/閉ボタンを押す

ファンクションが「DVD/CD」に切り換わり、ディスクトレイが開きます。また、表示窓に「OPEN」が表示され、テレビ画面に「SANYO」が表示されます。

- 電源が切れているときでも、**開/閉**ボタンを押すと自動的に電源が入り、ファンクションが「DVD/CD」に切り換わり、ディスクトレイが開きます。

2 ディスクをディスクトレイに置く

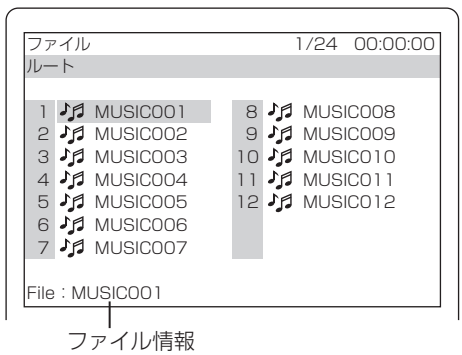
再生面を下にして溝にそって正しく置きます。



3 開/閉ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、表示窓に「FILE」が表示され、テレビ画面に最初のディレクトリの音楽ファイル一覧が表示されます。

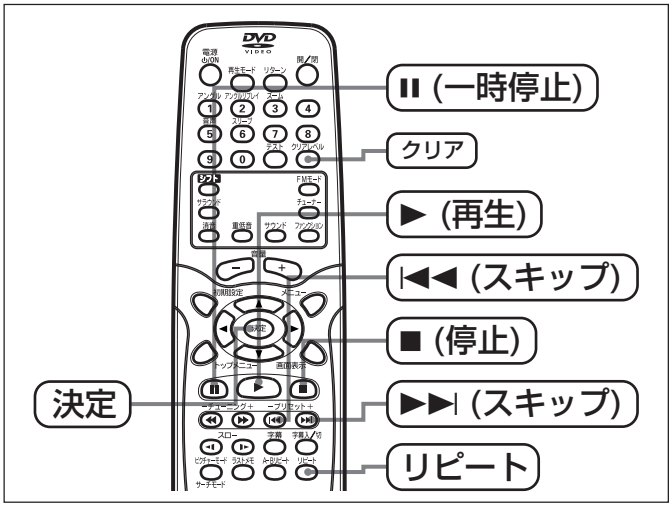
例：



4 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ

- ボタンを押すたびにディレクトリのファイルが順に選択され、次または前のディレクトリのファイルへ移動します。
- **リターン**ボタンを押して前のディレクトリ画面に戻ることができます。
- **メニュー**ボタンを押すと最初のディレクトリのファイル一覧表示に戻ります。

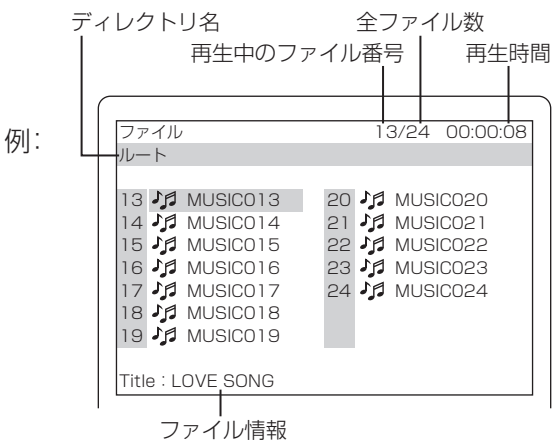
操作中に「⃠」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。



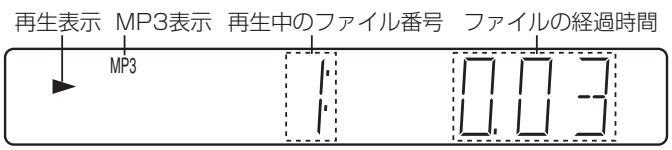
5 決定または ▶ (再生)ボタンを押す

選択したファイルが再生された後、以降の曲が順に再生されます。

- 表示窓に「MP3」または「WMA」が表示されます。
- テレビ画面に「 ▶ 」が表示され、再生中のファイル名の色が変わります。
- 曲情報が登録されているときは、ファイル情報(Artist/Songなど)が順に表示されます。
- 電源が切れているときでも、▶ (再生)ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクが入っていれば最初のディレクトリの最初の音楽ファイルから再生が始まります。



(表示窓の表示例)



操作中に「 ⃠ 」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

再生を途中で止める

■ (停止)ボタンを押す

テレビ画面に「 ■ 」が表示されます。

一時停止する

再生中に、II (一時停止)ボタンを押す

表示窓とテレビ画面に「 II 」が表示されます。

通常の再生に戻すときは ▶ (再生)または II (一時停止)ボタンを押す

曲をとび越す／頭出しする(スキップ)

I◀◀ (スキップ)または ▶▶I (スキップ)ボタンを押す

押すたびに、テレビ画面に「 I◀◀ 」または「 ▶▶I 」が表示されます。

曲の途中で I◀◀ (スキップ)を押すとその曲の頭に戻ります。

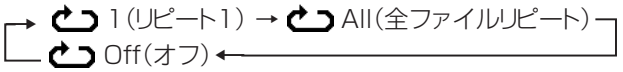
ちょっとこれを!

- 曲を早戻し、または早送り(サーチ)することはできません。

繰り返し再生する

再生中にリピートボタンを押して、リピートモードを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。



テレビ画面	表示窓	動作
1	REP.1	再生中の曲を繰り返す
All	ALL REP.	全ファイルを繰り返す
Off		リピート再生取り消し

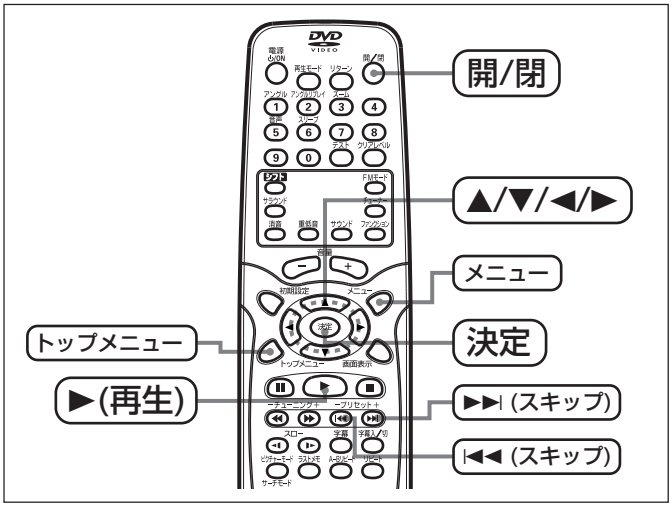
通常の再生に戻すには、リピートボタンを押して「Off」を選ぶ

ちょっとこれを!

- 本機の電源を切/入したり、ディスクトレイを開閉すると、リピート再生は取り消されます。
- リピート再生中に**クリア**ボタンを押すとリピート再生が取り消され、通常再生に戻ります。

JPEGファイルを再生する

DATA



フジカラーCDやデータCD（CD-R、CD-RWなど）に記録されているJPEG形式の画像ファイルを再生することができます。

JPEGファイルの再生について

- ISO9660(レベル1、レベル2)フォーマットに準拠したディスクを再生できます。
- JPEG形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。
- オーディオCDトラックとJPEGファイルが混在したCDはオーディオCDトラックのみ再生します。
- ファイル構成にもよりますが、JPEGファイルを読み取るのに30秒以上かかることがあります。
- ファイル名、フォルダ名は半角英数字で入力されている場合のみ表示されます。それ以外の文字は "-"（ハイフン）で表示されます。
- ファイル/フォルダ数は最大256まで対応しています。257以降のファイルは再生できません。
- ファイルサイズが大きい場合は、テレビ画面に表示されるのに時間がかかることがあります。
- 画像サイズは5760X3840まで表示可能です。
- JPEG CDは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状態により再生できないこともあります。

フジカラーCDを再生する

準備　本機の電源を入れ、接続した機器で本機の映像が見えるようにしておきます。P24

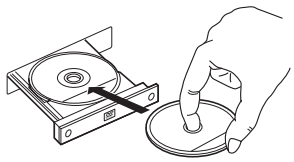
1 開/閉ボタンを押す

ファンクションが「DVD/CD」に切り換わり、ディスクトレイが開きます。また、表示窓に「OPEN」が表示され、テレビ画面に「SANYO」が表示されます。

- 電源が切れているときでも、**開/閉**ボタンを押すと自動的に電源が入り、ファンクションが「DVD/CD」に切り換わり、ディスクトレイが開きます。

2 ディスクをディスクトレイに置く

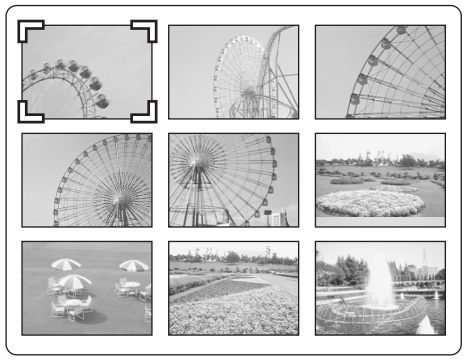
再生面を下にして溝にそって正しく置きます。



3 開/閉ボタンを押す

ディスクトレイが閉まり、表示窓に「PHOTO」が表示され、テレビ画面に「Fujicolor CD」が表示した後、最初の9枚分の画像一覧画面が表示されます。

例：



4 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、見たい画像を選ぶ

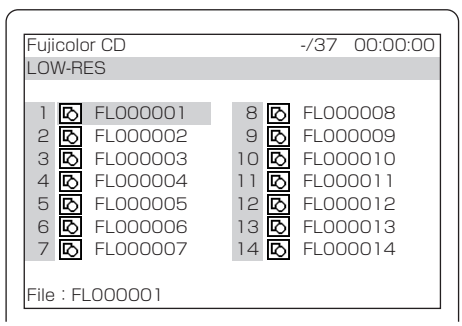
- |◀◀（スキップ）または ▶▶|（スキップ）ボタンを押すと、画像が9枚ずつ切り替わります。

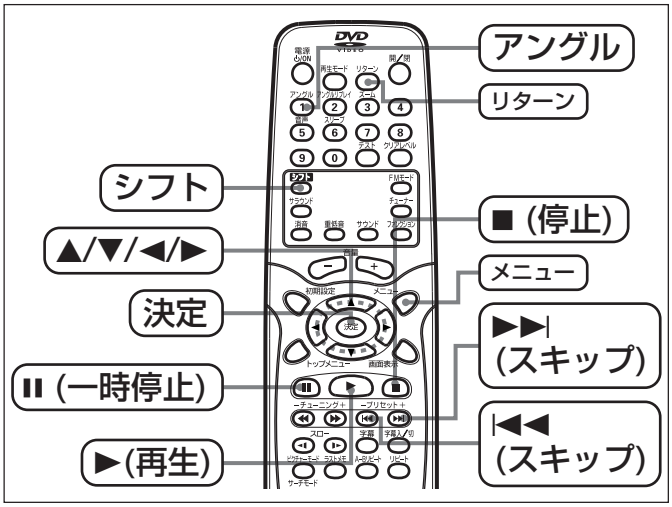
5 決定または ▶（再生）ボタンを押す

選択した画像と以降の画像が順にスライドショー再生します。

- 電源が切れているときでも、▶（再生）ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクが入っていれば最初の9枚分の画像一覧画面が表示されます。
- スライドショー再生中またはファイル一覧表示中に**トップメニュー**ボタンを押すと、画像一覧画面が表示されます。
- スライドショー再生中または画像一覧表示中に**メニュー**ボタンを押すと、ファイル一覧画面が表示されます。

例：





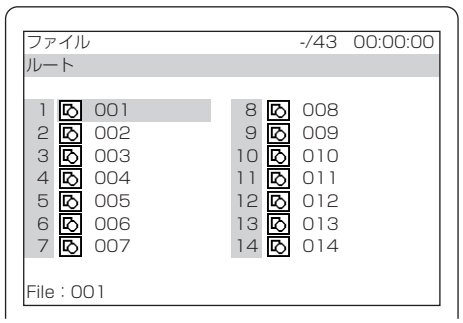
データCD(JPEG)を再生する

準備　本機の電源を入れ、接続した機器で本機の映像が見えるようにしておきます。P24

1 P40 1〜3の操作をする

ディスクトレイが閉まり、表示窓に「FILE」が表示され、テレビ画面に最初のディレクトリの画像ファイル一覧が表示されます。

例:



2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、見たい画像を選ぶ

- ボタンを押すたびにディレクトリのファイルが順に選択され、次または前のディレクトリのファイルへ移動します。
- **リターン**ボタンを押して前のディレクトリ画面に戻ることができます。
- **メニュー**ボタンを押すと最初のディレクトリのファイル一覧表示に戻ります。

3 決定または ▶ (再生)ボタンを押す

表示窓に「PHOTO」が表示され、選択した画像と以降の画像が順にスライドショー再生します。

- 電源が切れているときでも、▶ (再生)ボタンを押すと自動的に電源が入り、ディスクが入っていれば最初のディレクトリの最初の画像から順にスライドショー再生が始まります。

再生を途中で止める

■ (停止)ボタンを押す

一時停止する

スライドショー再生中に、II (一時停止)ボタンを押す

表示窓とテレビ画面に「II」が表示されます。

通常のスライドショー再生に戻すときは ▶ (再生)または II (一時停止)ボタンを押す

画像を切り換える

スライドショー再生または一時停止中に、|◀◀ (スキップ)または ▶▶| (スキップ)ボタンを押す

押すたびに、次または前の画像が表示されます。

画像を回転させる

1 スライドショー再生中に、II (一時停止)ボタンを押す

- 一時停止していなくても画像を回転することはできますが、一定時間後に画像が切り替わります。

2 シフトボタンを押しながらアングルボタンを押す

押すたびに、画像が時計回りに90°回転します。
テレビ画面には以下のように表示されます。

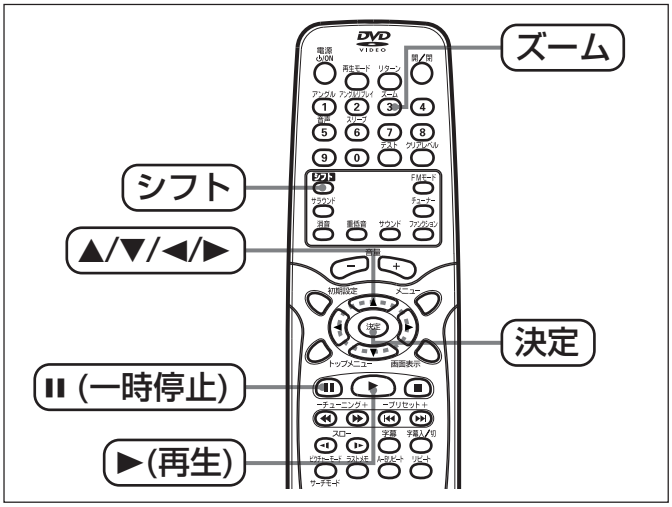
↱ ↴90° → ↷180° → ↶270° → 通常 ┐

通常のスライドショー再生に戻るには ▶ (再生)または II (一時停止)ボタンを押す

操作中に「⃠」が画面に表示されたときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。

JPEGファイルを再生する

DATA



画像を拡大する

1 スライドショー再生中に、II (一時停止)ボタンを押す

- 一時停止していなくても画像を拡大することはできますが、一定時間後に画像が切り替わります。

2 シフトボタンを押しながらズームボタンを押す

拡大部分の選択画面が表示されます。

3 P36 2〜3の操作をする

元の画像に戻すには、もう一度シフトボタンを押しながらズームボタンを押す

「Off」が表示され、元の大きさに戻ります。

通常のスライドショー再生に戻るには ► (再生)または II (一時停止)ボタンを押す

MP3、WMAとJPEGファイルが記録されたディスクを再生する

1枚のディスクにMP3形式やWMA形式の音楽ファイルとJPEG形式の画像ファイルが記録されている場合は以下のように操作します。

1 P40 1〜3の操作をする

ファイルの一覧画面が表示されます。

2 ▲/▼/◀/► ボタンを押して、再生したいファイル(MP3/WMA/JPEG)を選ぶ

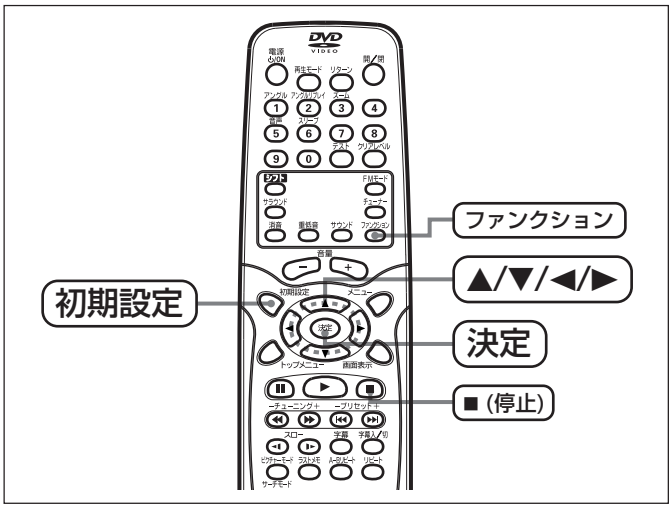
3 決定または ► (再生)ボタンを押す

MP3形式やWMA形式のファイルを選択した場合は、JPEG形式のファイルが自動的にスキップされて再生されます。
JPEG形式のファイルを選択した場合は、MP3形式とWMA形式のファイルが自動的にスキップされて再生されます。

言語設定を変更する

DVD つづく

＜各種設定はディスク情報が優先されます＞

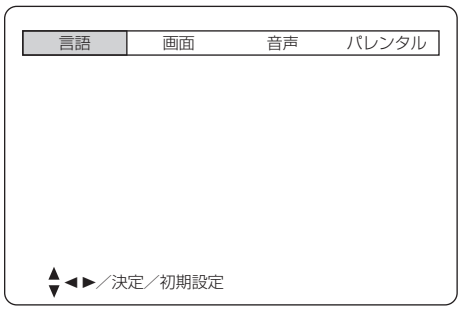


画面表示や再生される音声、表示される字幕、DVDメニューの言語を設定します。

準備　**ファンクション**ボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。再生しているときは、■（停止）ボタンを2度押して完全に停止させてから操作してください。

1 停止中に、初期設定ボタンを押す

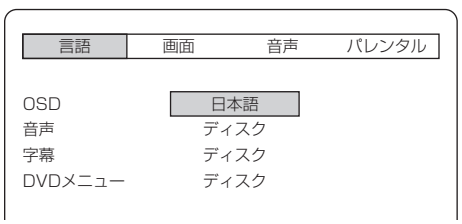
初期設定画面が表示されます。



2 ◀/▶ ボタンを押して、「言語」を選ぶ

3 決定ボタンを押す

言語設定のサブメニューが表示されます。

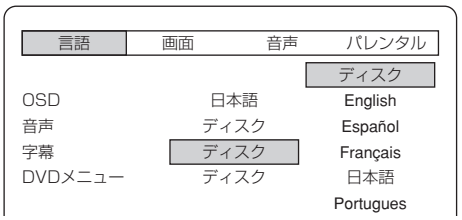


4 ▲/▼ ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ

OSD・音声・字幕・DVDメニューから選びます。

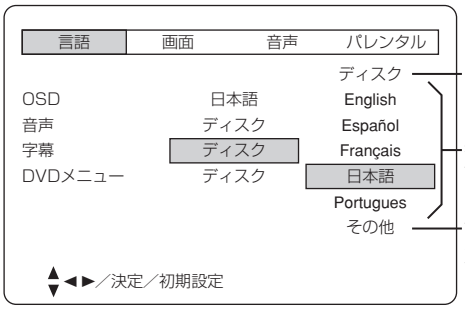
5 決定ボタンを押す

言語の一覧メニューが表示されます。[例：字幕]



6 ▲/▼ ボタンを押して、設定したい言語を選ぶ

選んだ言語が選ばれます。[例：日本語]



ディスクで優先されている言語に切り換えます。

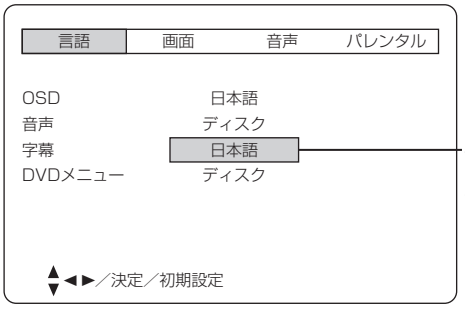
表示されている言語に切り換えます。

言語コードを入力して言語を切り換えます

P42

7 決定ボタンを押す

言語が設定されます。



字幕言語に日本語を設定した場合

8 初期設定ボタンを押す

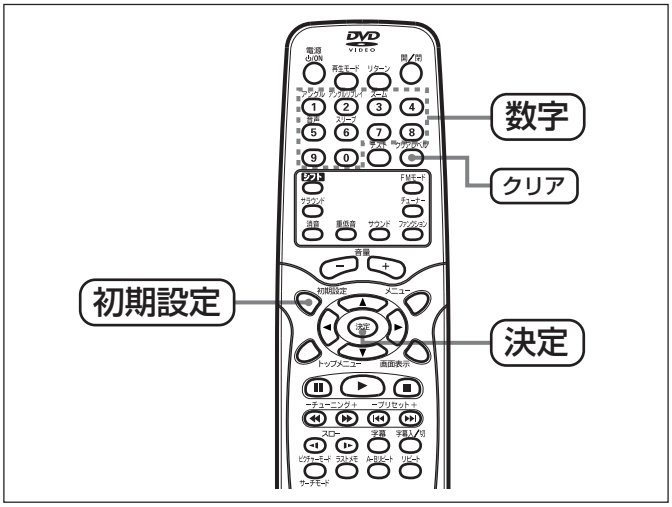
初期設定画面が消えます。

ちょっとこれを！

- 設定した言語がディスクにないときは、記録されている言語のいずれかが選ばれます。
- OSDの言語選択表示に「ディスク」と「その他」は表示されません。
- OSDとはOn Screen Displayの略語で、本機の各種設定画面やメッセージなどの表示のことです。

言語設定を変更する

DVD



その他の言語を設定する

メニューに表示されないその他の言語を設定するときは、4桁の言語コードを入力します。

1 P45 操作6で「その他」を選ぶ

言語	画面	音声	パレンタル
			ディスク
OSD		日本語	English
音声		ディスク	Español
字幕		ディスク	Français
DVDメニュー		ディスク	日本語
			Portugues
			その他

▲▼◀▶／決定／初期設定

2 決定ボタンを押す

言語コード入力画面が表示されます。

言語	画面	音声	パレンタル
			ディスク
OSD		日本語	English
音声		ディスク	Español
字幕		ディスク	Français
DVDメニュー		ディスク	日本語
			Portugues
		-----	その他

▲▼◀▶／決定／初期設定／0-9／クリア

3 数字ボタンを押して言語コードを入力する

入力するコードは、言語コード一覧表をご覧ください。P47
入力を訂正するときは、**クリア**ボタンを押して、再入力してください。

言語	画面	音声	パレンタル
			ディスク
OSD		日本語	English
音声		ディスク	Español
字幕		ディスク	Français
DVDメニュー		ディスク	日本語
			Portugues
		8084	その他

▲▼◀▶／決定／初期設定／0-9／クリア

4 決定ボタンを押す

入力した言語が設定されます。

言語	画面	音声	パレンタル
OSD		日本語	
音声		ディスク	
字幕		pt	
DVDメニュー		ディスク	

言語コード8084を設定した場合

▲▼◀▶／決定／初期設定／0-9／クリア

5 初期設定ボタンを押す

初期設定画面が消えます。

言語コード一覧表

コード	言　語
6565	Afar
6566	Abkhazian
6570	Afrikaans
6577	Amharic
6582	Arabic
6583	Assamese
6589	Aymara
6590	Azerbaijani
6665	Bashkir
6669	Byelorussian
6671	Bulgarian
6672	Bihari
6673	Bislama
6678	Bengali; Bangla
6679	Tibetan
6682	Breton
6765	Catalan
6779	Corsican
6783	Czech
6789	Welsh
6865	Danish
6869	German
6890	Bhutani
6976	Greek
6978	English
6979	Esperanto
6983	Spanish
6984	Estonian
6985	Basque
7065	Persian
7073	Finnish
7074	Fiji
7079	Faroese
7082	French

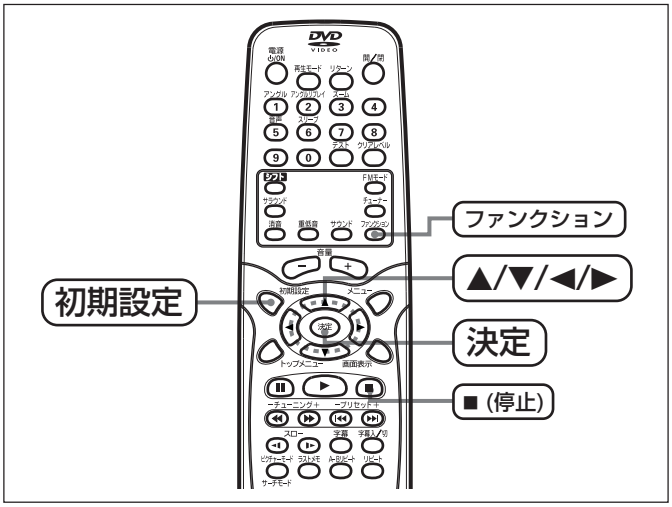
コード	言　語
7089	Frisian
7165	Irish
7168	Scots Gaelic
7176	Galician
7178	Guarani
7185	Gujarati
7265	Hausa
7273	Hindi
7282	Croatian
7285	Hungarian
7289	Armenian
7365	Interlingua
7369	Interlingue
7375	Inupiak
7378	Indonesian
7383	Icelandic
7384	Italian
7387	Hebrew
7465	Japanese
7473	Yiddish
7487	Javanese
7565	Georgian
7575	Kazakh
7576	Greenlandic
7577	Cambodian
7578	Kannada
7579	Korean
7583	Kashmiri
7585	Kurdish
7589	Kirghiz
7665	Latin
7678	Lingala
7679	Laothian
7684	Lithuanian

コード	言　語
7686	Latvian, Lettish
7771	Malagasy
7773	Maori
7775	Macedonian
7776	Malayalam
7778	Mongolian
7779	Moldavian
7782	Marathi
7783	Malay
7784	Maltese
7789	Burmese
7865	Nauru
7869	Nepali
7876	Dutch
7879	Norwegian
7967	Occitan
7977	(Afan) Oromo
7982	Oriya
8065	Punjabi
8076	Polish
8083	Pashto, Pushto
8084	Portuguese
8185	Quechua
8277	Rhaeto-Romance
8278	Kirundi
8279	Romanian
8285	Russian
8287	Kinyarwanda
8365	Sanskrit
8368	Sindhi
8371	Sangro
8372	Serbo-Croatian
8373	Singhalese
8375	Slovak

コード	言　語
8376	Slovenian
8377	Samoan
8378	Shona
8379	Somali
8381	Albanian
8382	Serbian
8383	Siswati
8384	Sesotho
8385	Sundanese
8386	Swedish
8387	Swahili
8465	Tamil
8469	Telugu
8471	Tajik
8472	Thai
8473	Tigrinya
8475	Turkmen
8476	Tagalog
8478	Setswana
8479	Tonga
8482	Turkish
8483	Tsonga
8484	Tatar
8487	Twi
8575	Ukrainian
8582	Urdu
8590	Uzbek
8673	Vietnamese
8679	Volapük
8779	Wolof
8872	Xhosa
8979	Yoruba
9072	Chinese
9085	Zulu

画面設定を変更する

DVD



接続するテレビの画面形状を設定する

本機に接続するテレビに合わせて、出力する画面の形状を設定します。

通常のテレビ（4:3）に接続する場合

● **4:3LB（レターボックス）**

ワイド画像を横長に映すモードです。ワイド画像（16:9）のディスクを再生したとき、画面の上下に黒い帯が映ります。4:3画像のディスクを再生したときはそのまま4:3で映ります。

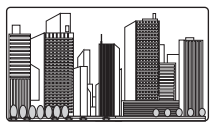
● **4:3PS（パンスキャン）**

通常のテレビ（4:3）に、ワイド画像の一部をカットして画面全体に映すモードです。4:3画像のディスクを再生したときはそのまま4:3で映ります。

ワイドテレビ（16:9）に接続する場合

● **16:9**

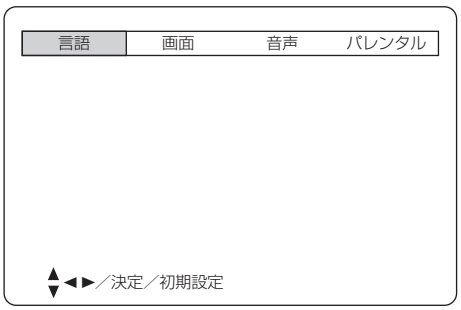
ワイドテレビ（16:9）または、画像を垂直方向に圧縮してワイド画像を映すことができる通常のテレビ（4:3）に映すモードです。



準備　**ファンクション**ボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。再生しているときは、■（停止）ボタンを2度押して完全に停止させてから操作してください。

1 停止中に、初期設定ボタンを押す

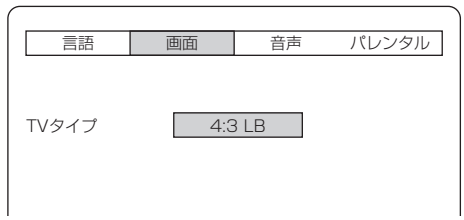
初期設定画面が表示されます。



2 ◀/▶ ボタンを押して、「画面」を選ぶ

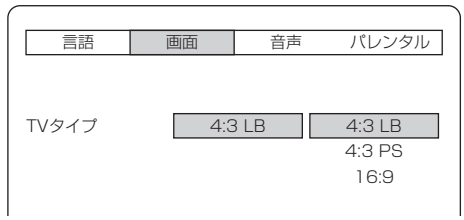
3 決定ボタンを押す

画面設定のサブメニューが表示されます。



4 決定ボタンを押す

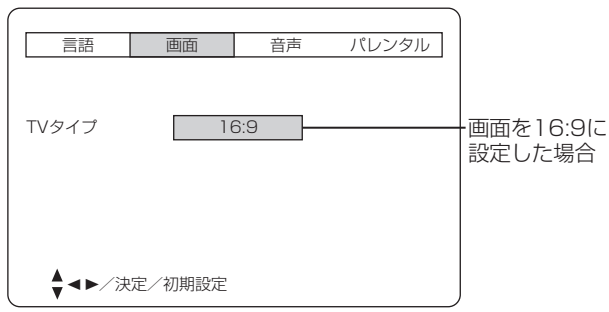
TVタイプの選択メニューが表示されます。



5 ▲/▼ ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ

4:3LB、4:3PS、16:9から選びます。

6 決定ボタンを押す



7 初期設定ボタンを押す

初期設定画面が消えます。

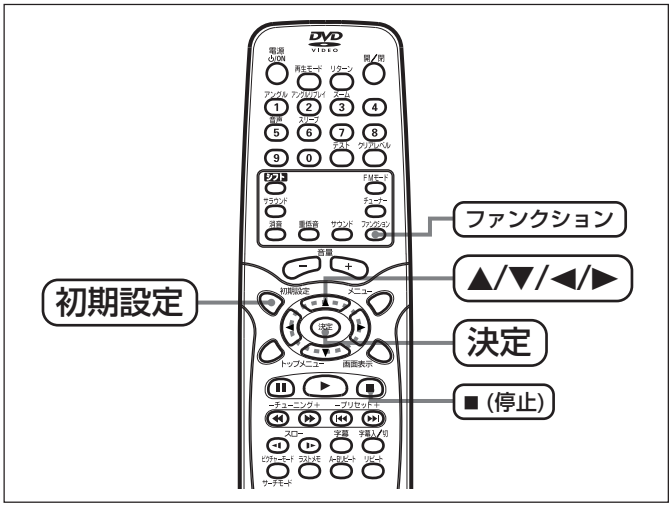
ちょっとこれを！

● ディスクによっては、本機で出力設定しても、ディスクが指定しているモードで再生される場合があります。

● テレビに映し出される映像は、ソフトの種類や接続するテレビによって異なります。

音声設定を変更する

DVD つづく



オーディオDRCを設定する

オーディオDRC（ダイナミックレンジコントロール）とはダイナミックレンジ（小さな音から大きな音まで忠実に再生できる性能値）を圧縮する機能で、音量を下げて映画を見ているときにオーディオDRCを「On」に設定すると小さな音や声も聞こえやすくなり、夜間でも映画をより楽しむことができるようになります。

準備　**ファンクション**ボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。再生しているときは、■（停止）ボタンを2度押して完全に停止させてから操作してください。

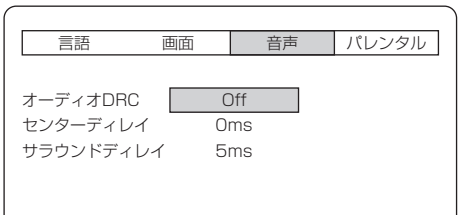
1 停止中に、初期設定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、「音声」を選ぶ

3 決定ボタンを押す

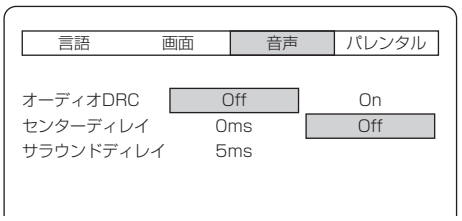
音声設定のサブメニューが表示されます。



4 ▲/▼ ボタンを押して、「オーディオDRC」を選ぶ

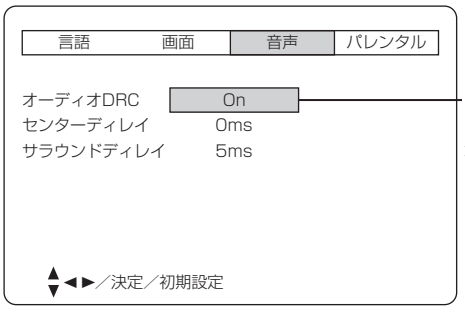
5 決定ボタンを押す

オーディオDRCの選択メニューが表示されます。



6 ▲/▼ ボタンを押して、「On」または「Off」を選ぶ

7 決定ボタンを押す



オーディオDRCをOnに設定した場合

8 初期設定ボタンを押す

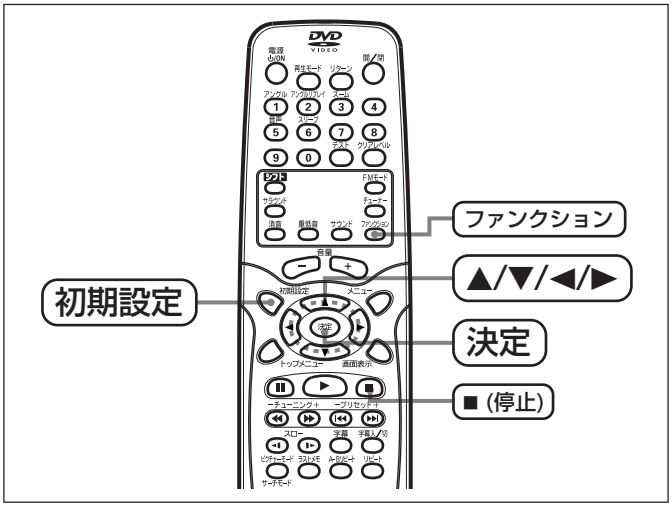
初期設定画面が消えます。

ちょっとこれを！

- オーディオDRC機能は、ドルビーデジタル信号を再生しているときにだけ効果があります。
- 迫力のある音で映画を楽しむには、オーディオDRC機能を「Off」に設定してください。小さな音から大きな音までより忠実に再現されます。

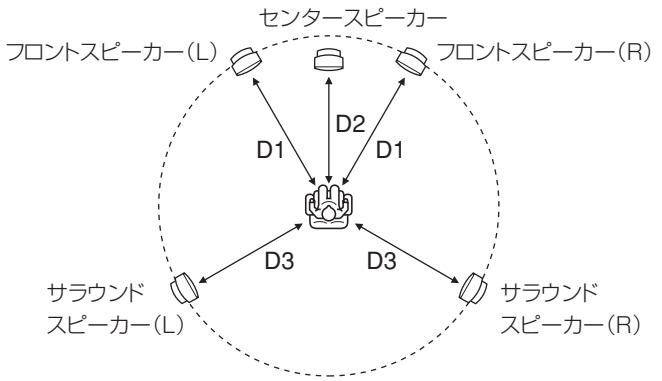
音声設定を変更する

DVD



ディレイタイムを設定する

スピーカーを置く位置によって各スピーカーから聞こえて来る音のタイミングが異なります。ディレイタイムを設定することで、このタイミングのズレを補正し、各スピーカーから同時に音が聞こえるようにすることができます。
フロントスピーカーまでの距離を基準にして、センタースピーカーとサラウンドスピーカーとの距離差をもとに聞こえてくる音の遅延時間差（ディレイタイム）を調整します。

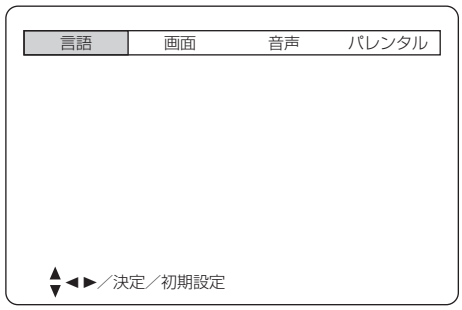


D1: フロントスピーカーからの距離
D2: センタースピーカーからの距離
D3: サラウンドスピーカーからの距離

準備　**ファンクション**ボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。再生しているときは、■（停止）ボタンを2度押して完全に停止させてから操作してください。

1 停止中に初期設定ボタンを押す

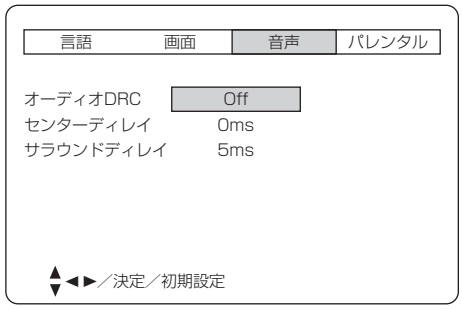
初期設定画面が表示されます。



2 ◀/▶ ボタンを押して、「音声」を選ぶ

3 決定ボタンを押す

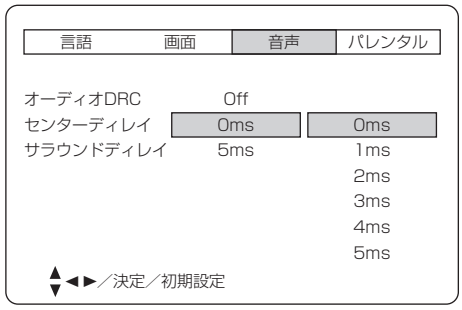
音声設定のサブメニューが表示されます。

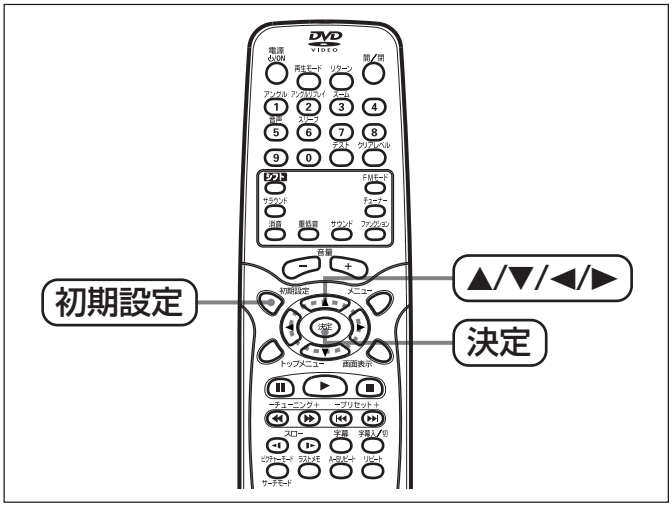


4 ▲/▼ ボタンを押して、「センターディレイ」を選ぶ

5 決定ボタンを押す

センタースピーカーのディレイタイム選択メニューが表示されます。

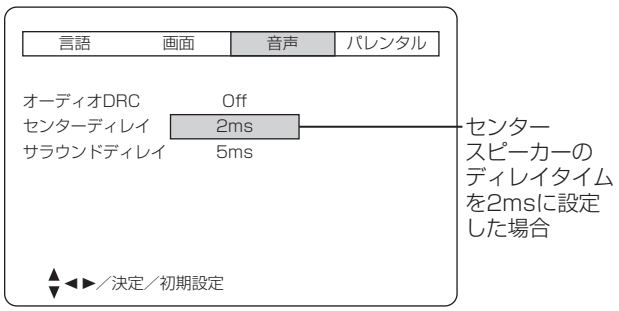




6 ▲/▼ ボタンを押して、設定したいディレイタイムを選ぶ

D1とD2の距離差		ディレイタイム
D1 ≦ D2の場合		0ms
D1 ＞ D2の場合	約30cmのとき	1ms
	約60cmのとき	2ms
	約90cmのとき	3ms
	約120cmのとき	4ms
	約150cmのとき	5ms

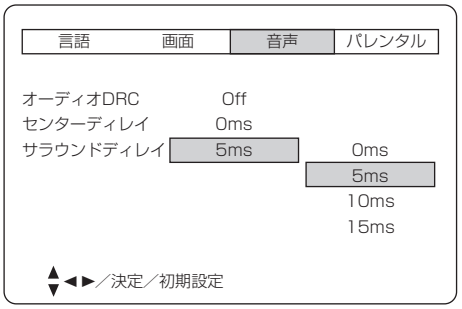
7 決定ボタンを押す



8 ▲/▼ ボタンを押して、「サラウンドディレイ」を選ぶ

9 決定ボタンを押す

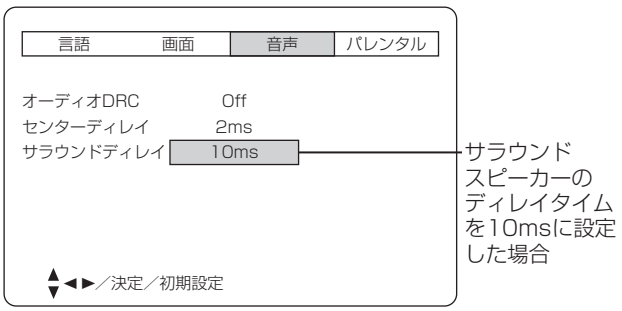
サラウンドスピーカーのディレイタイム選択メニューが表示されます。



10 ▲/▼ ボタンを押して、設定したいディレイタイムを選ぶ

D1とD3の距離差		ディレイタイム
D1 ≦ D3の場合		0ms
D1 ＞ D3の場合	約150cmのとき	5ms
	約300cmのとき	10ms
	約450cmのとき	15ms

11 決定ボタンを押す

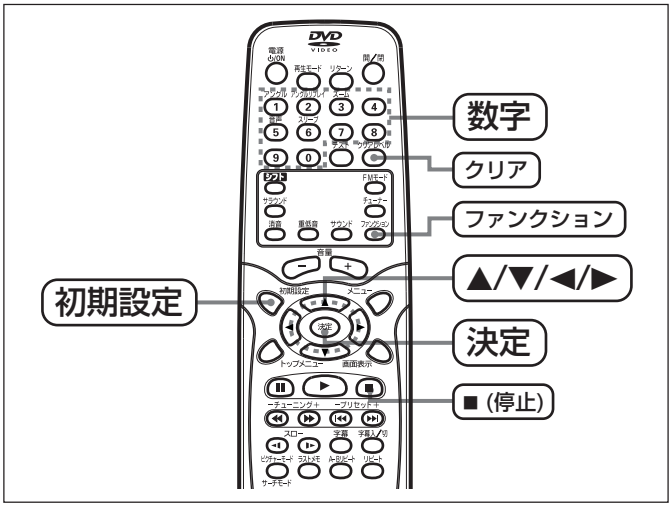


12 初期設定ボタンを押す

初期設定画面が消えます。

視聴年齢制限を変更する

DVD



暴力場面などを含むDVDディスクには、見る人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。
本機では、どのレベルまで再生できるかを設定できます。
適切な制限レベルは実際にお客さまご自身で動作させてご確認ください。

視聴年齢制限を設定する

準備　**ファンクション**ボタンを押して、ファンクションを「DVD/CD」に切り換えます。再生しているときは、■（停止）ボタンを2度押して完全に停止させてから操作してください。

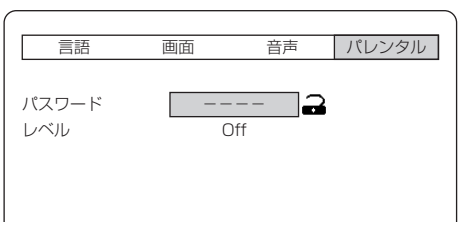
1 停止中に、初期設定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 ◀/▶ ボタンを押して、「パレンタル」を選ぶ

3 決定ボタンを押す

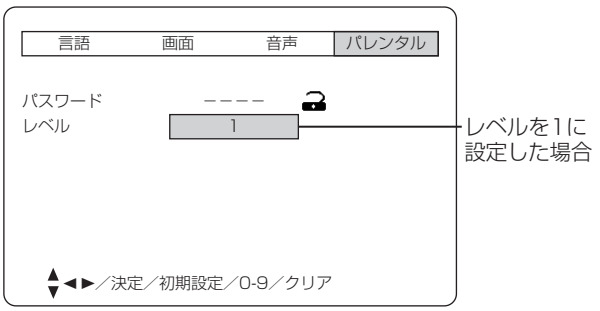
パレンタル設定のサブメニューが表示されます。



4 ▲/▼ ボタンを押して、「レベル」を選ぶ

5 決定ボタンを押して設定したいレベルを選ぶ

押すたびに、レベルが変わります。
テレビ画面には以下のように表示されます。
Off → 1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 → 8 → Off ･･･



ちょっとこれを！

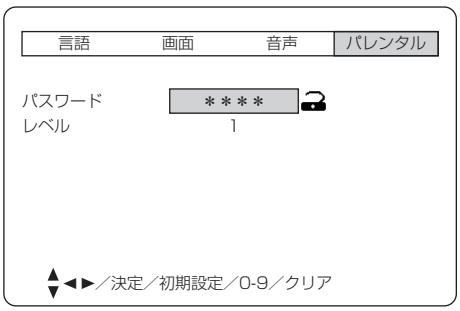
- 「レベル1」～「レベル8」の中から選びます。
- 「レベル Off」は視聴制限を全くしない設定です。
- 設定した視聴制限レベルを超えたDVDディスクを再生すると、メッセージがテレビ画面に表示されます。そのときは画面の指示に従ってください。
- レベル数値が小さいほど制限が厳しくなります。

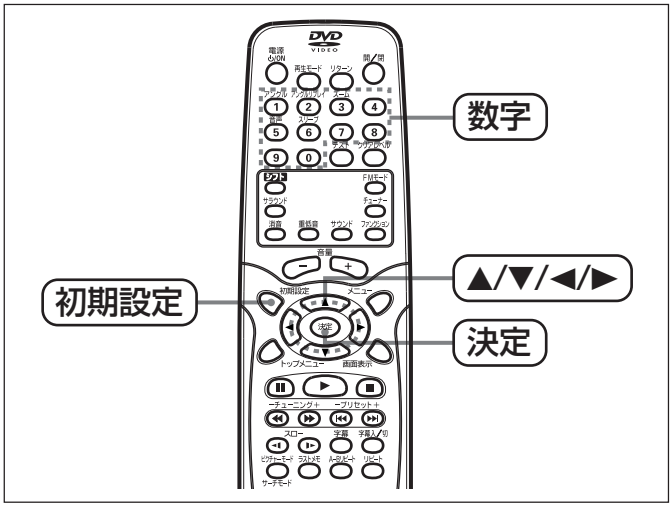
6 ▲/▼ ボタンを押して、「パスワード」を選ぶ

暗証番号入力画面が選ばれます。

7 数字ボタンを押して4桁の暗証番号を入力する

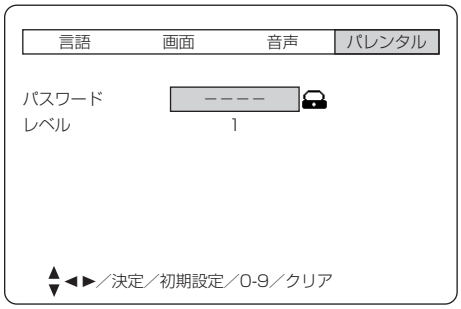
入力した数字の代わりに「＊＊＊＊」と表示されます。
入力を誤ったときは、**クリア**ボタンを押して、再入力してください。





8 決定ボタンを押す

パスワードが設定され、視聴年齢制限が設定されます。



9 初期設定ボタンを押す

初期設定画面が消えます。

ちょっとこれを！

- 視聴年齢制限を設定していないディスクは、本機で制限を設定しても再生を制限できません。
- ディスクによっては、制限された場面がカットされたり、別の場面に差し替えられたりする場合があります。

視聴年齢制限のレベルを変更する

1. P52 1～3の操作をする
2. 数字ボタンを押して、4桁の暗証番号を入力する
3. 決定ボタンを押す
   ロックが解除されて、レベルが変更できるようになります。
4. P52～53 4～9の操作をする

制限のあるディスクを再生したとき

「再生できません」と表示されて再生が停止したときは、「視聴年齢制限のレベルを変更する」 P53 の操作をおこなって制限レベルの変更をしないと再生できません。
また、一時的に制限レベルを変えるように要求する画面が表示されたときは以下のように操作してください。

1. ◀/▶ボタンを押して「Yes」を選ぶ
2. 決定ボタンを押す
   暗証番号入力の画面が表示されます。
3. 数字ボタンを押して暗証番号を入力する
4. 決定ボタンを押す

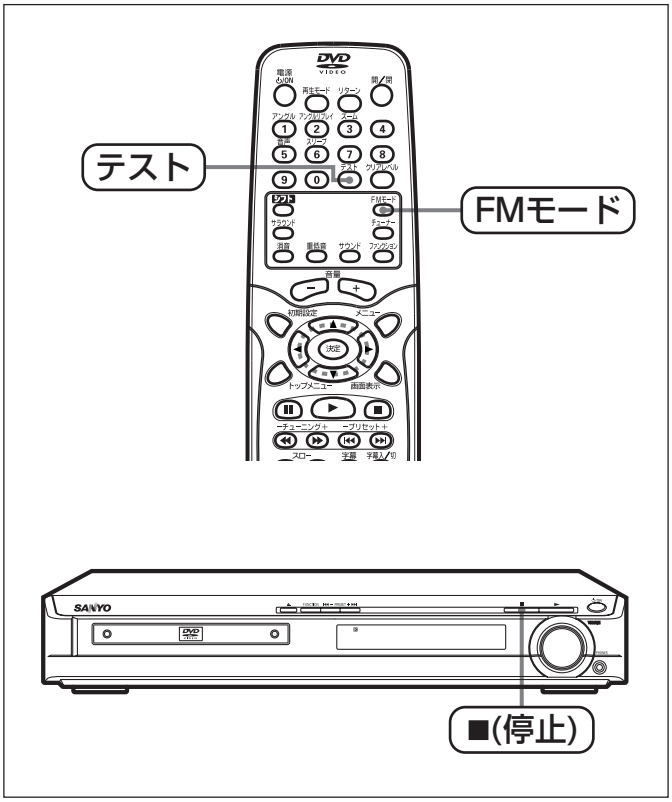
ちょっとこれを！

- 操作1で「No」を選んだり、暗証番号に誤りがあると再生できません。
- 再生を停止すると制限が働いて次の再生ができなくなる場合があります。

暗証番号を忘れたときは

1. 暗証番号入力画面で、暗証番号の代わりに6桁の数字「788444」を入力する
2. 決定ボタンを押す
   ロックが解除されます。新しく暗証番号を入力してください。

ラジオを聞く前に



選局方法について

本機では3つの方法で選局ができます。

エリアバンド選局： 札幌(北海道地区)、仙台(東北地区)、東京(関東地区)、名古屋(中部、北陸地区)、大阪(近畿地区)、広島(中国、四国地区)、福岡(九州地区)でご使用になる場合、地域名(エリア)とプリセット番号を選ぶだけで選局します。

アップ／ダウン選局：受信したい放送局の周波数に自動(オートスキャン)または、手動(マニュアル)で合わせます。

プリセット選局： ご自分でプリセット(プログラム)した放送局を選局するときに使います。
FM24局、AM12局までプリセットできます。

FMステレオ放送の受信について

リモコンの**FMモード**ボタンを押すたびに、ステレオモードとモノラルモードが交互に変わります。ステレオモード時にFMステレオ放送を受信すると、自動的に表示窓に「ST」を表示してステレオになります。

- 受信状態が悪いと「ST」が表示されないことがあります。この場合、モノラルモード(「MONO」表示)にすると、ステレオにはなりませんが聞きやすくなります。
- 他のFM周波数を選ぶと、モノラルモードは自動的に解除されます。ただし、マニュアルチューニング P57 時にはモノラルモードのままになります。
- AMステレオ放送、FM文字放送には対応していません。

よりよい受信をするためには

アンテナを調節してください。

■FM放送のとき

FM室内アンテナの位置を変え、もっともよく聞こえるようにします。付属の室内アンテナでは雑音が入り聞きづらいときには、室内アンテナをはずし屋外アンテナ P14 を接続してください。

■AM放送のとき

AMループアンテナを本機から離し、アンテナの向きを変えて、もっともよく聞こえるようにします。

受信状態が悪い(ビート音がでる)ときは

本体の ■ (停止)ボタンを押しながらリモコンのテストボタンを押す

ボタンを押すたびに「bc-A」⟷「bc-B」表示が交互に表示されます。受信状態が良くなる設定を選んでください。

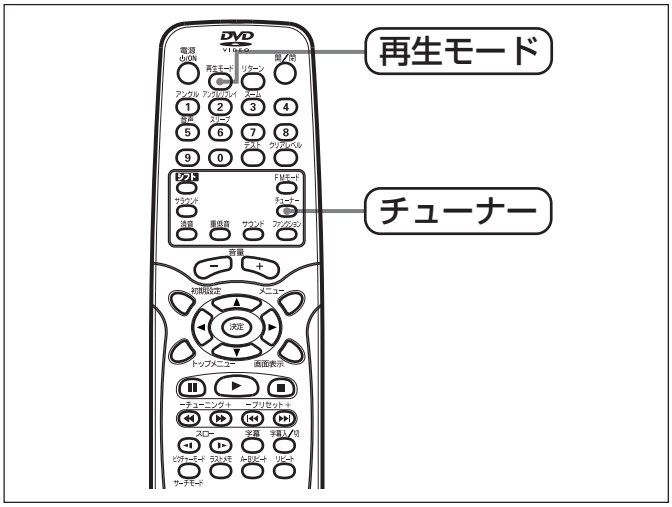
- 設定を切り換えても受信状態が改善されないときは、市販のアンテナを接続したり P14 、テレビの電源を切ってみてください。

ちょっとこれを！

- テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離してご使用ください。
- 室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でテレビ音声を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。

ラジオを聞く

つづく



エリア(7地区)別に主な放送局の周波数がすでに登録(プリセット)されています。P56
本機をお使いになる地域(エリア)に合わせてエリアバンドを切り換え、希望の放送局のプリセット番号を選ぶと放送局を選局します。(工場出荷時は大阪に設定されています。)

エリアバンド選局

本機をお使いになる地域(エリア)に合わせてエリアバンドを設定する。

1 チューナーボタンを押す

- このときは、AM、FMのどちらを受信していてもかまいません。

2 再生モードボタンを押す

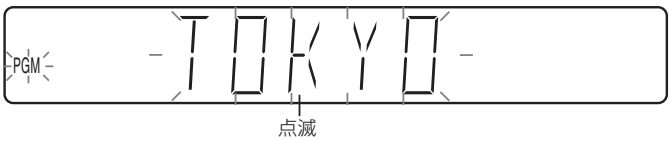
表示窓に「PGM」と「－－」が約10秒間点滅表示されます。
(表示窓の表示例)

3 「PGM」点滅中にチューナーボタンを押して、エリアを選ぶ

押すたびに、以下のように切り換わります。

OSAKA(大阪) → HIROSIMA(広島) → FUKUOKA(福岡) → SAPPORO(札幌) → SENDAI(仙台) → TOKYO(東京) → NAGOYA(名古屋) → OSAKA(大阪) ･･･

(表示窓の表示例 : 「東京」のエリアを表示)



4 エリア表示点滅中に、再生モードボタンを押す

選択した希望するエリアのプリセット番号「1」の放送局を選局します。
(表示窓の表示例 : 「東京」エリアのプリセット番号「1」を表示)

ちょっとこれを!

- エリアバンド以外の地域の放送を追加受信する場合には、「希望局をマニュアル(手動)プリセットする」P58 に従ってご自分でプリセットするか、または「オート(自動)/マニュアル(手動)チューニング」P57 で受信してください。
- 次ページのエリアバンドプリセット一覧表を参考にしてエリアバンド選局をおこなってください。

ラジオを聞く

エリアバンドプリセット一覧表　(□内数字はプリセット番号を示します。)

福岡(FUKUOKA)：九州、沖縄地区

AM放送

1 NHK第1	612kHz
2 NHK第2	1017
3 RKB毎日	1278
4 九州朝日	1413

FM放送

1 FM中九州	77.4MHz
2 FM佐賀	77.9
3 FM九州	78.7
4 FM長崎	79.5
5 FM鹿児島	79.8
6 FM福岡	80.7
7 FM宮崎	83.2
8 NHK-FM福岡	84.8
9 FM沖縄	87.3
10 FM大分	88.0

名古屋(NAGOYA)：中部、北陸地区

AM放送

1 NHK第1	729kHz
2 NHK第2	909
3 CBC中部日本	1053
4 東海ラジオ	1332
5 岐阜ラジオ	1431

FM放送

1 FM福井	76.1MHz
2 FM名古屋	77.8
3 FM三重	78.9
4 FM静岡	79.2
5 FM長野	79.7
6 FM石川	80.5
7 FM愛知	80.7
8 NHK-FM名古屋	82.5
9 FM富山	82.7

札幌(SAPPORO)：北海道地区

AM放送

1 NHK第1札幌	567kHz
2 NHK第2札幌	747
3 北海道放送	1287
4 STVラジオ	1440

FM放送

1 FM北海道	80.4MHz
2 FMノースウェーブ	82.5
3 NHK-FM札幌	85.2

仙台(SENDAI)：東北地区

AM放送

1 NHK第1	891kHz
2 NHK第2	1089
3 東北放送	1260

FM放送

1 FM岩手	76.1MHz
2 FM仙台	77.1
3 FM青森	80.0
4 FM山形	80.4
5 FM福島	81.8
6 NHK-FM仙台	82.5
7 FM秋田	82.8

広島(HIROSIMA)：中国、四国地区

AM放送

1 NHK第2	702kHz
2 NHK第1	1071
3 中国放送	1350
4 山陽放送	1494

FM放送

1 FM山陰	77.4MHz
2 FM広島	78.2
3 FM香川	78.6
4 FM山口	79.2
5 FM愛媛	79.7
6 FM徳島	80.7
7 FM高知	81.6
8 NHK-FM広島	88.3

大阪(OSAKA)：近畿地区

AM放送

1 関西放送	558kHz
2 NHK第1	666
3 NHK第2	828
4 ABC朝日	1008
5 京都放送	1143
6 毎日放送	1179
7 ラジオ大阪	1314

FM放送

1 FM CO·CO·LO	76.5MHz
2 FM滋賀	77.0
3 FM802	80.2
4 FMもりぐち	82.4
5 NHK-FM京都	82.8
6 FM大阪	85.1
7 NHK-FM神戸	86.5
8 NHK-FM大阪	88.1
9 FM京都(α-STATION)	89.4
10 FM兵庫(Kiss FM)	89.9

東京(TOKYO)：関東地区

AM放送

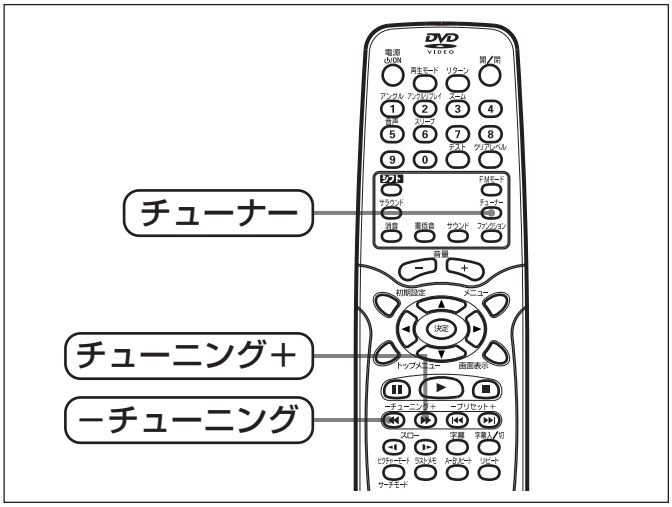
1 NHK第1	594kHz
2 NHK第2	693
3 FEN	810
4 TBS	954
5 文化放送	1134
6 ニッポン放送	1242
7 ラジオ日本	1422

FM放送

1 FMインターウェーブ	76.1MHz
2 放送大学	77.1
3 FMサウンド千葉(bayfm)	78.0
4 FM埼玉(NACK 5)	79.5
5 東京FM	80.0
6 FMジャパン(J-WAVE)	81.3
7 NHK-FM東京	82.5
8 FM富士	83.0
9 FM横浜	84.7
10 FM群馬	86.3

ちょっとこれを！

● 各バンドともすべてのプリセット番号(FMは 1 ～ 24 、AMは 1 ～ 12)に上記の放送局やある特定の周波数がプリセットされています。



オート(自動)/マニュアル(手動)チューニング

受信したい放送局の周波数にオート(自動)または、マニュアル(手動)で合わせます。

1 チューナーボタンを押してバンドを選ぶ

表示窓に、前に受信していたバンドと周波数が表示されます。

- 電源が切れているときでも、**チューナー**ボタンを押すと自動的に電源が入り、表示窓に、前に受信していたバンドと周波数が表示されます。

押すたびに、以下のように切り換わります。

FM TUNER ⟷ AM TUNER

2 チューニング＋または－チューニングボタンを押して、希望の放送を受信する

オート(自動)スキャンチューニング

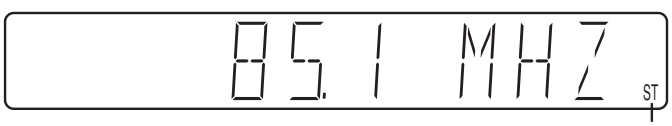
ボタンを1秒以上押し、周波数が変わり始めたら指を離します。周波数が自動的に進み、放送を受信すると自動停止します。

- ボタンを押し続けていると停止しません。
- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信して自動停止することがありますが、故障ではありません。

マニュアル(手動)チューニング

ボタンを短くポンポンと繰り返し押します。

(表示窓の表示例)



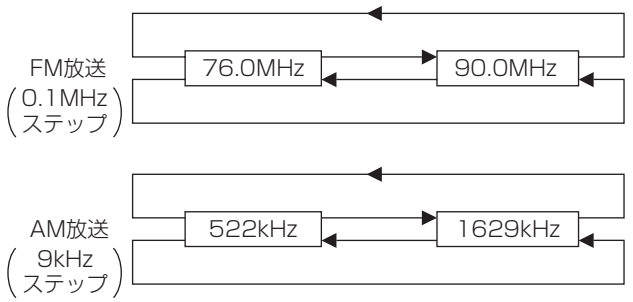
FMステレオ放送を受信すると点灯

ちょっとこれを！

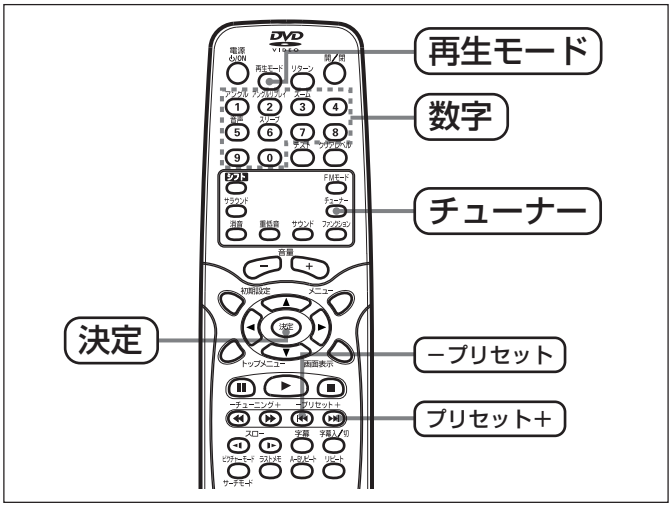
- 選局時、周波数は正しく合わせてください。新聞の番組覧などを利用すると便利です。

周波数は次のように変わります

- 選局中、各バンドの上限、下限に達すると、周波数は各バンドの下限、上限に移ります。



ラジオを聞く



ご希望の放送局をプリセットしておくと、**数字**ボタンや**プリセット＋**または**－プリセット**ボタンを使って、簡単に選局することができます。
オート（自動）または、マニュアル（手動）でプリセットすることができ、FMは24局、AMは12局までプリセットできます。

希望局をオート（自動）プリセットする

受信できる放送局をオート（自動）でプリセットする。

1 チューナーボタンを押してバンドを選ぶ P57

2 再生モードボタンを3秒以上押す

表示窓に「PGM」が点滅表示されます。
周波数が変わり始めたら指を離します。周波数の下限から自動的に進み、受信した放送局を自動的にプリセットします。
受信できる放送局がFMで24局、AMで12局登録されるか、バンド周波数の上限に達するとオートプリセットは終了し、「PGM」表示が消えてプリセット番号「1」に登録された放送局を受信します。

- 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動登録できないことがあります。
- 周囲に妨害電波がある場合は、妨害電波を受信してプリセットすることがありますが、故障ではありません。

（表示窓の表示例）

3 他のバンドでプリセットする場合は、希望のバンドに切り換えて、操作2を繰り返す

ご注意

- オートプリセットを実行すると、前の内容は消えます。

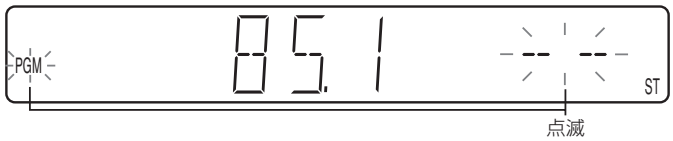
希望局をマニュアル（手動）プリセットする

受信できる放送局をマニュアル（手動）でプリセットする。

1 プリセットしたい放送局を受信する P57

2 再生モードボタンを押す

表示窓に「PGM」と「－－」が約10秒間点滅表示されます。
（表示窓の表示例）



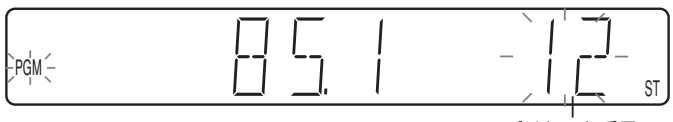
点滅

3 「PGM」点滅中に数字ボタンを押して、プリセット番号を選ぶ

例：プリセット番号3を選ぶとき･･･ 3を押す。
プリセット番号12を選ぶとき･･･ 1 → 2の順に押す。

- **プリセット＋**または**－プリセット**ボタンでもプリセット番号が選択できます。ボタンを繰り返し押して、プリセット番号を選びます。

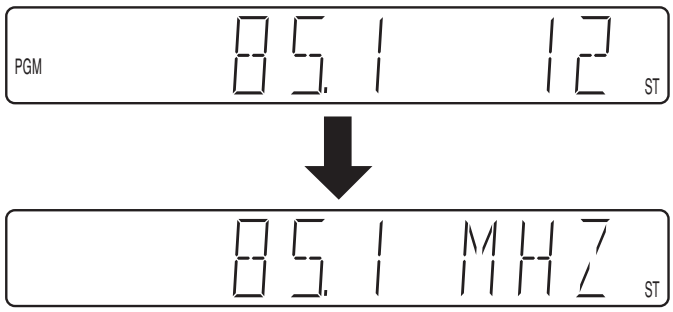
（表示窓の表示例）



プリセット番号

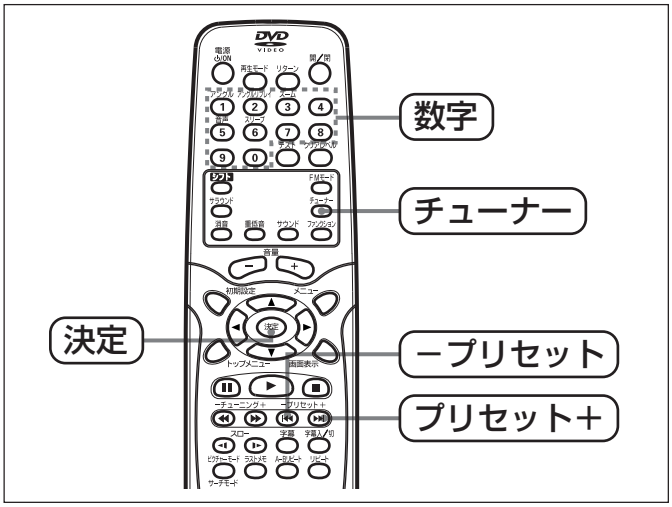
4 プリセット番号点滅中に、決定ボタンを押す

（表示窓の表示例）



5 同じバンド内で他局をプリセットする場合は、操作1～4を繰り返す

6 他のバンドでプリセットする場合は、希望のバンドに切り換えて、操作1～4を繰り返す



ちょっとこれを！

- 初めてプリセットするときは、各バンドとも、ある特定の周波数がすでにプリセットされています。
- すでに放送局がプリセットされているプリセット番号に、新しく放送局をプリセットすると、前の内容は消えます。
- プリセットの内容は電源を切っても残ります。停電などでプリセットの内容が消えた場合は、プリセットし直してください。

プリセットした放送局を聞く

ダイレクト選局

1 チューナーボタンを押してバンドを選ぶ P57

2 数字ボタンを押してプリセット番号を選ぶ

例：プリセット番号3を選ぶとき･･･ 3を押す。
　　プリセット番号12を選ぶとき･･･ 1 → 2の順に押す。
（表示窓の表示例）

3 決定ボタンを押す

（表示窓の表示例）

プリセットスキャン選局

1 チューナーボタンを押してバンドを選ぶ P57

2 プリセット＋ボタンを1秒以上押す

表示窓に「プリセット番号」が点滅表示され、受信できたプリセット局を順に約5秒ずつ受信します。
（表示窓の表示例）

3 聞きたい放送を受信したら、プリセット＋ボタンを押す

その放送を受信し続けます。

- プリセット局を一巡すると、ボタンを押す前の放送局を受信します。

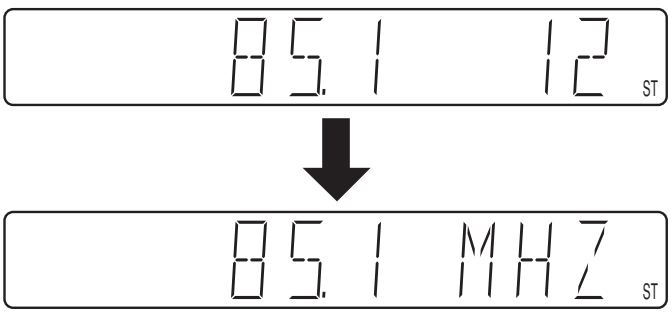
（表示窓の表示例）

プリセット選局

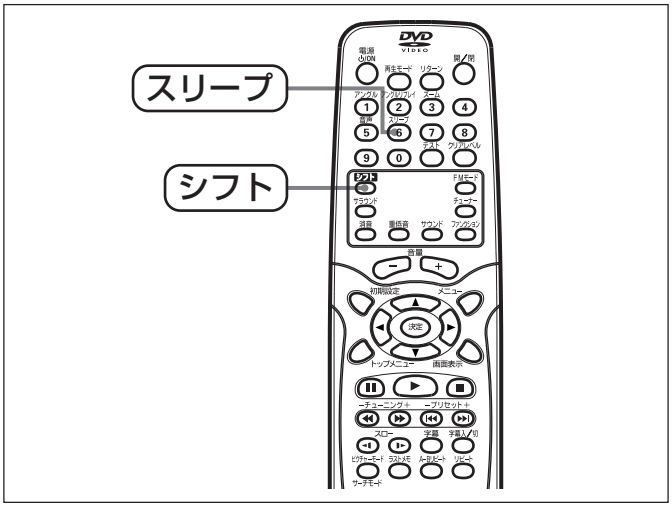
1 チューナーボタンを押してバンドを選ぶ P57

2 プリセット＋または－プリセットボタンを押してプリセット番号を選ぶ

ボタンを短くポンポンと繰り返し押します。
ボタンを押すたびに次または前のプリセット局を受信します。
（表示窓の表示例）



おやすみタイマーを使う



おやすみタイマーを使う

おやすみタイマーを使うと、自動的に電源を切ることができます。
電源が切れるまでの時間は30分、60分、90分、120分の中から選択できます。
電源が切れる約1分前になると音量がだんだんと小さくなり、そのあと電源が切れます。

シフトボタンを押しながらスリープボタンを押して、電源が切れるまでの時間を選ぶ

表示窓に「SLEEP」が点滅表示されます。

押すたびに、以下のように切り換わります。

SLEEP 30 → SLEEP 60 → SLEEP 90
SLEEP OFF ← SLEEP 120 ←

数秒後、もとの表示に戻り、設定が終了します。
おやすみタイマーを設定すると、表示窓の明るさが通常よりも暗くなります。

おやすみタイマーを途中で解除する

シフトボタンを押しながらスリープボタンを押して、「SLEEP OFF」を選ぶ

表示窓が明るくなり、「SLEEP」の点滅表示が消えておやすみタイマーが解除されます。

おやすみタイマーの動作中に、残り時間を確認する

おやすみタイマーの動作中に、シフトボタンを押しながらスリープボタンを1回押す

おやすみタイマーの残り時間が表示され、数秒後、もとの表示に戻ります。

- 残り時間表示中に、**シフト**ボタンを押しながら**スリープ**ボタンをポンポンと押すと、残り時間を変更することができます。

他の機器と組み合わせて使う

ビデオ音声入力端子に接続した外部機器（テレビやビデオなど）の音声を楽しむ

本機に接続したテレビやビデオデッキなどの音声を、本機のスピーカーで楽しむことができます。
接続方法は「他の機器と接続する」を参照してください。P17

準備　本機と接続した機器の電源を入れておきます。

1. ファンクションボタンを押して、「VIDEO 1」または「VIDEO 2」を選ぶ

音声を楽しむ機器が接続されている入力端子を選択します。

2. 接続した機器を操作する

ちょっとこれを！

- ビデオの画像が多少乱れる場合があります。

故障？　その前にちょっとこれを!

修理を依頼される前に、もう一度次の項目をお確かめください。

全般（電源について）

症　状	原　因	処　置	参照ページ
電源が入らない	電源コードが抜けている	コンセントに電源コードをしっかり差し込む	20
電源を入れてもすぐに切れる	スピーカーコードがショートした状態で電源を入れたため、保護回路が作動し電源が切れている	すべてのスピーカーコードが正しく接続されていることを確認する	13
	本機が落雷や過度の静電気など、外部からの強い電気ショックを受けている	本機をスタンバイ状態にし、電源コードを抜いて、約30秒経ってから差し込み直して、電源を入れる	20
電源が入っているのに動かない	ディスクが入っていない	ディスクを入れる	24
本機が正常に作動しない	内部マイコンが外部電気ショック(落雷または過度の静電気)、または電源電圧の低下によってフリーズしている	コンセントからAC電源プラグを抜き、約30秒後にもう一度差し込む	20
初期設定などの設定内容が元に戻っている	電源コンセントが抜けたままになっていたり、停電状態になっている	電源コンセントが抜けたままになっていたりすると、内蔵メモリーの内容が消えてしまうことがありますので、もう1度設定しなおす	−

映像について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
画像が出ない （または、画面サイズがおかしい）	テレビの入力切り換えが正しくない	テレビの入力切り換えを本機からの画像が映るように切り換える	24
	映像コードがしっかりと接続されていない	映像コードをしっかりと差し込む	15, 16
	テレビの電源が入っていない	テレビの電源を入れる	24
	映像出力端子またはS映像端子にのみ接続しているとき、またはプログレッシブ入力対応でないテレビとD映像接続しているときにプログレッシブ方式に設定されている	映像出力方式をインターレース方式に設定する	16
	ファンクションの切り換えが正しくない	ファンクションを「DVD/CD」にする	23
	PAL方式で記録されているディスクを再生しようとしている	NTSC方式で記録されているディスクを入れる	9
	テレビの画面形状設定が正しくない	接続しているテレビにあわせて正しく設定する	48
画像がおかしい	D映像出力端子とコンポーネント映像出力端子を同時に接続している	どちらか一方の接続にする	16

故障？　その前にちょっとこれを!

音声について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音声が出ない	スピーカーコードがしっかりと接続されていない	スピーカーコードをしっかりと差し込む	13
	ボリュームが下がっている	ボリュームを調節する	21
	ファンクションの切り換えが正しくない	音声入力接続コードをつないでいる機器のファンクションを選択する	23
	ビデオ音声入力端子にコードがしっかりと接続されていない	接続コードをしっかりと差し込む	17
	消音されている	リモコンの消音ボタンを押して消音を取り消し、音量を調節する	21
	本機で再生できないCD-ROMなどを再生している	本機で再生可能な信号のディスクを再生する	9
音声が突然出なくなる	スリープタイマーが作動している	電源を入れて、再生しなおす	60
特定のチャンネルの音がほとんど出ない	スピーカーコードやビデオ音声入力端子にコードがしっかりと接続されていない	接続コードをしっかりと差し込む	13, 17
フロントスピーカー以外のスピーカーから音が出ない	ドルビーサラウンドやドルビーデジタル、DTS信号でエフェクト信号が入っていないソースやステレオソースを再生している	別のサラウンドモードを選択する	22
センタースピーカーから音が出ない	センタースピーカーの音量レベルが絞られている	センタースピーカーの音量レベルを上げる	19
	ドルビーデジタルまたはDTSソースにセンターチャンネル信号が含まれていない	故障ではありません	–
サラウンドスピーカーから音が出ない	サラウンドスピーカーの音量レベルが絞られている	サラウンドスピーカーの音量レベルを上げる	19
センタースピーカーとサラウンドスピーカーから音が出ない	2.1chモードを選択している	別のサラウンドモードを選択する	22
サブウーファーから音が出ない	サブウーファーの音量レベルが絞られている	サブウーファーの音量レベルを上げる	19
	音声信号にLFEなどの低音信号（90Hz以下）が含まれていない。	故障ではありません	–
	重低音の設定が「BASS OFF」になっている	設定を「NORMAL」または「BOOST」に切り換える	21
ハム音が出る	ビデオ音声入力端子にコードがしっかりと接続されていない	接続コードをしっかりと差し込む 電源コードのプラグ極性を逆にする	17
デジタル機器や高周波機器から雑音が出る	本機がデジタル機器または高周波機器に接近しすぎている	本機をそれらの機器から離して設置する	–

ディスク再生について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
画像がきれいに映らない	ディスクが汚れているまたは傷がある	ディスクをきれいにするまたはディスクを交換する	8
早送り／早戻しのとき画像が乱れる	多少乱れが出ることがあります	故障ではありません	–
再生が始まらない （または、すぐに停止する）	ディスクが入っていない	ディスクを入れる	24
	本機で再生できないディスクが入っている	再生できるディスクの種類や、テレビ方式を確認する	9
	ディスクを裏返しに入れている	再生面を下にして入れる	24
	ディスクがななめに入っている	ディスクをディスクトレイにきちんと収まるように入れる	24
	ディスクが汚れているまたは傷がある	ディスクをきれいにするまたはディスクを交換する	8
	初期設定画面が表示されている	**初期設定**ボタンを押して画面表示を消す	–
	視聴年齢制限が設定されている	視聴年齢制限を解除、または規制レベルを変更する	52, 53
	リージョン番号が違っている	リージョン番号2もしくはALLのディスクを入れる	9
	寒いところから急に暖かいところに持ってきて、レンズ部に露が付いている	1～2時間放置してください。	7
各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合がある	故障ではありません	–
音声/字幕言語が切り換えられない	複数の言語が入っていないディスクでは切り換えできません	故障ではありません	–
	音声/字幕切り換え操作では切り換えできないディスクでも、メニュー画面等で切り換えできる場合があります	故障ではありません	–
字幕が出ない	字幕の入っていないDVDでは字幕が表示されません	故障ではありません	–
	字幕が「切」になっている	字幕を「入」に設定する	39
アングルを変えて見ることができない	複数のアングルが記録されているディスクでのみ切り換えできます	故障ではありません	–
ビデオで録画できない	ほとんどのDVDディスクはコピー禁止処理がされていて、録画できません	故障ではありません	–
プログレッシブ出力時に映像の一部が二重にぶれて見える	映像ソフトそのものの編集方法や素材の状態に起因する症状です（インターレース出力（525i）では問題なく再生できます）	映像出力方式をインターレース方式に設定する	16
本体表示窓に「NO PLAY」と表示される	本機で再生できないディスクが入っている	再生できるディスクの種類や、テレビ方式を確認する	9
本体表示窓に「NO DISC」と表示される	ディスクが入っていないか、ディスクが正しく入っていない	ディスクを正しく入れる	24
ディスクトレイが開かない	ディスクトレイがロックされている	ディスクトレイのロックを解除する	23
MP3またはWMAのディスクが再生できない	対応フォーマットまたは条件が合っていない 記録状態が悪い	対応フォーマットまたは条件に合うディスクや記録状態の良いディスクに交換する	40
MP3またはWMAのディスクで読み込み時間が長い	ファイル構成の問題	故障ではありません	–
DVD再生中に画像が乱れるまたは暗い	本機ではアナログコピープロテクト方式のコピーガードにも対応しています。そのため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に縞模様がでる	故障ではありません	–
DVDとCDのディスクによの音量差を感じる	一般的にDVDよりもCDの方が記録レベルが高い	故障ではありません	–

故障？ その前にちょっとこれを!

FM/AM放送の受信について

症　状	原　因	処　置	参照ページ
ラジオに雑音が多く聞きづらい	電源、雑音の影響を受けている	電源コードの差し込み口を替える 電源コードのプラグ極性を逆にする	20
	モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている	本機を雑音源から離す テレビを消す アンテナの位置や角度を調節する	14, 54
FM放送がステレオ放送になると雑音が多く聞きづらい	FM電波が弱い FM放送の特性により、放送局から離れた地域やアンテナ入力が弱い場合に起きる	アンテナの接続を確認する FM屋外アンテナを多素子のものに変える FMモードを「MONO」に設定する	14, 54
FM専用アンテナを使用しているが、音が歪むなど受信感度が悪い	マルチパス(多重反射)などの妨害電波を受けている	アンテナの高さや方向、設置場所を変える	14
プリセット選局ができない	プリセット(メモリー)が消えている	もう一度プリセットする	58
FM放送がオート選局ができない	FM放送の特性により、放送局から離れた地域やアンテナ入力が弱い場合に起きる	マニュアル選局をする 屋外アンテナを多素子のものに変える	14, 57
AM放送がオート選局ができない	電波が弱い、あるいはアンテナの接続が不完全	AMループアンテナの方向を変える マニュアル選局をする	14, 57
AM放送に「ジー」、「ザー」、「ガリガリ」などの雑音が入る	空電や雷による雑音、または蛍光灯、モーター、サーモスタット付きの電気器具の雑音の影響を受けている	付属のAMループアンテナをノイズの発生源よりできるだけ離して、向きをいろいろ変える	14
AM放送に「ブンブン」、「ヒューヒュー」などの雑音が入る(特に夕方に)	本機の近くでテレビを使用している	本機からテレビを離す	14

リモコンについて

症　状	原　因	処　置	参照ページ
リモコンが働かない	リモコンが受光部に向いていない	リモコンの送信部を本機の受光部に向ける	20
	リモコンと受光部の間が遠すぎる	約6m以内のところで操作する	20
	リモコンと受光部の間に障害物がある	障害物を取り除く	20
	リモコンの電池が消耗している	電池を交換する	20
	本機のリモコン受光窓に直射日光や照明(インバーター蛍光灯など)が当たっている	照明、または本体の向きを変える	20

お願い

表示や動作が異常になったときは、⏻/**ON**または**電源** ⏻/**ON**ボタンで一度電源を切り、再度電源を入れてください。
または、電源を切って電源プラグを抜き、数秒後もう一度差し込んで操作し直してください。
(落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。)

用語解説

DTS
Digital Theater Systemの略です。限りなく原音に忠実なサラウンドを再現するためにデジタルシアターシステムズ社が開発した方式です。

D端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号（Y/CB/CR）と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続することができる端子です。（D1/D2/D3/D4などと表記されています。）

JPEG
JPEGとは、写真などの画像ファイルを圧縮して保存する形式（画像フォーマット）のひとつで、ITU-TS（国際電気通信連合：旧CCITT）とISO（国際標準化機構）で定められたフォーマットです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子が付きます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号で、ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3というファイル形式で圧縮された音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。

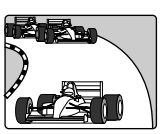
MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは、動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものがあります。

PCM
Pulse Code Modulationの略で音声の圧縮をおこなわないデジタル音声のことをいいます。CDやDVDのデジタル音声がPCMです。

WMA
WMAとは、Windows Media Audioの略でマイクロソフト社が開発したファイル形式で圧縮された音楽データです。「.wma」という拡張子の付いたファイルをWMAファイルと呼びます。

インターレース（飛び越し走査）方式/プログレッシブ（順次走査）方式
インターレース方式（525i）とは映像の1画面を2回に分けて表示します。まず、奇数番目の走査線を表示して目の残像を利用して次に偶数番目の走査線を表示して画面を構成する従来のテレビ走査方式です。通常解像度の数字の後ろに「i」をつけて表記します。
プログレッシブ方式（525p）とは映像の1画面を2回に分けず、1回で画面の上から順番に走査して表示します。そのため、インターレース方式に比べ特に静止画や文字、横線の多い画像でチラツキの少ないきれいな画面を表示できます。通常解像度の数字の後ろに「p」をつけて表記します。
（インターレース方式の表示例）

（プログレッシブ方式の表示例）



視聴年齢制限
DVDディスクの中には、視聴者の年齢に合わせてディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのようなディスクを再生するときの規制レベルを本機で設定することができます。

チャプター
ディスクのタイトル内をいくつかのセクションで区切り、番号付けしたナンバーのことで、本の「章」番号に相当します。本機では、このチャプターナンバーが記録されていれば希望のセクションを素早く見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などは、テレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラ位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは、数台のカメラで同時に撮影し、その中の一つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですが、すべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点（カメラ）を選べれば見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルディスクといいます。

マルチ音声言語
DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声が記録されているものがあります。DVDでは音声を最大8言語（8ストリーム）まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しむことができます。

マルチ字幕言語（サブタイトル）
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しむことができます。

リージョン番号
DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号（リージョン番号）が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン番号は「2」で、本体背面部に表示されています。

レターボックス
4:3のテレビと本機を接続し、ワイド（16:9）ソフトを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

お客さまご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。
総合相談窓口： 家電製品についての全般的なご相談
修理相談窓口： 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）

受付時間
月曜日～土曜日（祝日および当社の休日を除く）
9:00～17:00

北海道地区 .....札　幌　(011)290-1522
東北地区 .....仙　台　(022)714-6137
関東地区 .....東　京　(03)3815-1111
中部・北陸地区 .....名古屋　(052)533-5245
近畿・四国地区 .....大　阪　(06)6994-9570
中国地区 .....広　島　(082)297-6067
九州・沖縄地区 .....福　岡　(092)263-7629

● 郵便・FAXでご相談される場合は
三洋電気(株)お客さまセンター
〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX(06)6994-9510

修理相談窓口　（修理サービスについてのご相談）　三洋電機サービス(株)

受付時間　月曜日～金曜日　[9:00～18:30]　土曜・日曜・祝日　[9:00～17:30]

出張修理のご依頼　その他の修理相談窓口

東日本コールセンター　東京 ☎ (03)5302-3401　　**西日本コールセンター　大阪** ☎ (06)4250-8400

関東・甲信越・首都圏および近畿地区以外にお住まいのお客さまは下記の電話をご利用いただけます。

東日本コールセンターへの転送電話番号

北海道地区　札　幌 ☎ (011)833-7888
東北地区　仙　台 ☎ (022)382-2213

西日本コールセンターへの転送電話番号

北陸地区　金　沢 ☎ (076)237-6650
中部地区　名古屋 ☎ (052)459-3456
中国地区　広　島 ☎ (082)293-9333
四国地区　高　松 ☎ (087)844-8321
九州地区　福　岡 ☎ (092)922-6111

沖縄地区　沖　縄 ☎ (098)944-5018
受付時間　月曜日～土曜日（日曜、祝日および当社休日を除く）[9:00～12:00、13:00～17:30]

北　海　道　地　区

[北海道]	札　幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央3条4-1-36
	函　館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗589-295
	苫小牧	(0144)33-3421	〒053-0042	苫小牧市三光町2-2-5
	旭　川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北3条7-3-3
	北　見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
	釧　路	(0154)22-1576	〒085-0021	釧路市浪花町7-7

つづく

東北地区

[青森県]	青森	(017)729-3401	〒030-0141 青森市大字上野字山辺29-5
	八戸	(0178)28-9225	〒039-1103 八戸市長苗代字観音堂50-5
[秋田県]	秋田	(018)862-6551	〒010-0925 秋田市旭南3-2-67
[岩手県]	盛岡	(019)635-0136	〒020-0863 盛岡市南仙北1-13-6
[山形県]	山形	(023)641-1769	〒990-2432 山形市荒楯町1-21-30
[宮城県]	仙台	(022)384-0444	〒981-1225 名取市飯野坂3-4-8
[福島県]	郡山	(024)945-6793	〒963-0111 郡山市安積町荒井字戸蘭塔1-7

関東地区

[東京都]	城北	(03)3958-1261	〒173-0021 板橋区弥生町72-5
	城東	(03)3607-3191	〒125-0051 葛飾区新宿4-10-15
	江東	(03)3685-8166	〒136-0071 江東区亀戸1-8-6
	城南	(03)3421-5171	〒154-0003 世田谷区野沢3-5-3
	城西	(03)3376-3361	〒151-0073 渋谷区笹塚3-1-13
	府中	(042)364-7721	〒183-0045 府中市美好町2-3-1
[山梨県]	甲府	(055)226-2561	〒400-0035 甲府市飯田4-9-14
[神奈川県]	横浜	(045)827-2831	〒224-0806 横浜市戸塚区上品濃9-14
	平塚	(0463)55-3926	〒254-0014 平塚市四之宮5-10-4
	相模原	(042)742-2272	〒228-0805 相模原市豊町17-11
[埼玉県]	大宮	(048)664-2319	〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-30
	坂戸	(049)284-8900	〒350-0214 坂戸市千代田5-3-17
[千葉県]	千葉	(043)241-7311	〒260-0025 千葉市中央区問屋町5-20
	鎌ヶ谷	(047)441-0111	〒273-0105 鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59
[栃木県]	宇都宮	(028)653-2811	〒321-0106 宇都宮市上横田町1302-12
[群馬県]	高崎	(027)362-1151	〒370-0001 高崎市中尾町池の内441
	太田	(0276)22-7702	〒373-0015 太田市東新町72-2
[茨城県]	水戸	(029)251-4125	〒311-4152 水戸市河和田3-2386-1
	つくば	(0298)64-4751	〒300-3261 つくば市花畑2-15-3
[新潟県]	新潟	(025)285-2431	〒950-0971 新潟市近江244
	長岡	(0258)24-0705	〒940-0029 長岡市東蔵王2-3-46
	上越	(0255)43-3535	〒942-0074 上越市石橋2-2-9

中部地区

[愛知県]	名古屋	(052)451-3161	〒453-0804 名古屋市中村区黄金通5-10
	岡崎	(0564)23-3418	〒444-0065 岡崎市柿田町1-2
[静岡県]	静岡	(054)261-4151	〒420-0813 静岡市長沼885
	沼津	(0559)63-1000	〒410-0861 沼津市真砂町3-1
	浜松	(053)461-8685	〒435-0016 浜松市和田町795-2
[長野県]	松本	(0263)26-1107	〒390-0835 松本市高宮東1-35
	長野	(026)299-9501	〒388-8006 長野市篠ノ井御幣川字東松島1000-2
[岐阜県]	岐阜	(058)246-3417	〒501-6006 羽島郡岐南町伏屋1-35
[三重県]	津	(059)228-8126	〒514-0838 津市岩田町10-3
[石川県]	金沢	(076)237-7811	〒920-0062 金沢市割出町627
[富山県]	富山	(076)422-7020	〒939-8211 富山市二口町1-13-8
[福井県]	福井	(0776)22-6082	〒918-8231 福井市問屋町1-17

お客さまご相談窓口

近 畿 地 区				
[大阪府]	大　阪	(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
	大阪南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14　三洋ビル2F
	大阪東	(0729)65-1811	〒578-0903	大東市今米2-3-29
	阪　和	(072)221-8571	〒590-0959	堺市大町西3-1-16
[奈良県]	奈　良	(0744)22-7888	〒634-0837	橿原市曲川町7-1-31
[和歌山県]	和歌山	(073)436-3110	〒641-0006	和歌山市中島369
[兵庫県]	阪　神	(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
	神　戸	(078)651-3951	〒652-0897	神戸市兵庫区駅南通2-1-11
	姫　路	(0792)96-2141	〒670-0981	姫路市西庄字八町108
	洲　本	(0799)22-2702	〒656-0101	洲本市納字横竹308-1
[京都府]	京　都	(075)672-0877	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町41
	福知山	(0773)27-3458	〒620-0856	福知山市土師宮町1-66
[滋賀県]	大　津	(077)545-4221	〒520-2134	大津市瀬田1-1-5
四 国 地 区				
[香川県]	四　国	(087)843-1840	〒761-0104	高松市高松町2175-10
[愛媛県]	松　山	(089)971-3342	〒791-8036	松山市高岡町148-1
[高知県]	高　知	(088)860-0229	〒781-5106	高知市介良乙1044
[徳島県]	徳　島	(088)699-4131	〒771-0219	板野郡松茂町笹木野字八北開拓 150-2
中 国 地 区				
[広島県]	広　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町3-17-5
	福　山	(0849)25-3455	〒720-0077	福山市南本庄3-1-48
[岡山県]	岡　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
[山口県]	山　口	(083)973-3391	〒754-0024	吉敷郡小郡町若草町2-6
[鳥取県]	鳥　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
[島根県]	松　江	(0852)23-1183	〒690-0017	松江市西津田4-1-14
九 州 地 区				
[福岡県]	福　岡	(092)928-3414	〒818-8534	筑紫野市紫6-1-1
	北九州	(093)521-5286	〒802-0023	北九州市小倉北区下富野2-10-28
	久留米	(0942)21-3534	〒830-0052	久留米市上津町字赤坂1890-2
[長崎県]	長　崎	(095)824-5628	〒850-0012	長崎市本河内町3-21-43
	佐世保	(0956)31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1
[熊本県]	熊　本	(096)357-1122	〒861-4106	熊本市南高江町3-2-88
[大分県]	大　分	(097)543-3454	〒870-0822	大分市大道町3-4-32
[宮崎県]	宮　崎	(0985)29-3441	〒880-0036	宮崎市花ケ島町観音免883
[鹿児島県]	鹿児島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10
沖 縄 地 区				
[沖縄県]	沖　縄	(098)944-5018	〒903-0103	西原町小那覇1303沖縄三洋販売(株)サービス部

● 上記お客さまご相談窓口の名称、所在地、電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

(060603u)

アフターサービスについて

保証書について

この商品には保証書がついています。お買い上げの販売店が発行します。保証書の「販売店・お買い上げ日」等の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保存してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

修理サービスについて

ご使用中に具合が悪くなったときは「**故障？その前にちょっとこれを！**」P61～64 の一覧表に従って調べてください。なおらないときは、内部機構をさわらずに、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証期間中は
  保証書の記載内容により販売店が修理いたします。
  詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎているときは
  修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

DVDホームシアターシステムの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。

- この期間は、経済産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げの販売店か、お近くの「**お客さまご相談窓口**」P66～68 にお問い合わせください。

- 転居される場合は
  ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられなくなる場合には事前に販売店にご相談ください。
- ご贈答の場合は
  最寄りの三洋販売店か、または当社の「**お客さまご相談窓口**」にお問い合わせください。

愛情点検

長年ご使用のDVDホームシアターシステムの点検を ！

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

仕　様

総 合 部	
実用最大出力　:フロント	33 W × 2(JEITA、1 kHz、8 Ω)
:センター	33 W(JEITA、1 kHz、8 Ω)
:サラウンド	33 W × 2(JEITA、1 kHz、8 Ω)
:サブウーファー	55 W (JEITA、100 Hz、4 Ω)
電源	AC 100 V　50/60 Hz (コード長 約1.5m)
消費電力	100 W (待機消費電力 1.5W)
質量	約 6.3 kg
外形寸法	幅 435 × 高さ 65 × 奥行 378 mm
使用条件	温度:5℃～35℃、動作姿勢:水平
DVD/CD プレーヤー 部	
信号方式	NTSC カラーテレビジョン方式
使用レーザー	半導体レーザー　波長 650/790 nm
音声周波数特性	4 Hz ～ 44 kHz (DVD fs:96kHz)
信号対雑音比 (S/N比)	105 dB以上 (JEITA)
ダイナミックレンジ	93 dB以上 (JEITA)
全高調波ひずみ率	0.003%
ワウ・フラッタ	測定限界以下 (JEITA)
チューナー 部	
受信周波数	AM:522～1,629 kHz FM:76～90 MHz
端 子 部	
映像出力	1.0 V(p-p)、75 Ω、同期負、ピンジャック X 1
S映像出力	(Y) 1.0 V(p-p)、75 Ω、同期負、ミニ DIN 4 ピンX 1 (C) 0.286 V(p-p)、75 Ω
D1/D2映像出力	(Y) 1.0 V(p-p)、75 Ω/(P_B/C_B) 0.7 V(p-p)、75 Ω/(P_R/C_R) 0.7 V(p-p)、75 Ω、 同期負、D端子 X 1
コンポーネント映像出力	(Y) 1.0 V(p-p)、75 Ω/(P_B/C_B) 0.7 V(p-p)、75 Ω/(P_R/C_R) 0.7 V(p-p)、75 Ω
ヘッドホン	適合インピーダンス 8 ～ 32 Ω
ビデオ音声入力(感度/インピーダンス)	500 mV、50 kΩ X 2 系統
スピーカー 部 (フロント・センター・サラウンド)	
形式	1ウェイ密閉型
ユニット	フルレンジ 8 cm コーン型(防磁)
最大許容入力	50 W
公称インピーダンス	8 Ω
質量(1本)	約 0.6 kg
外形寸法(1本)	幅 94 × 高さ 144 × 奥行 85 mm
スピーカー 部 (サブウーファー)	
形式	ケルトン型
ユニット	13 cm コーン型(防磁)
最大許容入力	80 W
公称インピーダンス	4 Ω
質量(1本)	約 4.6 kg
外形寸法(1本)	幅 160 × 高さ 395 × 奥行 305 mm

付 属 品

- 映像接続コード 1
- リモコン 1
- リモコン用単3形乾電池 2
- スピーカーコード 6
- AM ループアンテナ 1
- FM 室内アンテナ 1

● 仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。
● 本機は「高調波ガイドライン」適合品です。

さくいん

用語でさがしたいときに便利です。

あ

アスペクト比 …… 9
アングル切換 …… 37
アンテナ接続 …… 14
暗証番号 …… 52, 53
一時停止 …… 30, 41, 43
映像出力 …… 11, 15～17
映像出力切換 …… 11, 15, 16
音声言語 …… 38, 45

か

回転 …… 43
画質切り換え …… 38
画面設定 …… 48
画面表示言語 …… 45
距離 …… 18
言語コード一覧表 …… 47
言語設定 …… 45
コピー防止 …… 15
コマ送り …… 30
コンポーネント映像入力 …… 16
コンポーネント映像出力 …… 16
故障?その前にちょっとこれを! …… 61～64

さ

再生 …… 24
サーチ …… 27
サラウンド …… 19
シーン …… 9
視聴年齢制限 …… 52, 53
字幕言語 …… 39, 45
スキップ（頭出し） …… 25, 41, 43
スピーカー出力 …… 19
スピーカー接続 …… 13
スピーカー設定 …… 18
スライドショー …… 42, 43
スロー再生 …… 30
ズーム …… 36, 44
接続 …… 13～17

た

タイトル …… 10, 27
タイトルサーチ …… 27
タイムサーチ …… 28
ディマーモード …… 23
チャプター …… 10, 27, 65
チャプターサーチ …… 27
露つき …… 7
ディスクの情報 …… 29
テストトーン …… 19
トラック …… 10, 25
トラックサーチ …… 28

な

残り時間表示 …… 29

は

早送り …… 30
早戻し …… 30
パスワード …… 52, 53
バランス調整 …… 19
パレンタル …… 52, 53
パンスキャン …… 48
ビデオ音声入力 …… 17
表示窓 …… 11
プログラム再生 …… 32, 33

ま

マルチアングル …… 37, 65
マルチ音声言語 …… 38, 65
マルチ字幕言語 …… 39, 65

ら

ラストメモ再生 …… 35
ランダム再生 …… 34
リージョン番号 …… 9, 65
リピート再生 …… 31, 41
レジューム …… 25
レターボックス …… 48, 65
レベル調整 …… 19

わ

ワイド …… 47

アルファベット/数字

A-Bリピート …… 31
CD …… 9
D1/D2映像出力 …… 11
DTS …… 38, 65
DVD …… 9
D端子映像入力 …… 16
JPEG …… 42, 65
MP3 …… 10, 40, 65
PCM …… 65
S-VIDEO映像出力 …… 11, 15
TVタイプ …… 48
WMA …… 10, 40, 65
Y/PB/CB/PR/CR …… 16
16:9 …… 48
4:3 …… 48

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。修理などを依頼されるとき便利です。

品　番	DC-PS511
お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	電話(　　)　-
もよりの修理 ご相談窓口	電話(　　)　-

総合相談窓口

家電製品についての全般的なご相談は下記の「三洋電機 お客さまご相談窓口」へお問い合わせください。

北海道地区	(011)290-1522
東北地区	(022)714-6137
関東地区	(03)3815-1111
中部･北陸地区	(052)533-5245
近畿･四国地区	(06)6994-9570
中国地区	(082)297-6067
九州･沖縄地区	(092)263-7629

受付時間

月曜日～土曜日(祝日および当社の休日を除く)

9:00～12:00、13:00～17:00

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または66～68ページのお客さま修理ご相談窓口にお問い合わせください。

製造元　三洋電機株式会社

三洋テクノ･サウンド株式会社 国内商品部

〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号

電話　大東(072)870-4186(直通)

1AD6P1P1839-H

(JP0)